（日刊） 第三種郵便物認可

滿洲日報

三月二十六日發行

發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 村本武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

輝やく修聘特使けさ帝都に歷史的第一歩
東京驛頭の熱狂的歡迎

【東京二十六日發國通】滿洲國建國以來帝政實施の今日まで我國が盡した善隣の熱意に對し深甚な謝意を表すべく溥儀皇帝の親書を捧持し去る二十一日新京を出發した訪日修聘使節滿洲國國務總理大臣鄭孝胥、財政部大臣熙洽の兩氏は隨員二十一名を隨へて二十六日春陽麗かな東京に歷史的の第一歩を印した

この日晴れの國賓一行を迎へる東京驛頭は出迎への小學、女、中學校等の學生團、男女青年團が手に手に打振る日滿兩國の小國旗に埋もれ警官隊も驛員も整理に汗だくの態であつた、第三到着ホームは早朝來掃き淸められ緋の絨毯が敷かれ、その前には畏き邊りよりの御沙汰によつて出迎への湯淺宮相を始め廣田外相、林式部長官、香坂府知事、牛塚東京市長その他宮中席次第一階以上並びに勅任官一同等が禮服姿に身を正してずらり整列、特派の儀仗兵一ケ中隊、軍樂隊一隊も美々しく居並び列車の到着を待つ程もなく午前九時二十五分五輛連結の國賓列車到着、最後部の一等車から大禮服姿で溫顏に感激の微笑を浮べつゝ靜かに降り立つ鄭、熙兩特使、迎へるもの迎へられるもの双方が歩一歩歩み寄り、黒田接伴員の紹介で歷史的な挨拶が交された、長身の鄭特使の心持前屈みな姿勢が特に親さを感じさせる、熙特使の丸い顏は喜びの笑に溢れてゐる、斯くて一同は堀尾東京驛長、新井東鐵局長の案內で出迎への人々に取り圍まれながら儀仗兵の堵列する中を軍樂隊の嚠喨たる樂の音に送られて中央通路から中央御車寄に現れると、待ち設けてゐた一般出迎へ人は期せずして日滿萬歲を歡呼する、斯くて兩特使は宮內省差廻しの二臺の儀裝馬車に隨員は同供奉車に夫々分乘して儀仗兵堵列中を凱旋道路から郵船ビルを左へ日比谷交叉點を過ぎて一路帝國ホテルに入つたがこの日の帝國ホテルは正門玄關にウエルカムの花文字を散らした大提灯を下げきらびやかに飾り立て丈に餘る日の丸と五色旗の日滿兩國の大國旗が兩國間の固き契を象徴するかの如くしつかりと交叉されて春風にゆるくはためいて、輝く國賓一行を迎へた、一旦帝國ホテルに入つた鄭、熙兩特使以下一行二十三名は長途の旅疲れを休める暇もなく、各々服裝を正して黒田接伴員以下の誘導により再び宮內省差廻しの儀裝馬車に乘りわが天皇、皇后兩陛下に謹んで敬意を表し奉るべく午前十一時帝國ホテルを出て沿道の群衆の歡呼に答へつゝ宮城東車寄に到り着京の挨拶を兼ねて記帳の上退出、それより直に大宮御所、御直宮の秩父宮御殿、閑院元帥宮家に伺候して來朝の挨拶を記帳した後ホテルに歸り午餐を攝つたが午後二時半ホテル出門、齋藤首相以下各國務大臣、牧野內大臣、湯淺宮內大臣、林式部長官等を訪問して來朝の挨拶出迎への御禮等を述べた

ステートメント
兩特使記者團に發表

【東京二十六日發國通】晴れの帝都入りをした鄭、熙兩特使は午前十時三十分帝國ホテルにおいて記者團と會見左のステートメントを發表した

國賓待遇の恩命により本日恙なく貴國帝都に到着いたしますや貴國要路の方々並に東京市民各位の盛大なる御歡迎を受けました事は我々の最も光榮とするところであります、明日は愈々滿洲國特使として、天皇陛下に拜謁の上、國書を捧呈いたす榮譽の日に當り恐懼感激唯々この大任を完うするやう祈念いたして居る次第であります

小磯中將訪問

【東京二十六日發國通】折柄在京中の小磯中將は正裝で帝國ホテルを訪れ、宮城へ參內する直前の鄭熙兩特使と挨拶を交し固いその握手は場所と時とに彩られて劇的シーンを展開した

入京御挨拶

【東京廿六日發國通】帝國ホテルに少憩の鄭、熙兩特使は午前十一時威儀を整へ黒田接伴委員の誘導にて先づ宮城に參內し記帳をなし次いで大宮御所、秩父宮、閑院宮伏見宮各宮邸に伺候し入京の御挨拶を申上げて正午ホテルに歸つた

黒木中佐着任

【ハルビン二十五日發國通】駐哈海軍特務機關長兼江防艦隊顧問黒崎少佐は今回軍令部附に任ぜられ、後任黒木中佐廿四日着任した、なほ江防艦隊顧問には元防備隊附專任將校松木少佐が任命された

勲章御贈進
兩特使以下隨員に

【東京廿六日發國通】畏き邊りでは鄭、熙兩特使が康德皇帝の親書を捧呈し、日滿親善の機となる使命を果したことを嘉せられ、特に鄭特使には勲一等旭日桐花大綬章を、又熙特使其他隨員にも夫々勲章御贈進あらせられるやに拜聞す

多難なる今後の政局
倒閣運動は益々猛烈
政友會は分裂の危機

【東京特電二十六日發】議會を乘切つた齋藤內閣は豫定の如くこの際進退を考慮する必要なしとして近く專任文相を補充して陣容を整へるはずであるが、一方において政民兩黨の提携運動は議會後急速に展開するものと豫想され、これに伴ひ政友會の內訌再燃して遂に分裂の危機に至るべく又他の方面の倒閣運動も益々猛烈となるであらうから齋藤內閣は決して樂觀は許さない

面目など顧慮せず
首相は徐に居据り工作

【東京特電廿六日發】齋藤內閣は危ぶまれながらも議會を切拔けた、政府案の成績から見れば總豫算案を始め豫算關係案十三件總て原案成立し、法律案五十件の中四十一件原案可決、七件修正可決、流產に終つたものは、治安維持法と出版法案の二件のみである、治安維持法改正案が兩院協議會の協議未了で葬られたことは政府の面目問題ではあるが假に修正可決されても小山法相は立場に窮するものであるから不成立は却て政府を救つたことになる、もとより衆議院選擧法改正の骨拔きの如きは政府の面目蹂躙はされてゐるがその點は既に政治的責任感を超越した內閣であるから二十五日の首相の言明通り平然として徐ろに議會後の政治工作に入るであらう

議會閉會式
けさ貴族院において

【東京二十六日發國通】二十一億餘萬圓の尨大豫算と四十八件の政府提出法律案を通過せしめた第六十五議會通常議會の會期は二十五日を以て滿了したので、皇室儀制令の定めにより二十六日午前十一時貴族院に於て閉會式を執り行はれた、當日天皇陛下には親臨遊ばされず、齋藤首相以下各閣僚並びに近衛、秋田、松平、植原兩院正副議長を始め各議員は燕尾服又は禮裝に勲章、本綬を佩用して續々登院し、午前十時五十分振鈴により式場に入り整列する、かくて正十一時齋藤首相は恭しく玉座に向ひ最敬禮の後、横溝內閣書記官の捧げる勅語書を拜受し本大臣は勅命を奉じて閉會式の勅語を捧讀するの光榮を有しますと述べ、諸員最敬禮裡に優渥なる勅語を捧讀した、續いて近衛議長は勅語書を拜受し同五分滯りなく式を終り諸員退場した

勅語

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
朕本日ヲ以テ帝國議會ノ閉會ヲ命シ併セテ卿等勵精克ク協贊ノ任ヲ竭セルノ勞ヲ嘉奬ス

恒例慰勞會

【東京二十六日發國通】齋藤首相は二十六日帝國議會閉會式を終了した後恒例により當日正午近衛、秋田、松平、植原貴衆兩院正副議長を始め議員、長、田口兩院書記官長以下各書記官並びに政府委員一同を首相官邸に招待し慰勞の午餐會を開き各閣僚も主人側として出席し首相の挨拶に對し議長謝辭を述べ和氣藹々裡に午後一時半散會した

比島共和國政府
明年五月迄に誕生

【ワシントン廿四日發國通】比島獨立法案の署名を終へたル大統領は目下當地にある比島上院議長ケーゾン氏に對して、今日は米國と比島の關係に關して最も記念すべき日である、即ち本日余の署名は比島共和國の素地の作り始めを意味するものであると語つた、なほ右法案草案者の一人たる米國上院議員ダイヂエグ氏とケーゾン氏はル大統領に對し比島政府は一八九八年ヂューイ提督がマニラ灣入りを行つた時の記念日たる本年五月二日をトして獨立法を受諾するであらうと語つてゐた、從つて明年五月一日迄には比島共和政府の生誕をみる譯だが、同政府は過渡的政府でその後十九年間比島の行政機關として存續される

國防安定を期し得たは結構
◇…齋藤首相語る

【東京二十六日發國通】議會閉會に際し齋藤首相は語る

明年度の豫算は現下の國際情勢に鑑みて國防費を主とし、之に依つて我國防の安定を期することは何より喜ばしい、その實行に當つては厘毛の微と雖も充分の注意を加へ最も効果的ならしむる事に留意せねばならぬ、政府提出案は大體において良好なる成績を示し、選擧法中改正法律案その他の重要案件の通過を見た、今や內外極めて多事國力伸張の秋である、九千萬國民は決して矯激なる言動に惑はされる事なく着實穩健協心戮力各々その職分を盡す事が最も肝要である

地方長官會議

【東京二十六日發國通】政府は明年度豫算を始め重要法案も大體議會の協贊を得たので、恒例による地方長官會議を招集し豫算案の實施並びに政府の政策遂行につき訓示並びに指示を行ふこととなつたが、招集期日は大體四月下旬か五月上旬になる筈でこれに次いで警察部長會議も招集される筈である

文相推薦に關し鈴木總裁と交涉
閣僚の入替を行はん

【東京二十六日發國通】波瀾重疊の第六十五議會は兩院共二十五日午後十一時四十分前後で漸く終了を告げた、斯くて政府は辛うじて二度目の通常議會を乘切つた譯であるが、議會中に捲き起された綱紀問題に關聯する派生的事件より中島商相、鳩山文相の兩閣僚を落伍せしめその姿は滿身創痍といふ狀態である、然も政友會を代表する鳩山文相の後任は議會中の故を以て齋藤首相の兼攝となつてゐるので議會終了と共に專任補充に直面するのであるが、一方齋藤內閣としての重大使命たる人心安定、選擧法の改正、國防の充實等は大體今議會を以て達成し得たからこの際人心を新ならしめるための措置說等あるので、議會後の政局は最も注目される所であるが、政府としては今議會を通過したる豫算並に法律案などにして年度替り當初より實施するもの準備を整へ、然る後齋藤首相は興津に園公を訪問して議會の經過並に結果を報告し同時に今後の政局に對する政府の所信を披瀝して老公の諒解を求め愈々居据りの肚を決定せば歸京早々齋藤首相は鈴木政友會總裁を訪問して文相後任に關して推薦方を交涉するものと思はれるが、その際小範圍の閣僚の入れ替へを行ふものではないかと見られてゐる

蘇聯の對滿政策
穩健、急進兩派對立

【ハルビン二十五日發國通】蘇聯の對滿蒙政策の原動力とされてゐる北鐵管理局長ルディー一派と總領事スラウツキー一派は今や蘇聯の對滿蒙極東政策遂行上において急進穩健兩派にはつきり分裂し、內面的に政策問題を中心として抗爭を續けてゐることが暴露した、即ち急進派ルディ局長一派は從來通り赤色主義の宣傳はもとより積極主義を以て進まざれば多年悪戰苦鬪して築き上げた蘇聯の滿蒙、極東に於ける地盤と足溜りは根柢より總崩れとなり蘇聯の全面的退却を招來し、斯くては太平洋政策遂行に空前の蹉跌を來し蘇聯の人心に多大の衝動を與へ延いては國論沸騰し波瀾を極める由々しき問題を惹起する惧れが多分にあると強調するに反し、穩健派（スラウツキー總領事一派）は北鐵職員六名を歸國せしめた如きは大所高所からすれば九牛の一毛に過ぎず滿洲國との友交親善關係の增進は蘇聯にとつて刻下の急務であるのみならず、差當り北鐵の經濟狀態の改善を圖り滿蘇兩國職員の融和協調はやがて滿蒙極東における蘇聯の地盤を確保し小異を捨てゝ大同に趨る所以である旨を力說して理論鬪爭を續けてゐるが近く表現される蘇聯の對極東政策の轉換は今や最大の興味と關心とを以て成行き靜觀されてゐる

滿鐵監理官の使命
（4） 權限委任線には及ばず

業梨委員 然らば何の機關に依りまして朝鮮總督府は此委任線の監督、若くは監理といふやうなことの業務を爲して居るのでありませうか

吉田鐵道局長 直接監督の衝に當る官吏は鐵道局長と致して居ります、又監督の方法と致しましては、命令書並に契約書の條項に違背することなきや否や、さういふことでありますが現實に毎日の日常の業務を一々干涉し又監督するといふことは致しません、最も重要なるものは委託を受けた滿鐵が朝鮮の鐵道を、朝鮮統治の上に最も有效に、恰も朝鮮總督府が經營して居ると同じやうに經營をやつて行くといふことが契約の基礎觀念になつて居りますから、其事について注意をすることを怠らないやうにする積りで居ります殊に其內容に入りまして最も重要なる問題は運賃問題であらうと思ふのであります、是は產業の開發の關係から行きまして北鮮方面に集散する所の貨物に對する運賃をどうするかといふことが同地方の統治の上に非常に重大なる關係を有ちますので、監督の一番の重點は運賃を如何にするか、其點につきましては從來朝鮮總督府がやつて居りました所の運賃政策を踏襲することゝ、又は細い事を申しますれば大體において現狀を維持して行くといふことになつて居るのであります、其の他運轉上の不安其の他のことは勿論の話でありますが建設改良の問題につきましては是は總督府が自らやることになつて居りまして、事實の工事は委託致しまするけれども其の建設材料に要する費用の如きは總督府が皆支出することになつて居ります

業梨委員 さう致しまするど、是は鐵道局長が監督して居るといふのは漠然たる意味に、唯建設改良等の工事を、委託工事であるが財源其他の關係は總督府關係であると言ふが、それは鐵道局長の監督といふことで任が足るものでありますか、此最も重大なる問題は玆に雄基、羅津なる所の築港があるのであります是等の將來の開港に關する經營港灣事務等の經營、其他重要な問題が此處には多々あらうと思ふが是は監理官を朝鮮總督府に置くか若くは滿鐵監理官が此處の監理まで兼ねるか孰れかにしなければならぬと思ふのであります、然るに滿鐵の定款に依りますれば監理官は所謂滿鐵の社線に於ての監理であります、此方面の所謂委託線に對しての監理は滿洲國の委託線の監理と同樣な意味に於きまして單に營業上の全般的狀況から見た場合に於てのみの監理に止まるやうに思ふのでありますが、是はどういふ方法か講じなければいかぬと思ふのでありますけれども、何か拓務當局は之に對して具體案を御有ちでありませうかどうでありませうか

北島政府委員 朝鮮に於きまする鐵道については勅令を以て朝鮮總督府が滿鐵の業務を監督するといふことになつて居ります、只今鐵道局長からも申されました通りに朝鮮總督の監督權の事實上の手足の機關として鐵道局長がその監督を事實にやつて居る譯であります、それでこの朝鮮內における委託經營鐵道の監督につきましては大體鐵道局長を基幹とする朝鮮總督の監督で十分でないかと我々只今のところでは考へて居ります、然し將來この滿鐵の朝鮮內における委託經營の仕事が非常に複雜になつて參りまして、滿洲國の作業の方に重大な影響を持つやうな時勢になりますれば或は適當に又考慮をしなければならぬかとも考へて居りますけれども、目下の所では別に特に拓務省から更に此委託鐵道經營の爲に直接監督機關を設けるの必要は只今の所ではまだ考へて居りませぬ

・・・

業梨委員 さう致しますと現在は拓務省の滿鐵監理官の權限は此北鮮鐵道には及ばないのでありまするか、どうでありますか

・・・

北島政府委員 滿鐵の監理官は是はもう何處に居りまする監理官でも、所謂帳簿書類を檢査し又金庫を調べることも出來まするし、重役會議にも出席しまする、さういふ重役會議にしましても或は帳簿書類檢査にしましても北鮮の經營に關する事項も勿論その中に包含されて居りまするし、監理官としては必要がありますればさういふ方面の監督なり或は檢閲なりをする權限は勿論あるのでございます

・・・

業梨委員 私は尚ほ質問致す事もありますが時間が四時半を過ぎましたから本日はこの程度に止めたいと思ふのでありますが、朝鮮總督府當局からこの滿鐵との委託經營の際における命令書及契約書、これ等を參考書として御提出願へれば結構と思ひます、本日はこれで私の質問を打切ることに致します

米國五大極東政策
滿洲國承認問題その他

【ニューヨーク二十五日發國通】二百萬以上の發行部數を有し世界最大を誇るニューヨークデーリーニュースは二十五日の日曜版紙上の社說において滿洲國承認其他に關する米國の五大極東政策なるものを掲げて政府にその實行を慫慂した

一、滿洲國を承認し日米兩國間に蟠る大なる焦慮の念を一掃す
二、米國の最大顧客たる日本と互惠通商關係を結ぶ
三、比島の獨立
四、海軍條約所定の最大限度迄の建艦を行ふ
五、海軍問題に關し英國と諒解を遂げ不可避とみられる日米戰爭を未來永劫に延期する

十河理事一行

支那視察中の滿鐵十河理事經濟調查會、內海、伊藤の兩主查は目下上海に着いてゐるが十河理事は上海より直に東京に行き內海、伊藤兩主查は來月二日歸連の筈

人事

▲貫島貞三氏（奉天衛戍病院長）二十六日午前七時四十分着列車にて來連
▲上林正四郎氏（三等軍醫正）同
▲香村岱二氏（滿鐵地方部農務課長）同日午前九時發はとにて北行
▲若月太郎氏（大連市會副議長）同上
▲奧村喜和雄氏（新京大使館外務事務官）同上
▲佐藤應次郎氏（滿鐵建設局長）同上
▲富永能雄氏（昭和製鋼所重役）二十六日出帆うすりい丸にて內地へ
▲寺島由松氏（滿鐵顧問辯護士）同上
▲三宅福馬氏（前滿洲國々務院法制局長）同上離滿
▲伊藤賢三氏（前關東軍々醫部長）同上
▲山內靜夫氏（電々會社總裁）二十六日入港ばいかる丸にて歸任
▲武井大助氏（海軍艦政本部第二課長）同上來連
▲青柳宗重氏（海軍大佐）同上
▲バイアン男爵（ベルギー實業家）同上
▲村井啓太郎氏（滿洲銀行頭取）二十六日出帆うすりい丸で內地視察へ
▲佐藤建次氏（滿洲銀行支配人）同上歸省

蛇角

議會遂にゴール・イン。
◇
初めは脫兎の如く、中はご老豚の如く、終りは蛇尾の如く。
◇
でも賞品として、成立法案四十八件也、は一寸意外。
◇
お蔭でヨイ〳〵內閣有頂天、腰を拔かして居据るげな。
◇
政黨は政黨で「ハア、わが黨の大成功々々」と。
◇
ゴマカシ音頭の手振り面白や。
◇
函館大火に白系露人の同情、赤い貂への面當に。
◇
薄れ行く村の灯見たり朝霞。

大岩市收入役
語る

新任大連收入役大岩峰吉氏は二十六日初登廳し各方面を歷訪挨拶したが語る

今回小川市長や先輩友人の御推擧を受けて就任した以上、經理に必ずしも明るくないが忠實に職務を果して大過なきを期すつもりですからよろしく御願ひします、餘談ですが私も滿鐵の地方行政に携はり多少の經驗を有つてゐるが大連市としては爲すべき仕事多く、それには先づ財源を充實するのが先決問題ではないでせうか、だからといつてあまり戶別割の增徴をはかるのは考へものでせう

扶桑丸船客

【門司特電二十六日發】二十八日大連入港豫定扶桑丸の主なる船客諸氏

京大敎授大井清一、同武居高四郎、辯護士片山義勝、三井物產社員梅澤一二、沖電機社員岩瀬鐵次郎、横濱帆布社員宮代顯、三信商事社員猪原一佐久、大連製氷社員小島宇吉、會社員石次一、富田義行、深山達藏、去來川信郎、染谷清一、御塚政、小川健三、富田敬（各等滿員）

生活の虹（83）
菊池寛作 志村立美畫

捕へて見れば（九）

子爵は、老婆に案內されて、二階に通された。

「これが、あの娘の部屋でございます」

と、云つて机の前に置いた、赤いメリンスの座蒲團を子爵にすゝめた。

そこも貧しい部屋だつた。しかし貧しいながらも、そこに、坐臥する人の心がけを語るやうにキチンと清潔に片づけられてゐる。小さい机の上も、質素な本箱も、一糸亂れず片づいてゐる。

壁にかけられてゐる藝妓の寫眞が、眼を打つた。亡き玉香の二十七八の頃の姿だらう。色白く鼻筋通り、氣品のある面影である。

それと並んで、水彩畫がかけられてある。このあたりの郊外の、橋のある風景畫である。

子爵は、お茶を運んで來た老婆に、

「あれは、誰がかいたのですか」

と、云つてきいた。

「あの娘でございます」

「さう。なか〳〵、うまいものですね」

さう云つて立ち上ると、近づいてまだ見ぬ妹のゆたかな天分を、うれしく思ひながら、見つめた。

すると、その左の下に、緑の青草を描いてゐるなかにA.Motokiと書いてあるではないか。

子爵は、それを見た瞬間、異樣な感動で、身體がふるへ上つた。

「その娘さんは、何と云ふんぢやないですか」

「はあ。違ひます」

子爵の聲が、はげしかつたので老婆は、オド〳〵して聲をあげた

「なぜです？」

「妹が、自分の子にすると、いやだと申しまして、知合の夫婦の子供にして貰つたのです」

「それぢや、何と云ふ名前になつてゐます？」

「元木でございます」

「名前は？」

「ハア、あの綾子でございます」

「えッ！」

Motokiと云ふローマ字を見たときから、もしやと思つてゐたが今老婆にハッキリ云はれると、子爵は人生の不思議さに驚愕せんとした。

嬉しさでもない、欣びでもないと云つて悲しさでもむろんない、異常な感動で、危く倒れさうになつたのだ。

元木綾子に、あんなに心を惹かれたのは、當然である。しかも、綾子が、自分の結婚申込を、ハッキリと斷つたのも、また何と云ふ本能の正しさであらう。

今こそ、綾子をどんなにでも愛してやれるのだ、白日の下で、公然と。

「おゝ綾子よ、わが妹よ、よくぞ立派に生きて來てくれた！何と云ふ可愛い奴だ！」

妹を捕へて見れば、わが愛人であつた。愛人を捕へて見れば、妹であつたとも云へるのだ。

晴れの特使一行を普く銀幕で紹介
四月上旬全滿各都市で公開
滿鐵弘報係で撮影

滿鐵では滿洲國修聘特使鄭國務總理大臣の日本訪問に際し同一行に對する日本國民の熱誠なる歡迎振りおよび特使の行動を詳細に撮影してこれを滿洲國民に紹介する計畫をたてゝゐたが折好く弘報係芥川光藏氏が上京中であるため同氏に命じてPCLおよび大阪朝日の援助を受けこの映畫撮影をなすことに決定、四月十日ごろまでに全部の撮影を終り直に大連その他主要都市で公開することゝなつた、而して松竹等の映畫會社でも本ニュースの撮影を行つて滿洲公開を急いでゐるが芥川氏からは滿鐵本社宛「決して映畫會社に負けないだけのものを作つて見せる」と頼もしい電報を寄せてゐる、なほ滿鐵が撮影した滿洲國の御大典映畫はその後PCLで錄音中のところこの程完成二、三日中に大連に到着することゝなつたが大連において滿文のタイトルを入れ滿人側にも本映畫の公開をなす豫定である

唯感激の人々
一相の晴れの東京入りに
隱れた美談の數々

【東京特電二十六日發】滿洲國修聘特使鄭國務總理の一行は二十六日晴れの入京をしたが、この國賓の入京を心待ちに待つた人々がある

A

日滿議定書調印の圖の製作者洋畫家荒井陸男氏がその一人、鄭總理がモデルとなり故武藤元帥と向ひ合つて調印してゐる瞬間が描かれて居るが

昨年十一月同總理を寫生に行つた時、畫伯は總理の人格に心服した、四日間モデルになつて頂いた、三日目のことでした、調印の室の樣子を當日の通りにするやう頼んでおいたのに何も準備がしてありません、忙しい體をやつと暇を作つた總理、此處でカン〳〵に怒るかと思へば全くそんなことはなく、人間の出來てることに感心しました

と語つてゐる、畫伯は目下大車輪で油繪の完成を急いで居る

B

早大高等師範部文學部漢學教授牧野謙治郎氏は

鄭氏と初めて會つたのは明治二十五六年頃でした、鄭氏はその頃支那公使館の書記官長尾雨山と親しく雨山に伴れられて公使館へついたが、此處は話にふりと合ひ鳥森の湖月で大いに詩や文學を論じ合つたものです、

C

和な人でどこかに堅い處を持つ——そんな風でした

また十數年の昔鄭氏が上海に亡命せる頃刎頸の交はりを結んだ故西本省三氏の遺子西本克三君（二）がある、西本氏が逝去したのは昭和三年の早春、鄭氏は昨春詩を寄せて故人を偲び遺子克三君に書籍費一千圓を贈つた、克三君は書は働いて夜は日大に學んでゐるが、鄭總理はその後も度々書を送り激勵し故人に代り遺子の成長をたのしみにしてゐる、去る二月にも書を寄せ面會の日を樂しみにしてゐる旨を傳へて來た克三君は只管面接の日の來るのを待ちあぐんでゐる

州內各小學校訓導の異動
二十六日附で發表

州內各小學校訓導の異動に關し旅順關係の分としては二十六日附をもつて大體左の如く行はれる筈である

第一小學校訓導	松井よしえ
第一小學校訓導	山崎　ハナ
	喜田瀧治郞
大連へ	
第二小學校訓導	本田　寅英
普蘭店小學校へ	
大連南山麓小學校訓導	平方　久直
同早苗小學校訓導	林原　文十
旅順第二小學校訓導へ	中根　京子
旅順公學堂教諭	
大連土佐町公學堂へ	
大連土佐町公學堂教諭	川畑　資磨
水師營公學堂首席教諭へ	內田　[illegible]
同	荒木　義雄
水師營公學堂教諭	
水師營公學堂長	石井　治助
貔子窩民政署視學へ	
同水師營公學堂教諭	中山右三郞
貔子窩公學堂へ	
同	井村　實
旅順公學堂教諭へ	
同	安藤　政吉
水師營公學堂へ	
右の外內地より	後藤　大吉
	愛場久太郞
	杉山春那子
	近藤　華子
旅順第一小學校訓導	大竹　正美
	宮崎　愛直
旅順第二小學校へ	岩島　圭
旅順公學堂へ	
旅順第二小學校訓導	吉川　金綠
	照井　壯助
	伊藤　勉
同第二小學校教員	澁谷虎之助
右退職の上滿洲國へ	

製藥事業を種に十萬圓を詐欺
元聖愛醫院の醫師の舊惡暴露
伊勢佐木署から飛電

元聖愛醫院の醫師赤谷幸藏（四九）が當時彌生高女の教諭某女と結婚する際、身許保證金を種に詐欺を働いて逃走し橫濱市曙町一丁目で何喰はぬ顏で醫師開業中嫌疑で神奈川縣伊勢佐木警察署の手に逮捕されたことは既報したが其後同署で取調べ進行中のところ赤谷は大連在住當時各方面から約十萬圓に上る巨額の詐欺を働いてゐたといふ驚くべき舊惡が露見し二十五日伊勢佐木警察署から大連署宛に被害調査の依頼があつたので、同署司法係山口警部補は二十六日朝から續々被害者を召喚取調中である

事件の內容は大正十三年ごろ赤谷が大連市雲井町四番地で聖愛醫院を經營することゝなり市內信濃町九〇醫師佐志駿次郞氏（四〇）を補佐人、大分縣人高橋重太（六七）を事務長として開業した、その直後赤谷は高橋と共謀し既に許可期限が時効にかゝつた製藥事業を種にして各方面から出資を募つたがその主なる者は

市內播磨町一一五森角雄氏五萬五千圓▲市內信濃町九〇佐志駿次郞氏一萬圓▲能登町一產婆田代モト氏一萬圓▲東鄉町一九河田巳之助氏一萬圓▲常盤町五花本愛之助氏五千圓▲越後町八岩本主計氏五千圓▲旅順鯖江町竹中延太郞氏五千圓

右の如く約十萬圓に上る出資を掻き集めたが一向にそれらしき事業を始めぬのに出資者が不審を抱き所轄沙河口署に問合せたところその製藥事業は既に時効にかゝり消滅してゐる事實が暴露するに至つた、よつて出資者は赤谷醫院長及び高橋事務長に對しその不都合を責めてゐるうち大正十五年六月頃先づ高橋が姿を晦まし續いて赤谷も行方不明となり、多くの出資者は泣き寢入りになつてゐたものである

武井少將來連

艦政本部第二課長武井大助少將は青柳大佐、齋藤中佐帶同二十六日入港ばいかる丸で來連したが船中語る

明年度豫算前の休暇を利用して出掛けて來た約半ケ月位でハルピン迄行つて來たいと思つてゐる別に重大な仕事がある譯ではない視察に來たのだ＝寫眞（右より青柳大佐、武井少將、齋藤中佐）

營口へ船出

遼河の結氷も漸く解氷し本年度營口港入港の第一船として二十五日午後六時卅分牛家屯埠頭に松浦汽船萬康丸（一〇〇〇噸）同十一時第一埠頭に大遼河丸（一二六六噸）の兩船が着いたが萬康丸は石炭を遼河丸特產を滿載一兩日中に出帆の筈

信濃町の小火

二十五日午後六時三十五分頃市內信濃町二金子岩雄方より出火、附近の人驅けつけて消火に努めた結果、一部を燒いたのみで鎭火した、損害約二十圓、原因については同家々人が留守の際に發火したので不審な火として大連署で取調べ中

社員の決意高し街頭に大行進
四月一日滿鐵創立記念日に
社員會祝賀の催し

滿鐵社員會では昨年秋の評議員會で滿鐵創立記念日たる四月一日を社員會記念日とし毎年祝賀することに決議したが來る四月一日に本年始めての社員會記念日を開催することになつた、當日は會社創立記念祝賀會に先立つて午前九時から本社中央玄關前庭に全社員集合し國旗、社旗、社員會旗の掲揚式を行ふが北條庶務部長の開會の辭により滿鐵ブラスバンド演奏の下に國歌、滿鐵の歌を奉唱し一同三旗に對して萬歲を唱へ散會する、更に會社祝賀會が終つて後約八百の社員は中島幹事長を先頭に社員會旗を立てゝ市中を行進し大連神社及び忠靈塔に參拜して非常時社員會の決意を固め國運の隆盛を祈ることになつてゐる

雄々しき第一步
"市立第一中學校"誕生

待望の大連市立第一中學校の開校式は四月一日午前九時聖德街の下藤小學校で盛大に擧行される豫定であるが、未だ校舍が間に合はないため同小學校の一部で一時借住居をしなければならない譯、校長以下柔道、劍道の先生に至るまで十二名の先生は既に殆ど決定發令を待つばかりになつてゐるが、發令は四月一日頃の豫定、二十六日午後下藤小學校の西門に新校長山田京治氏の手によつて「大連市立第一中學校」の看板が掲げられた、本校の嬉しい第一のステップが雄々しくも踏み出された譯である【寫眞は市立中學校の看板】

本社へ寄託義金續々と集まる
麗しき溫情・ロシア人の寄附
函館大火への同情

函館の大火は被害の調査判明と共に、本紙報道の通り、その慘狀は實に言語に絕するものあり、春とはいへど餘寒尙はまらず途方にくれてゐる罹災者のために、各方面よりの同情は靄然としてあつまりつゝある、殊にハルビン方面では外人方面に大なるショックを與へて人類愛に立脚したる國際的同情金は、湧ぐましき感激をも湧き起してゐるが、本日當地在住の星ケ浦白系ロシア人イワンダシツキー氏は二十六日午前本社に來訪し先年ハルビン方面における未曾有の水災害に際しては、貴國日本の同情は誠に感激措く能はざるものあり、當時の罹災民は、東洋の文明國日本國民の超國家的の同情に如何に感泣したかは今尙は忘れることの出來ない事實として記憶してゐます、然るに今回の函館の慘狀を聞き、取敢ず志しばかりのお金ですが、救恤金の一部にあてゝほしいと思つて來ました

と金五十圓也を差しだして本社に寄託したるが、何と近來の麗しい溫情ある事實として泣かされるではないか

死者千五百五十六名
廿五日判明分

【函館二十六日發國通】今回の大火災の犧牲者は時と共に增加、二十五日夜の報告に依れば死者千五百五十六名に達して居るが尙ほ增加の見込である

兩特使の義捐

【東京二十六日發國通】鄭孝胥總理兩特使は東京着と共に北海道函館大火災罹災者に對し義捐金として金一封を贈つた

社員會慰問金

函館の火災に對して滿鐵社員會では罹災民に慰問のため二千圓の見舞金を贈ることを決議し廿六日全聯合會に對して見舞金募集の指令を發した

寄附者芳名

函館大火義捐金募集の計畫が發表されるや寄附申込が殺到してゐるが二十六日は左の如く外國人の寄附申込みあり麗しい國際愛に主催者を感激させてゐる

▲三千圓　大連卍字會
▲五十圓　星ケ浦露人イワシダシツキー
▲五圓　大連病院入院患者露人リシチエン

彌生見學團

【東京二十五日發國通】大連彌生高女見學團一行は二十四日宮城、明治神宮、外苑、靖國神社、赤坂離宮、乃木邸泉岳寺、上野、日比谷、淺草の各公園其他被服廠跡、國會議事堂等を見學二十五日は午前七時淺草雷門發日光に參拜、同日午後八時十二分歸京再び丸屋旅館に投宿した

商業旅行團

【門司二十六日發國通】十二日母國の土を踏んで以來各地で非常な歡待を受け頗る愉快な旅を續けてゐた大連商業旅行團は二十五日大阪、神戶の見學を終へ今朝門司に上陸し名殘りを惜しみつゝ正午門司發母國を後に歸途についた

オペラと民謠の夕
廿八日協和會館

名聲をアメリカ樂壇に謳はれた南部たかれ女史と滿洲の生んだテノール歌手平間文壽氏との「オペラと民謠の夕」は二十八日午後七時半から協和會館で開かれるが、日本における第一流のオペラ歌手の

プログラム
ピアノ伴奏　古莊百合

第一部

一、ソプラノ獨唱　南部たかれ
A「愛と唄に」（歌劇トスカより）プッチニー曲 B「此の心こそ」（レオノラ姫の戀の歌）ヴエルデイ曲

二、テノール獨唱　平間文壽
A「秘かに頰を傳ふ淚」（歌劇エリズイル・ダモーレより）ドニゼツテイ曲 B「夢の歌」（マシノより）マスネー曲

三、ソプラノ　南部たかれ
A「ミネトンカの湖畔」リニランス曲 B「朝の窓」アラソヒー曲

四、テノール獨唱　平間文壽
A「ニーナの死」ペルゴレージ曲 B「想」トステイ曲 C「サンタルチア」ナポリ民謠
——休憩——

第二部

一、テノール獨唱　平間文壽
A「馬賣り」山田耕作曲 B「青い小島」同 C「からたちの花」同 D「枯葉」同

二、ソプラノ獨唱　南部たかれ
A「叱られて」弘田龍太郞曲 B「キンニヤモンニヤ」山田耕作曲 C「夕空晴れて」スコットランド民謠 D「アメリカの鳩ポッポ」南部たかれ曲

三、テノール獨唱　平間文壽
A「大島節」民謠 B「花の唄」伊藤祐司曲 C「向ふ橫町」本居長世曲

四、ソプラノ獨唱　南部たかれ
A「船頭唄」伊藤祐司曲 B「奴さん」南部たかれ曲 C「思ひ出」平間文壽曲
——休憩——

第三部
（歌劇扮裝に依つて演出）

一、ソプラノ獨唱　南部たかれ
A「或る晴れた日」（歌劇お蝶夫人より）プッチニー曲 B「おゝ吾子よ吾子よ」（同）同

二、テノール獨唱　平間文壽
A「フエデリコの歎き」（歌劇アルルの女より）テレアー曲 B「さらば愛の家」（歌劇お蝶夫人より）プッチニー曲

三、二重唱ソプラノ南部たかれ、テノール平間文壽、歌劇カヴアレリアルスチカーナ（マスカニー曲）
——終り——

軍人會館に滿蒙室
滿鐵百萬圓寄附

廿五日閑院總裁宮殿下の台臨を仰ぎ華々しく開館式を擧げた東京九段牛ケ淵の軍人會館建設には滿鐵から百萬圓を寄附してこれの完成を助け關係筋から非常な感謝を受けてゐるが滿鐵ではこれと同時に同會館內に滿蒙室を設けあらゆる資料を陳列して滿蒙紹介を行ふことになつてをり、二十五日の會館の開館日に大體の陳列を終り更に油繪その他の出品を行つて今夏までに完成することになつてゐる

肉彈に接することゝて前景氣頗る沸き立ち、殊に收益は函館大火義捐金に充當するといふ美事だけに當日の盛況がいまから豫想されてゐる、なほ會費一圓で、當夜のプログラムは次ぎの如くである

自動車營業中止

鐵路總局が本年一月十五日から營業を開始してゐたハルピン、同江間の自動車營業は同路線の一部をなしてゐる松花江が解氷を始めたため去る十八日を最後として營業を中止することゝし本年冬の結氷をまつて再び營業を再開する事となつた

運動界のうごき

◇…神田效一、小川增雄兩氏（滿洲國體協上海派遣員）は二十六日午前七時四十分着列車で着連したが兩氏は二十七日發[illegible]で上海に赴く筈

◇…滿鐵に就職決定した中澤投手（關西學院出）市川投手（橫濱商業專門出）宇佐美捕手・橫（高商出）本田投手（名古屋高商出）の四野球選手は二十八日入港の扶桑丸で着連の筈

◇…大連新聞社の極東オリムピック大會滿洲國參加問題講演會は二十六日午後七時から敷島町靑年會館で開催

天氣予報
二十七日
北西の風晴一時曇

各地溫度（廿六日）

	午前五時	午前十一時
大連	零度	二度
旅順	零下一度	二度
營口	同二度	二度
奉天	同四度	二度
新京	同八度	零下三度
新義州	同二度	四度

今日の小洋相場（十一時半）
金百圓につき百十九圓三十錢

海事思想普及講演と映畫の夕
三月廿七日 協和會館に於て
◇午後二時『子供』◇午後六時半『一般』

一、演題　世界海戰史における港口閉塞戰の要諦　旅順要港部附　東鄕海軍中佐

一、映畫　滿洲國皇帝卽位、海の生命線　日本晴れの大觀艦式、御稜威の光

來場歡迎

附記＝三月廿八日は大正小學校で同上

主催　在鄕軍人大連海友會　大連聯合會
後援　大每大連支局　滿洲日報社

新講談

丹下左膳（57）

林不忘作　小田富彌畫

發願奇特帳（六）

石川左近將監殿家臣、惰田なにがし、煙に卷かれたやうに、すつかり感心して歸つてゆくと、主水正はその壺をしまひ出したが、取り出す時の、あの、いかにも名品を扱ふやうな、注意深い態度と打つて變つて。

この仕舞ひ方の亂暴さは、何うだ！

こけ猿の壺を引つ攫まへて、ぶつけるやうにすつかりを被せる。そいつを、まるで裏店の夫婦喧嘩に細君の髮をつかむやうに、グシャッと攫んで、ぼうんと箱へ擲り込む。

グル〳〵つと轉がしながら風呂敷に包んで――さて、主水正、またぽんぽんと手を鳴らした。

出て來たのは、惰田を送り出して玄關から歸つてきた小姓だ。

「壺を見せたら、驚いて歸りましたれ。當藩は大層な金持ちになつたと思つてるんだから、笑はせますれ。こんな貧的な藩はないのに」

「コレ〳〵、餘計なことを申すな。しかし、この壺はよく出來てるなア」

「じつさい、こけ猿にそつくりで御座いますね。よくもかう似せられたものですね」

「こいつを見せると、みな恐れ入つて引き下がるから不思議だ。かうやつて、こけ猿は柳生の手に返つたと宣傳しておいて、その間に一刻も早く眞物を見つけ出さればならぬ」

「何ごとも宣傳の世の中ですかられ」

「下らぬ事を申さずに、この壺をその床の間へ飾つておけ。客の眼につくやうにナ。まだ來ない大名もあるから、今日は一時に殺到するかも知れん」

小姓の手で、にせこけ猿の壺は、うやうやしく床の間の中央に安置された。とりどりの噂ありたるこけ猿は、斯くのごとく、正に、確に當柳生家に戻り申し候。したがつて當藩は、日光などお茶の子サイ〳〵の大富藩に御座候。今後そのおつもりにて御交際下されたく候……なんかと、さながら、さう大書して貼り出したやうに、その床の間のにせこけ猿が見えるのでした。

「今この惰田の持つて來た刀の包みを、向うへもつて行け」

小姓が、その長いやつを抱へて勘定方と記錄係の控へてゐる、あの邸の奥の離室へ運んでゆく。

ところへ。

別の取次ぎが顏を出して、

「御家老へ申し上げます。一石飛驒守樣のお使ひがお見えになりまして御座ります」

「おゝ、壺を飾つたところで丁度宜かつた。こちらへ」

一石飛驒守の使ひといふのは、まるまると肥つた男だつた。這入つてくるとすぐ、床の間の壺を見て、ひどく驚いた樣子だつたが、持つて來た何やら大きな贈りものをさし出して、口上を述べはじめた。

「エ、この度び、柳生對馬守さまにおかせられては、二十年目に只一度めぐり來る光榮のお役、權現樣御造營奉行にお當りになりました段、慶賀至極、恐悅このことに存じ奉りまする、云々」

「さう仕りまして」

「夫れ戰國の世においては、物の具とつて君の馬前に討死なし、もつて君恩に報い奉る途もございまするなれど、うんぬん――」

「この治國平天下の時代には」主水正が引き取つた。「せめては日光樣のお役に相立ち、葵累代の御恩の萬分の一にもむくいたいと、御主君一石飛驒守どのは、何とかして日光御造營奉行に任じられますやうにと、日夜神佛に御祈願……」

「ヘイ、その通りで」

「水垢離までお取りなされて――」

「おや、よく御存じで」

「それが柳生へ落ちて誠に殘念だから、せめてはお疊奉行かお作事目附にでも……」

主水正、大きな欠伸をした。

蒲田作品　婦系圖　オールトーキー　中央館上映

文豪泉鏡花つくるところの「婦系圖」は明治、大正、昭和を通じて子女の紅淚をしぼつた一代の傑作であるが、陶山密脚色、野村芳亭監督で作り出された蒲田映畫「婦系圖」はピンからキリまで全く芳亭の趣味にかためられ、鏡花の味は殆どうかがふことが出來ない

青年ドイツ文學者早瀬主税は恩師酒井俊藏に隱して藝妓お蔦を落籍し同棲生活を送つてゐたが酒井の娘妙子との緣談斡旋を依賴して來た河野家の家令坂田のために恩師の耳に入り、心ならずもお蔦と別れて故鄕靜岡に歸らねばならなかつた、お蔦は早瀬と別れた後姉藝妓小芳と妙子（實は小芳と酒井の間に生れた娘）の情に勵まされ、何時か早瀬と會ひ得る日を信じて待つてゐたが、終に病の床に就き、臨終の日まで早瀬に近づくことが出來なかつた

メガホンを執つた芳亭監督は原作の持つ好さを全然無視して唯單なる新派悲劇に作り上げてゐる、主要人物たる早瀬、お蔦、妙子の動かし方は勿論、音響に於ても全く從來の芳亭作品と何等變る處がなく、興行價値を狙つて、泣け泣けとつき込んで行くことに全力をあげてゐるやうだ

俳優は……岡の早瀬、絹代のお蔦、この二人がかもし出す味は「沈丁花」の場合と少しも變りがない、目立つのは下加茂からトーキー應援の志賀靖郎の酒井俊藏、トーキー役者として打つてつけ聲調に幸ひされて光つてゐる、大塚君代の妙子は無邪氣に、吉川滿子の小芳は無難

この映畫は松竹ファンを截然と二分してインテリを除いた婦女子の淚は充分にしぼるであらう

◇或る日曜日の午後◇

スチヴン・ロバーツが描く若き日の思ひ出、美はしい夢の抒情篇で主演はゲイリー・クーパー、フランセス・フラー、フェイ・レイの競演、パラマウント日本版（二十六日より常盤座に上映）

大豆崩落して 三圓臺割れ必須

大正四年來の新安値

滿洲大豆最大の顧客たる歐洲筋が今年に入つて以來買氣全く杜絶し殆ど行詰りの状態にあるに拘らず今日の市價を維持してゐたのは一に日本内地の豆粕需要の旺盛に懸つてゐた、然るに最近に至つて内地の豆粕需要も漸く下火となり、一服状態となつた爲め大豆も落潮を辿るを免れざることになり、大連特産市場においては二十四日前場から落勢を強め二十六日前場では大勢安を見越して奥地筋の賣物や投げ物續出して低落歩調を示し三月末日限は三圓四錢と去る一月八日の三圓八錢を下廻ること四錢で、實に大正四年以來の新安値に近り、三圓臺割れ懸念が頗る濃厚となつた、北滿大豆の收穫減や、値下りによる出廻薄を材料として先高見越しによる思惑買を敢てしてゐたマバラ筋は今やこの大勢安には如何とも施す術もなく、遂に投げ出すを餘儀なくせしめられ、その痛手も頗る甚大であらうとみられてゐる、歐洲筋の唱値は大連の市價に比して遙かに逆鞘を呈してゐる結果、現在の状態を以てしては到底買氣の擡頭は期待し得ないものとみられ、從つて大豆は實勢頗る軟弱であるから出廻りの如何に拘らず軟化は必須的なものではないかと觀られてゐる、豆油も歐洲向の取引が不振となつたため頃來軟化の一途を辿つてゐたが二十六日七圓六十五錢と大正三年以來の新安値を示現し高粱も大正七年以來の新安値を示し各品共相伴つて再び落潮を繰返してゐる

土木建築工人の勞銀著しく騰貴

勞力の拂底せる結果

昭和八年中の滿洲における勞働關係を見るに滿洲における土木建築界の發展は昭和八年に於て一段と拍車をかけ土木建築工事の總額も一億圓を突破する程の躍進振りを見せた結果職工人夫の使役實數も約二百六十二萬八千人に上つた、それを職業別で示せば左の如くである（單位千人）

職業	人數
大工	三、六三〇
左官	八五四
煉瓦工	一、〇〇七
石工	二四五
鍛力工	一九〇
ペンキ工	三六九
人夫	一九、九八五

而して滿洲における使用人夫は山東苦力、滿洲國人、鮮人或は邦人に別れ居るため、治安維持の關係上山東天津方面よりの入國を軍部或は滿洲國により制限したるため勞役ひ土着勞働者、鮮人勞働者を使するの止むなきに至り、之が需給調節に困難を感じた、從つて勞力は拂底を來し勞銀は昂騰を示した新京における勞銀の騰貴状況を示せば左の如くである

種別	昭和八年十月の賃銀	同十二月比騰貴率
並人夫	八〇	二、六%
左官工	二、三〇	二、八%
鍛力工	一、八〇	二、〇%
ペンキ工	二、〇〇	三、三%
士工	一、二〇	—

年度掉尾輸送 平穩に推移

【奉天特電二十六日發】最近に於ける特産相場は依然軟調を辿りて居るため社外貨物の持込は好轉の材料なく、僅かに遼河の解氷により營口向貨物の増加を見るのみであるが、夫れも未だ期待する程度に達せず、一方社線貨物は滿鐵事部託送の石炭發送が大官屯八百四十八車、控車十七車、本溪湖二十九車、計八百九十四車の豫定であるが、海線は一日六十六車の積出に過ぎず、これを全面的に見るときは本年度掉尾の輸送は平穩裡に推移するものと豫想されてゐる

滿電社債千萬圓

山一、野村引受け決定 目下拓務省で手續中

【東京特電二十六日發】曩に入江專務東上折衝中であつた南滿電氣會社の社債一千萬圓はこの程山一、野村兩社引受で左記の條件で發行することに決定、目下拓務省で手續中である

▲發行總額一千萬圓▲利率年四分五分パー▲償還方法一ケ年据置六ケ年間に隨意償還▲拂込期日五月一日▲保證、元利金共滿鐵にて保證▲引受山一、野村兩證券會社

南滿製糖奉天工場買收

【東京二十五日發國通】鮮銀に擔保となつてゐる南滿製糖奉天工場を昭和製糖社長明石初太郎氏及び跡宮金太郎氏等が中心となつて八十五萬圓で買收し一千萬圓の新會社設立計畫を樹て滿洲國政府、滿鐵、東拓その他關係者に出資方奔走中で贊成を得れば五六月頃創立の豫定である

支那地方財政立直し策

【南京二十五日發國通】國内統一に乘出した蔣介石氏は曩に各省軍政長官を南昌に召集して地方軍政整理の急務を强調したが、更に全支の紊亂せる税制を整理しこれによつて農民の負擔を輕減すると同時に國庫の收入を增進するに決定し、來る六月各省財政責任者を南京に召集、全國財政會議を開催する事となつた、蔣氏はこの會議で各省の苛税雜捐を整理しこのため に生ずる各省の收入減は中央において補助するといふのであるが、中央の極度の財政難、地方各省の税制紊亂状態に徵して其の成果は全く疑問視されてゐる

舊態から離脱して根本的に機構刷新

面目を更めた滿洲輸組聯合會

久しく懸案として成行きを重視されてゐた滿洲輸入組合聯合會の權限擴充問題は、二十四日の臨時聯合總會に附議の運びとなり慎重審議を遂げていよ／＼これを可決し聯合會は完全に舊態を脱し新らしい機構の下に全滿輸入組合の指導統制に當ることゝなつた、今回の改革内容の骨子は第一に聯合會の事業目的が從來單に各組合の統制と記せられ、滿鐵對輸入組合の仲介機關としてのみの存在に過ぎず

權限 は名のみに止まつてゐたものを明確に事業目的を列擧し、統制の實權を附與したことにあり、即ち定款第三條を

本會は本邦商品の滿洲輸入增進並に在滿邦商の振興を圖るため左の事業を營むを以て目的とす

一、所屬組合の指導監督及共匠利益の増進
二、所屬組合に對する資金の貸付
三、商店經營並に商慣習の改善
四、仕入の斡旋、委託販賣の仲介販路の擴張
五、運賃諸掛の低減
六、其他前記各項に附帶する事項

と改正し、その進むべき目標を明記したことにあり、第二の改正點は右と關聯して實質的にも聯合會に實力を附與する見地より各組合の直接滿鐵より借り入れたる融通資金はこれを聯合會が直接滿鐵より借り入れ、これを各組合に融通し、これにより聯合會が名實共に各組合の資金融通の監督統制を行ひ得ることゝ、また理事長の權限がこれと共に一段と擴充され所屬各組合理事の選任、罷免は從來の

滿鐵 の事後承認の形式より「聯合會により滿鐵の承認」として聯合會理事長がその人事にも關與し得ることに改正し、實質的にもその統制に遺憾なきを期し得ることゝしたこと、第三の改正點はその統制に當つて從來の劃一的統制を廢し、各地の經濟事情並に組合の實力に應じ十二分に輸入組合の活躍を爲し得るの途を拓いたことにあり、第四は右と關聯した事項であるが聯合會の承認を條件に組合員の實情に應じて從來組合の運用資金が定款第二十九條に「當分の内組合員の出資金は銀行に預入れこれ（貸付資金）に充用せざるものとす」とあるを組合員の出資金及び缺損補償準備金をも貸付資金に充當することゝ改正し、その資金を增額し、その額は全組合が悉く承認された曉は現在の三百萬圓より五百七十萬圓に增大することになり、運用資金が著るしく增大されたこと、またこれに關連して信用貸に就て普通信用貸と特種信用貸と差別を設け後者に就ては輸入組合總出の仕入資金決濟に限り出資金の三倍まで貸付限度を擴大し得ることゝし、これらの諸事項は聯合會が實質に於ても干與することゝしたこと、更に第五は主として輸入組合に就てゞあるがその組合の經營を容易ならしめ、その基礎を鞏固ならしむるため組合員の出資金に對する

利息 拂戻を中止し、これを缺損補塡準備金に積立て、特別準備金もこれを廢してそのまゝ從來の積立金たる缺損補償準備金に繰入れることによりその對外信用を昂めること等で、これにより輸組聯合會並にその統制下にある所屬各輸入組合はいよ／＼新らしい機構下に積極的活動に入ることになつた

利率引下も實行出來やう

大連輸入組合では別項の如く輸組聯合會の臨時總會の結果、輸入組合機構に一大變革を招來し、また組合の劃一的統制打破によりいよ／＼積極的に活躍の途を拓かれ而も從來全滿輸入組合の指導的地位にあつた關係上今後率先して機構[illegible]よ／＼過般の聯合會總會の決議事項を實行に移すべく研究に着手したが、貸付限度擴張、貸出利率の引下も他組合に比してその實行は可能性多分にあり、貸付金利の如き[illegible]餘地ある模樣で、目下これについて研究を遂げつゝあるが、諸案件の決定を俟つて役員會を招集附議し五月中旬開かれる定時總會に附議する筈である

對滿佛投資漸次具體化せん

來連のバロン、バイヤン語る

對滿投資の具體化を計らんとして居るフランス經濟發展協會の動向は目下注目されつゝあるが、過般來連したベルースーミン一行と相當密接な關係ありと見られてゐるベルギー財界の有力者バイヤン男爵は二十六日入港はいかる丸で來連したが、佛國の對滿投資に關し船中次の如く語つた

息子が東京で仕事をしてゐるのでその間僕は滿洲で獵でもしたいと思つてゐる、何時迄ゐるか不定だ、新京では滿洲國の人々と逢ひたいと思つてゐる併し君達がたづねる樣な大きな計畫は持つてゐない、この間來連したフランスの技師達とは親交もあり東京で林、八田滿鐵正副總裁にも紹介しておいた大連で逢ふかつて？勿論色々話したいと思つてゐる、彼等は皆フランスの有力な對滿投資計畫者を代表してゐる人々だ、あの人達が充分視察の上計畫が出來れば投資問題は具體化すると自分は信ずるドリヴイエ氏のことは自分は知らない（寫眞はバイヤン男）

本年の見本市 兩地主義を實行

奉天は大連開催の後

今夏開催の第五回滿洲見本市に於ては既報の如く主催者聯合會並に後援者滿鐵に於て種々研究を遂げ最近漸く成案を見たが、仄聞するところによれば既報の如き時期を異にした大連奉天兩地開催は研究の結果沙汰止みとなり昨年の如く大連奉天兩地同時開催而も時期も六月下旬より七月上旬にかけ先づ大連に於て開催奉天は大連の終了を俟つて開催すると内定し、昨年度兩地開催によつて生じた種々の缺陷は一段と研究を遂げ之を改善し見本市の機能を十二分に發揮せしむることとなつた模樣である聯合會では目下滿鐵側と細目について打合せ中でその決定を俟つて直に各府縣に出品規程その他關係文書を發送各出品團體商工業者に對する出品勸誘方を依頼する筈である

臺灣生果輸入本格季に入る

四月中直航船は七隻

臺灣に於ける生果期も愈々この四月より本格的になり滿洲への輸入も次第に增加することゝなるので大阪商船では既に臺灣—大連間の生果直航船を開始してゐるが四月中の生果直航船は左の如くである

◇高雄大連間直航 高雄發

四月	船名
三日	甲子丸
六日	大華丸
十三日	西山丸
二十日	中華丸
廿四日	第二東洋丸
廿七日	大華丸

◇高雄—基隆經由—大連航路 廿三日 甲子丸

なほ生果積の第一船として去る二十三日に大華丸が生果三百三十二噸、バナナ五十三噸を積んで入港したが、その荷捌き状態は極めて良好で既に二十六日迄には完全に消化されたのでこの市況に鑑み今後臺灣生果の滿洲への輸入は殷盛を極めるものと豫想さる

再燃の兆ある取引所合同問題

（四）◇……合併工作と業績豫想 川島生

大連における各取引所を民營にし一しこれを合同するとしても各種各樣の方法があらう、例へば官營取引所を民營に移管し、一會社を主體として他社を合併する方法もあれば、新に會社を設立し、豆信、錢信、五品の三社を買收合併する方法もあらう、更に合併の場合三社の評價及株式の分配等についても各立場々々によつていろ／＼な見方があり、各種の方法が論議せらるゝであらう、而して之は三社首腦者、株主代表、各市場取引人、大連財界有力者、金融業者等の和協的共同工作に依り、經濟的大局より發足し、冷靜なる批判と公平且つ正確なる採算を以て合同具體案を作成さるべき性質のものであるが、今茲には單に、合同取引所の將來の成績を卜し、それが滿洲財界にもたらす效果を暗示するために、左の樣な方法で大連の取引所三社四市場を一丸とした民營一大綜合取引所を新設したと假定する。◇

一、名稱 株式會社大連取引所
二、資本金 金三千萬圓、一株の金額五十圓、總株數六十萬株、第一回拂込金七百五十萬圓
三、三社の營業權を買收併合す但し買收代金は新會社の株式及現金を以て交附す、三社の所有する有價證券及動產不動產は評價の上新會社に繼承し、其の清算事務及費用は各社の負擔とす豆信、錢鈔、五品の三社は解散す
四、新會社株式の分配 右については明細なる私案あれど當事者の研究に俟つこととし發表なさを控へ、大略株式の大部分を三社の株主へ、一部を三社取引人、重役及社員、東京大阪兩市場關係者等に分配し、更に一部を相當のプレミアム附にて公募することとして置く ◇

さて右の新設取引所が如何なる成績を舉げ得るかを測定する前提として、先づ既往における各社が如何なる業績を舉げてゐるかを知るため各社の第一期より昨年度下半期までの手數料收入及純益金の最高、最低、各期通算平均を示してみる（單位圓）

▲手數料收入

	最高	最低	平均
豆信	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢信	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲純益金

	最高	最低	平均
豆信	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]

右の通り各社各期を通算したる平均手數料收入を合算すれば四十二萬五千七十八圓となり、同じく純益金を合すれば五十萬五千四百四十圓となる、しかして各社の既往における株主配當は豆信會社が第十一期に最高十割五分三厘、最低五分六厘、錢信會社は第三期に最高九割二分、最低三分、五品は第四期に最高四割、最低三分の配當を行つてゐる、もつともこの間豆信は第二期より昨年下半期（第四十一期）まで引續き配當を行つてゐるが、五品は第一期にプレミアム收入約金二百五十萬圓の純益金がある代りに、第十二期に資產整理のため百九十八萬圓の損失金を計上し、更に第二十期、二十二期、二十三期に亘り重役の背任行爲による整理のため赤字を計上し前後十一期無配を續け、錢信會社も元重役の背任行爲の穴埋整理のため六期間無配を續けたこともあるが、常態における三社の平均配當率は豆信一割六分二厘、錢信二割三厘、五品一割四厘となつてゐる ◇

更に三社が既往各期を通じて一番儲かつた期の純益金のみを合算すれば百五十三萬六千九百八十三圓となり、現在の三社拂込金の合計に對して四割一分強の利益率となり、反對に各社が整理其他で最も振はなかつた期の純益金のみを合すれば六萬三千九百八十五圓で拂込金合計に對し一分七厘強の利益率となり、更に各期を通算したる純益金の平均合計五十萬五千四百四十圓は、現在拂込金合計に對して一割三分七厘強の利益率となる右の數字によつて合併新會社の將來における成績も或る程度まで豫想することが出來よう（つゞく）

函館大火で鰮粕先高見越

【大阪特電二十六日發】函館大火による鰮粕の被害は今尚ほ調査中であるが、保管倉庫所在地が罹災區域である點から見て大部分は燒失せるものと見られてゐる、最近に於ける同地在荷數量は合計四萬五千俵である、なほ阪神及び敦賀共に最近鰮粕現物の在荷拂底せるため先高を見越されて居る

上海爲替情報

【上海二十六日發】紐育銀塊及諸物價高のため標金安寄弗は三井六月物三十五弗賣り後輸入デマンドあり外人六月物三十五弗丁度七月物三十五弗八分一買したため小戻した所アメリカの自動車罷業解決の入報あつて標金は恒興、福興永、北方筋賣り下押す間は北方筋買ひ花旗百十五二分一賣り弗買の後百十五八分三賣り手にて保合支那人の爲替賣持ちは一千萬弗見當にてアメリカ議會の情報待ち目先積極的出動する模樣なし

寄值 上海標金 九五八弗六

黄塵

◇…函館の大火災で恐慌に襲はれてゐる契約會社數が合計四十九社、商工省では早速調査に取りかゝり賠償を擁ひさせる方針をとつてゐるが、會社側の大體の報告による支拂保險金は總額千五百萬圓見當とあるが事實は二千萬圓を超えてる模樣。

◇…由來函館はその地形が地つゞき島の關係から三方から強い海風を受け從つて火災も多い、近年の大災記錄は明治四十年夏の燒失家屋八千九百餘戸を筆頭として大正十年春の二千餘戸を一氣になめ盡したものまで合計九回一萬五千九百八十六戸を算しこれに年々の小火災數を合算すれば非常な數に上る、これではいかに高率な保險料を取つても追つつくまい。

◇…最近フランスでは大豆油を研究の結果、鑛物油と變らない、しかもそれ以下の生產費で出來る植物性重油の製造に成功したといふ。

◇…そして最近これを燃料とする自動車發動機の新裝置にも成功して、その見本二つが奉天についた、歐洲筋大豆需要の減退を懸念されてる此頃大豆界に取つては甚だ愉快な福音である。

特產 市況（廿六日）

投げ物ありて大豆新安値

今朝の定期は大豆は奥地筋賣と投げの續出に低落を辿り、豆粕は大豆安に押されて軟調を示し、豆油は人氣なく弱保合、高粱は區々保合を呈した

◇定期前場（銀建）

▲大豆（低落）單位厘 [illegible]

▲普通大豆（出來不申）[illegible]

▲豆粕（軟調）單位厘 [illegible]

▲豆油（弱保合）單位錢 [illegible]

▲高粱（區々保合）單位厘 [illegible]

◇現物前場 [illegible]

錢鈔 材料高で鈔票堅り

海外情報は倫敦銀塊四分一高、紐育銀塊現物先物共同事、米英クロス一仙四分一安、孟買銀塊休會、米支爲替同事、米日爲替六仙安、

豆粕四九一〇千枚 八五千枚 豆油三一六五百函 四〇百函

豆

休日明けのけさ大豆は買氣薄による先安見越から奥地筋の賣と投げの續出で低落を示し▲本年一月八日の安値三圓八錢を更に三錢方下廻り新安値に墜落し三圓臺割れを懸念さるゝに至つた▲豆粕は三井、三菱、瓜谷等邦商大手筋の買あつたが大豆安に押されて軟調を辿り豆油も弱保合高粱も區々保合を呈した▲豆油高粱もそれ／＼新安値を示現したが再び落潮 [illegible]

銀

[illegible]

株

[illegible]

株式 內地株變らず 地株保合

[illegible]

◇定期（單位十錢）[illegible]

◇延取引 [illegible]

滿鐵株（堅り）

▲東京短期 滿鐵新株 六十八圓 ▲大阪短期 滿鐵舊株 六十八圓九十錢

◇爲替及受渡日歩 [illegible]

商品 麻袋變らず 綿糸小戻し

[illegible]

爲替相場

手形交換高（廿五日）[illegible]

鮮銀

[illegible]

奥地相場

[illegible]

錢鈔

[illegible]

特產

[illegible]

市場電報（廿五日）

銀塊及爲替

[illegible]

神戸日米

[illegible]

棉花

[illegible]

大阪株式

[illegible]

東京株式

[illegible]

大阪期米

[illegible]

神戸期米

[illegible]

東京期米

[illegible]

大阪綿糸

[illegible]

大阪棉花

[illegible]

橫濱生糸

[illegible]

印度麻袋

[illegible]

滿洲日報

朝夕刊共十二頁

印刷人 木村武盛 發行人 橋本喜代治 編輯人 鈴木昇

發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社 滿洲日報社 振替口座大連六〇番

聯關問題を解決し 滿洲國承認へ徐行
北支繁榮策として 黃郛氏近く中央に提議

【東京特電二十五日發】黃郛氏は四月初め南京にて汪精衛、蔣介石氏等と會見し、北支情勢を報告すると共に日支關係の調整のため懸案解決に一歩を進める提議を爲す筈であるが、その案の要旨は北支那の平和と繁榮を期するため對日懸案の解決を三段に分ち、第一には先づ非武裝地帶內の治安と經濟問題につき交涉をなし、次に滿洲事變後における滿洲國との關聯問題、卽ち郵便、通關、交通等について便法を講じ、然る後滿洲國承認問題に移るといふ順序を取るものだと

北支那協會

[illegible]六日午後芳澤氏を議長に總會を開き滿場一致左の申合せを可決した

一、北支方面を中心として日支の經濟協力技術合作に斡旋すること

一、右に適する問題又は事項を具體的に考査すること

一、考査の結果適切と認むるものは政府當局に進言し或ひは日支當局者の規畫に移すこと

一、支那側にも本協會と對應すべき民間有志團體の施設を慫慂すること

愛憎つかして ライヒマン氏引揚ぐ
日本協力の要を痛感

【上海二十六日發國通】技術合作委員として國際聯盟衞生局より派遣されて渡支以來支那政府の國內[illegible]底ラ氏の理想とする建設計畫に着手し得るまでに整頓し居らず且つ支那政府がラ氏の建策に不熱心で業を煮やし四月末支那を引揚げジュネーヴに歸ることになつた、曩に渡支せる聯盟の技術合作委員ソルター氏の報告に支那の現實を暴露し日本の協力なくば支那に於ける如何なる性質の建設も成功の可能性なきことを述べてゐたがライヒマン氏もまた同樣の感を抱いてゐるといはれる、ラ氏を最後として聯盟から派遣された技術合作委員は全部支那の現狀に愛憎をつかして引き揚げた譯である

林大將豫備役

【東京二十六日發國通】

陸軍大將 林仙之
陸軍中將 阪本政右衞門
二宮治重
安藤紀三郎
淺田禮三
軍醫總監 伊藤賢三
陸軍少將 弘岡道明
長谷部照伍

豫備役仰付らる

近く補充さるる樞府顧問官
有力視さるゝ候補者

【東京二十六日發國通】第六十五議會も二十六日閉會式を終へこゝに無事終幕となつたので政府は議會の後始末をなすため廿七日の定例閣議で今議會の協贊を經た諸法律一部の公布手續をとる豫定であるが、就中現內閣の一枚看板たる選擧法改正法律案は衆議院で大修正を加へられ兩院協議會の結果貴族院側の讓歩によつて修正案が通過を見るに至つたので政府は近くこれ等樞府へ再度諮詢の手續をとることゝなつた、然るに樞密顧問官は現在六名の缺員となつてゐるため選擧法改正法案の御諮詢を始めとして將來樞府において重要案審査上にも不都合を來す虞あるに鑑み可及的速かに缺員補充を行ふことを決意し近く人選に着手し樞府側と折衝を行ふ段取りとなつた、而して補充される顧問官には學習院長荒木寅三郎、三上參次博士、高田早苗博士、行政裁判所長官淸水澄博士、樺山愛輔伯、樞府書記官長二上兵治の諸氏が有力視されてゐる

米自動車爭議解決
ル大統領の斡旋奏功

【ワシントン二十五日發國通】自動車に關する勞働爭議解決方につきル大統領は二十五日日曜にも拘らず勞働者側代表者を招致し斡旋に努めた結果、漸く妥協點に到達し右協議後ホワイト・ハウスより正式に爭議が解決された旨發表された、但し解決條件については何等發表されなかつた、今回の爭議は賃銀引き上げ、勞働時間短縮、勞働組合承認問題等を契機として雇傭者側及び從業員側との對立が尖銳化した事に端を發したもので勞働者側は二十一日を期して罷業を決行する旨聲明して事態は一時頗る惡化したが成行を憂慮したル大統領は去る二十日調停に乘り出すと共に一方從業員側に對し罷業開始の延期を要請し二十一日以來連日に亘り勞資雙方の首腦部を招致し復興局長官ジョンソン氏なども交へて解決方につき協議を重ねた結果、遂に二十五日に至り漸く妥協點に到達し一時不可避と思はれた總罷業の危機もこゝに防止する事を得たものである

通貨安定報告書

【ロンドン二十六日發國通】三月七日よりパリにおいて開催された國際商業會議所、通貨政策委員會において採擇された通貨安定に關する報告書は二十五日發表されたがその內容は日、英、米、佛、獨の五ケ國で通貨安定會議を開くべき事等を勸告したもので要旨は左の如し

一、金本位への終局的復歸に至る前提として通貨の現狀を基礎としてその暫定的安定を圖るため英、米、佛、日、獨五ケ國の小會議開催を勸告する

一、世界各國に於て卽刻通貨の安定を實現せざる限り通貨不安定の新波動が發生するに至るべき事を各國政府に對して警告する

一、今後の見透しが一九二九年以後よりも好望なることは認めるが若し金本位離脫國にして依然離脫の利益を追窮するに於ては金本位維持國も勢ひ之を離脫するに至るべく延いては新規に世界通貨戰を惹起する事とならう

新事態に添ふ 軍制改革着手
陸軍の全部門に亘る

【東京二十六日發國通】南陸相時代に完成された第二次軍制改革は滿洲事變の突發に無期延期したが事變の進展、國際環境の轉換に鑑み裝備の部門に應急施設をなす必要から兵力編成制度の各部門も今後の國際新事態に幾多の缺點あることゝ及び滿洲國での日滿共同防衞の見地と滿洲國の環境より見て、關東軍の兵力編成裝備に幾多の改善を要する事に鑑み全陸軍の全部內の新事態的改革整調をなすと共に恒久的施設確立のため陸軍では四月早々本格的軍制改革の研究に移ることに決定した、研究作案上主力は裝備の改善卽ち軍の近代化一に注がれる筈である

閣僚會議か
林陸相の國防諸政策

【東京二十六日發國通】議會も終了で林陸相は國務大臣の立場に於て提議すべき政策問題卽ち國防との關聯を持つ諸問題につき調査研究する意向であるが、荒木前陸相によつて提議された諸政策問題についての記錄も大體整理がつき又林陸相就任當初省內關係機關に命じた調査も大體一段落の形にあり更に二十七日の師團長會議席上各師團長より各地方軍隊を通して見たる國防關係の地方情勢並びに要望等聽取の筈で國防關係諸政策に對する林陸相の研究は相當速かな進行振りを示すと察せられる、併しながら政策問題につき林陸相は極めて愼重な態度を持し時局に對する正しき認識を持つ以上何人と雖も異論の餘地ない提案をする決心を藏してゐる關係上、一應の研究を終るとも自ら納得行くまでは幾度も中央、地方各機關に對し研究を爲さしめる意圖なので、政策を愈々具體的に閣議或は關係閣僚に提議するのは早くも五月末頃かと見られる

兩中將待命

【東京二十六日發國通】軍令部出仕の閑職にあつた左近司、寺島兩中將その他に對し二十六日左の如く待命仰付けられた

軍令部出仕 海軍中將 左近司政三
同 寺島健
同上海軍少將 山內豐中
同上主計中將 淡輪敏雄

待命被仰付(各通)

左近司中將は軍令部出仕となる前佐世保鎭守府司令長官であつたがロンドン海軍會議には海軍側首席隨員として財部全權を扶け後練習艦隊司令官を經て佐世保鎭守府長官となつたものである寺島中將は曩に軍務局長、練習艦隊司令官であつた

伊藤中將等待命

【東京二十六日發國通】二十六日發令された海軍將官待命中には上海事變當時陸戰隊司令官であつた植松練磨少將、艦政本部出仕三井德三郎少將、軍令部出仕伊藤孝次中將の三名も加はつてゐる

三木代議士失格
上告棄却判決下る

【東京二十六日發國通】東京市第一次疑獄の上告審は大審院刑事部淸水裁判長係で取調べ中であつたが本日午前十時五十分淸水裁判長は上告棄却の判決を下したかくて

懲役三ケ月 贈賄幇助 三木武吉
懲役五ケ月追徵金四千圓 中島守利
懲役七ケ月追徵金五千圓 收賄元代議士 大野敬吉
懲役四ケ月追徵金五千圓 元代議士 矢野源吉

の前審判決確定し三木、中島兩氏は代議士失格となつた

宮崎部隊凱旋

【奉天二十六日發國通】熱河に於て皇軍の武威を輝かした第○○團は既報の如く內地へ晴れの凱旋をなす事になつたが同團宮崎部隊○○○○名は本日午前十時四十四分着奉山列車で在奉官民の熱誠なる歡迎を受け着奉したが、同部隊は少憩の後午後八時五十分發軍用列車で新京經由母國凱旋の途に就く筈なほ早川部隊も本日午後一時五十四分着奉二十七日午前零時新京經由內地へ向ふ豫定である

○團歡迎會

【承德二十六日發國通】二十五日午前十一時より新駐屯○團歡迎會を日滿各機關主催の下に盛大に開催、中根領事の挨拶、浦○團長の答辭あり開宴、手踊、手品の餘興あり中にも柔道、ボクシングは熱河最初の事とて大人氣を呼び又模擬店あり盛大裡に午後二時散會、參列者七百名、下士以下には赤白の餅を配つた

銀輸出稅率改正 當分實施至難

【上海特電廿六日發】國民政府財政部は銀高對策として銀輸出稅率を改正することに內定したが、アメリカに於ける新銀政策の見透しつくまで實施は困難と見られてゐる

若杉一等書記官

【東京二十六日發國通】今度北平公使館一等書記官として赴任の若杉要氏は本日午後一時東京驛出發途中新京熱河を視察、四月一日北平に着く筈なほ大阪より滿洲國大使館一等書記官吉澤淸次郞氏も同車する

關東廳辭令(二十六日)

關東廳遞信書記 中尾榮造
依願免本官
關東州公學堂敎諭 前田熈胤
任旅順高等公學校訓導
關東廳警部補 竹原昊
依願免本官

好奇の眼を鍾めて 帝國ホテル前 人山を築く
着京當日の兩特使 寸時の寬ぎもなき慌しさ

【東京特電廿六日發】晴れの國賓を迎へた帝國ホテルは朝から日滿兩國旗を飾り立てゝどよめき渡るので、泊つて居る多數の外人は何ごとかと眼をまるくして囁き合ふうちに宮內省の儀裝馬車と儀仗兵に送られて颯爽とはいつて來た特使一行を見てマンチウクオ、マンチウクオとうなづく、また承認せぬ彼等の國ではあるが限りない親みと好奇の眼をもつて迎へて居た、特使一行には二階三階を通じて二十五室が提供され鄭總理は三階の北側日比谷公園を眺められるところで熙氏はその下の二階であるがいづれも餘り飾り氣のない質素な部屋でその附屬室には大小のトランクが堆く積まれてある、一行が到着すると間もなく待ち構へた田邊參議が兩氏と握手する、續いて在京滿洲國人が殺到する、その中には松葉杖の丁公使前チチハル市長の金憲立氏の姿も見えたがいづれも感激に充ちた面持に見えた、鄭總理は記者團に對して面接し終ると直に宮中參內のため出掛けやうとするところへ小磯中將が駈け付けて廊下で固く握手を交し簡單な會話を交換し頗る感激に充ちたシーンであつた、斯くて午前は參內と各宮家に伺候し午後は各大臣歷訪と寸時も休む暇なき慌たゞしさであるが、この間にも日滿兩國の官民が引切りなしに殺到するのを宮內省の接伴員が入口に人選して勝手に面會させぬやうにしてゐるがホテルの前は出入の特使を見る人々で埋められてゐる

鏡泊湖を見る (六)
北湖頭附近

◇…北湖頭は四季を通して、寧安、敦化間交通の要路をなしてゐる、冬期は此處より鏡泊湖に入つて氷上を縱斷南湖頭に上り、他の季節にはこゝより鏡泊湖東岸山岳地帶の舊街道に入り松乙溝に出る

◇…滿洲人の[illegible]は三千年以前より、二千年以前まで、約一千年間に渉つて東京城附近に文化を開いたが、その本據を置いてゐたのは鏡泊湖沿岸の部落で、北湖頭もその一つである。

◇…去る二月末完了したわが高波部隊の討匪行においても、北湖頭は重要な役割を演じた、北湖頭を扇の要に、討匪軍は六道河、老爺廟、朝陽川、松乙溝と末ひろがりに行動を起し、大匪首于靈宗を房身溝の密林中にたふしたのであつた……終(島田特派員記)

兩陛下御成婚 十周年御內宴

【東京二十六日發國通】兩陛下は御成婚後一月二十六日で十周年に當らせられたが宮中喪で延期し本日正午千種間で御記念の御內宴を行はせられた、牧野內府、齋藤首相、湯淺宮相、鈴木侍從長、本庄武官長出席した

首相議會經過奏上

【東京二十六日發國通】齋藤首相は本日午前十一時半宮中に參內、閉會式を終了せる旨伏奏と共に議會の經過を奏上し正午退出した

滿洲國兩特使 親書を捧呈
けふ宮中參內

【東京二十六日發國通】國を擧げての歡迎裡に二十六日入京した滿洲國特使鄭國務總理大臣、熙民政部大臣は二十七日宮中より差廻しの儀裝馬車で午前十時十分ホテル發宮城正門から參內鳳凰の間において同十時三十分天皇陛下に謁見仰付けられる御豫定で鄭特使より溥儀皇帝の御親書を捧呈我皇室に深き敬意を表し奉り、陛下には更に隨員一同にも謁見を賜はり皇后陛下にも桐の間において一同に謁見仰付けられる筈である、兩特使は更に同日豐明殿における午餐[illegible]に臨むが陛下にはそれより御答訪の御使として林式部長官を帝國ホテルに差遣はされる御豫定である

露國汽船坐礁

【香港二十六日發國通】香港總領事代理より廿六日外務省に達した情報によれば二十三日の香港各新聞は左の如き記事を掲げて各方面の注目を惹いてゐると

香港サルベージ船ヘンリー・ケスウィック號は數日前東砂島珊瑚礁に坐礁せる露國船クズネルス號の救助に赴きたるも不成功に終り二十一日歸港したが其の齎らせる報告によれば該露國船は組立用河川砲艦一隻、七十呎汽艇數隻、其の他多量の銃器々具を滿載してゐるもの〻如く現にサルベージ船員の救助作業中にも露國側に於ては極力積荷を隱蔽せんとの態度を示した、尙現場には露國船カマリー號停船して居り他の露國船ドブエル號は救助用機械を求める爲め浦鹽に急行した

大連都計委員
來月四日初顏合せ

去る六日一般委員會において特設されることゝなつた大連都市計畫區域決定に關する審議研究をなすべき特別委員は左の如く決定を見たが來る四月四日午前十時から關東廳會議室において特別委員會を開催の筈である

要塞司令部伴野少佐
小川大連市長
根橋滿鐵計畫部長
多田滿鐵地方課長
中村鐵道部工務課長
入江滿電專務
滿洲技術協會長目瀨護吾
高田大連商議會頭
御影池民政警務長
安永地方課長
本田保安課長
折下關東廳囑託
臼井技師
山本土木主事
淸水土木課長

羽田鐵道部長

滿鐵々道部長羽田公司氏は○○隊司令官及び關東軍西尾參謀長の新任に際し最初の挨拶のため廿七日午前九時大連發の急行で奉天、新京に赴くが二十九日歸連の筈

社説

第六十五議會の特異點

第六十五議會は二十五日夜にかけて議事を終り、二十六日閉會式を行ひ、勅語を賜はつた。政府提出案四十八件あつて、四十六件を可決し、審議未了のものは治安維持法改正案、出版納附法案の二件のみ。成績先づ良好といふ可きである。但し、その法案は必要已むを得ざるものゝみで、自然に出來上つたものだ。特に此内閣の努力の結果と認むべきは、通商擁護法案の外には見當らぬ。米穀案の如きは、重要產業法中改正案の如きは、重要案であるが內容は充實したものでない。故に不充分ながら已むを得ずとして可決されたに過ぎない。而して何といつても此議會の大事業は二十一億四千二百萬圓に上る總豫算並に追加豫算を可決し、莫大の赤字公債を是認し、非常時豫算の特色を明示したことである。

◇

議會中に目立つたのは大臣個人に對する攻擊が頗る猛烈で、爲めに二大臣を退職せしめたことであるが、その爲めに內閣の崩壞を導かなかつた事は政界の特異點であつた。以上の本議會の特色はすべて非常時なるが故に見る現象であるが、此れに基く議場の狀況に頗る注意すべきものがある。之れ亦此議會の特色として味ふ可きものだ。それは大臣個人の行爲に關する糾彈の際に轉脫線を見たのみで、その他の場合は概して眞面目に國事審議が運ばれたことである。

◇

議員の質問も態度も眞面目であり、大臣の答辯も眞面目であつた。議員の態度が、以前に屢々見られたやうな、ふざけた態度や賣名的態度も少なく、多數を恃みて無理を通すといふ不快な現象も少なかつた。大臣の態度も議員を翻弄するとか詭辯を弄するとかいふこともなく、双方共に極めて眞摯に國事を議する態度を執つてゐた。これは我議會の爲めに頗る喜ぶ可き現象である。從來屢々議場廓清が唱へられて行はれなかつたが、今次議會が稍其の形を示すに至つたのである。

◇

その原因は、國民多數が議會の不眞面目を悅ばず、その罪は議員素質の低劣並に政黨の橫暴にありとして、議員並に政黨の反省を求むる空氣が頗る濃厚になつて來たからである。從來は議會萬能の空氣が一般民心中にあり、議會の爲す所は無理でも仕方がない、それでよろしいのだといふ狀況だつたが近時の民心は必ずしもさうでない。故に議會の決議でも無理は出來ず、政黨も多數を恃みて無理を議場に通すことが出來なくなつた。政黨が無力になつては個人も政黨の力に頼ることが出來ない。隨つて、政黨も議員も眞面目に國事審議に努力するより外に歩む可き途がない。かくて政黨も個人もこれによりて人氣回復を計らねばならない情勢に迫られたのである。政府でも多數政黨に擁立さるゝものではないから與黨と組んで無理押しする必要はなく、自然に正眞な國策を說明するより外に途がないのだ。

◇

以上は皆、多數黨が內閣を組織せず、政黨に超然たる內閣の存在あるが故に實現された現象である。果して然らば所謂憲政常道に反する政局がこの結果を齎したものであつて、我が憲政史上の頗る注目すべき現象たるを失はぬ。我が憲政の發達に志すもの、好資料と爲すべきものであると考へる。尙此の議會に於ては、滿洲問題が可なり深刻に質問されたことが注意すべきだ。從來腫れ物に觸るやうに取り扱はれたのが、可なり突き込んで取り扱ふやうになつたのは議會が職責に反省した事を示す。又その滿洲現狀に對する認識の深くなつたことをも示すのだ。而して此の質問と、それに對する政府の答辯とが、一般國民の滿洲に關する知識を深むるに與つて力あつたことをも否定し得ない。

特殊事業の認許
滿洲棉花會社法
國務院會議々決

【新京特電二十六日發】滿洲國々務院第四次會議は二十六日午後二時より開會左の五項を議決した

一、勳位及び勳章に關する件
二、陸地測量法中改正の件
三、滿洲棉花股份有限公司法
四、航政局官制中改正の件
五、大同二年度第二準備金支出の件

宮脇中佐情報處長就任決定

宮脇中佐退役

【新京特電二十六日發】關東軍司令部第四課新聞班宮脇中佐は今回いよ〳〵退役して滿洲國々務院情報處長に就任、近く正式發令をみる筈であるが

同中佐は上海事變突發するや第○○團とともに新聞班として出動、事變の終結と同時に內地に凱旋、關東軍司令部が奉天より新京に移駐、第四課の擴充整備に當り選拔されて昭和七年十二月十九日着任、爾來一年四ケ月その間全滿に亘る治安工作にまた熱河討伐に偉功を樹て殊に滿洲國大典の新聞統制に當つて非凡なる手腕をふるつて名聲を博した、同氏は外國語學校に委託生として英語を專習、更に英國へ留學、歸朝後は陸軍省新聞班員として勤務、今日まで八年間わが國陸軍部內における新聞班の權威であつただけ氏の情報處長は最適任者として各方面に非常な期待がかけられてゐる

なほ川崎外交部官化司長の兼任であつた國務院情報處長の遷任も決定したが後任には關東軍司令部附宮脇中佐が退役して近く同處長に任命を見るはずである

出廻不振の結果
鐵路總局は收入減
創業一周年の業績

【奉天特電二十六日發】鐵路總局創業一周年昭和八年度營業收入は見積りの五千五百萬圓に達せず四千八百萬圓程度とみられるが二月末累計營業收支決算をみれば次の如く收入四千五百八十萬五千圓支出三千五十七萬九千圓で差引純收入千五百二十二萬六千圓に達した

（單位千圓）

項目	金額
鐵道收入	四二、四一三
同　支出	二七、八四七
水　運	一、一一九
同　支出	八六八
附屬事業收入	四五九
同　支出	九二九
利息收入	一九九
同　支出	七四五
雜收入	
同　支出	一、六一四
合計收入	一八九
同　支出	四五、八〇五
同　支出	三〇、五七九

右によつて純收入千五百二十二萬六千圓をあげてゐることは創業匆々としては好成績といふべくただ營業見積收入に達し得なかつたことは豫想外の北滿特產物出廻不振に重大原因があるべくなは將來においても特產出廻對策に良案が實施されない以上國線收入は重大な打擊を受けるので從つて目下北滿特產生產狀況の詳細なる調査が進められてゐる、一方特產の市場價値については海外向不振の原因が世界的不況に起因し惹いて大豆、滿洲大豆の將來は大いに憂慮されるのでその對策の考究が進められる傍ら市場價値大なる產業獎勵に努力されるものとみられてゐる

滿鐵四社員
靖國神社合祀
殉職十五名も詮議中

身を以て鐵路を守り滿洲事變に際して貴い殉職を遂げた滿鐵社員は既に十一名が靖國神社に合祀されてゐるが今回更に左の四名が合祀されることになつた旨二十六日滿鐵本社總務部に通知があつた、なほこの他の殉職社員十五名に對しても目下當局で合祀方考慮中で近く實現を見る模樣である

秋木驛驛長　（故）柳田佐市

（理由）昭和六年十二月十八日約百名の匪賊驛舍襲擊に遭ひ驛員を指揮し交戰の結果殉職す

本溪湖保線區線路長　（故）林公一

（理）由昭和七年八月二十一日先驛列車に乘務中大連案石橋子間において匪賊と交戰殉職す

十家堡驛助役　（故）東野善作

同　驛々務方　（故）佐田儀助

（理由）兩名は昭和七年十一月五日同驛において匪賊の包圍襲擊に遭ひ交戰殉職す

兩將軍新京へ

【ハルビン二十六日發國通】北滿視察中の陸軍省技術本部長緒方大將は二十六日朝飛行機で、又獨立○團長佐藤中將は幕僚三名と共に二十六日午前九時三十分發列車でそれ〴〵新京へ向つた

滿鐵收入
豫想外の好成績
廿五日現在　總額一億二千萬圓

本年度における滿鐵々道收入は二月末ごろまでは豫定の一億二千萬圓到達を危ぶまれてゐたが三月中旬以後豫想外の好成績をあげ二十五日現在で既に總額一億一千九百餘萬圓となり今後六日間に一日平均三十五萬圓の收入をあげることはさして困難でないため最少限に見積るも一億二千一百萬圓を超過することゝ可能となり鐵道部經理課では俄然凱歌を奏することゝなつた、然して以上の收入好況を招來した原因は旅客收入は未曾有の好況を持續したことおよび北鐵南部線の貨物が比較的順調に出廻り石炭の好況が今日まで持續したことにあるが二十五日現在收入累計を左に擧ぐれば（單位圓）

項目	金額
旅客	一八、三八一、一三九
貨物	九五、〇二六、六三九
倉庫	四〇、一二六
諸口	五、五九三、五六一
總計	一一九、〇四一、五六五

大連中央市場
更正豫算

大野勇氏の推薦により大連中央卸賣市場長に內定してゐる前京都中央卸賣市場次長森本靜也氏は三十日入港定期船にて着任の筈であるが、氏は多年大野氏を助けた市場通であり、着任の上は大野氏の市場改善方針を消化して實施すべく大いに期待されてゐる、また市場の昭和九年度豫算は過般の市會豫算委員會にて承認されたが、改めて新市場長の方針により更正豫算を編成のうへ追加豫算として市會に提案する筈である

船質改善助成施設
打切り延長運動
日本船主協會等協議

船質改善助成施設は當初の目的を達して三月一杯をもつて打切りとなることになつたが、日本船主協會では目下その延長問題に對し慎重なる研究をなし造船聯合會並に船質改善協會と協同にて四月上旬助成施設延長に對する特別委員會を開催しその延長方を遞信局に運動せんとしてゐるが、そもそも助成施設なるものは新造船一噸に……

業績は先づ上々
電報料新規定近く發表
廿六日山內電々總裁歸る

去る二十日東京において開かれた滿洲電信電話會社株主總會に出席決算報告の上政府當局と料金改正の打合せを了へた山內總裁は二十六日入港のばいかる丸で歸連した が船中語る

總會に出席し決算報告を無事に濟ませて來た、昨年度（九月より十二月迄四ケ月）の收入豫想は十十萬圓であつたが、實收入は遙かにそれを超過して八十四萬圓……

大連汽船關係質疑（１）
北鮮航路割込み

三月十日衆議院委員會における滿鐵の國鐵委任經營並びに大連汽船に關連せる質疑應答

葉梨委員　滿鐵の滿洲國有鐵道委託經營に當りましては、建設改良費等に對しまして多額の出資をなして居る次第であります、それは公債、社債其他昨年の議會に於きまして增資案が可決せられたのも、主として滿洲國有鐵道の建設改良に投資せられて居ることは、是は周知の事實であります、それ程多額の金を國も亦之に投資して居るといふやうな狀態でありまする以上は、是の御契約の內容を差支ない限り御發表願ふことは當然のことであらうと思ふのであります

例へば上納金の問題、此上納金は相當額あるものであると吾々は風說に諒承して居るのでありますが、併し其上納金が如何なる風に行方がなつて居るか、何處に上納されて居るかといふやうな點は、これは重大な點でありますが、將來財政計畫にまで影響を及ぼす重大な點でありますから、この點に對しましても充分に御協議の上に、正確な御答辯を希望致します、次に私は北鮮の航路に關しまして二、三伺つて置きたいのでありますが、北鮮航路に對しまする當局の御方針は如何なる方針になつて居りませうか、目下の方針を先づ最初に伺つて置きたいと思ひます

林政府委員　御承知の通り北鮮と裏日本とを結びますことは最も緊要の施設であるといふことに着目致しまして、總督府は從來この方面の航路の連絡には不充分ながらも力を致して參つて居るのであります、なほ更に實際の情勢から鑑みまして、北鮮と阪神並に東京方面との航路の連絡といふことにつきましても、財政の許す範圍におきまして出來得るだけの施設を努めて參つた次第でありますが、御承知の通り最近數年來非常な財政難の爲めに、各方面の施設に徹底的な節約を加へました爲めに、既定の補助金も減額を致しまして、又新規の施設につきましてはこれが實現を見得ないやうな狀態にありますことは、洵に遺憾に存じて居る次第でありますが、現在やつて居りますす北鮮と裏日本との連絡の航路は、第一は清津と敦賀を結ぶ航路であります、此線は清津、城津、元山へ寄りまして敦賀に參る線……

八相

不當要求に非ず
大連疊職工組合

◇櫻花臺渡邊安太郎氏の言を聞くに右の渡邊氏の如き人は實際の吾々職工の內容と云ふものを知らない人です。

◇今度の問題は營業者組合より昭和六年二月に工賃の一割五分の値下げを斷行せられ、其翌年即ち昭和七年三月二十四日營業者組合は全請負額の二割を値上げした、其際「營業者が値上するなれば吾々は前年値下したのであるから工賃値上をして貰ひたい」と要求したが、營業者組合は之を素氣なく拒絶した、故に吾々は涙を呑んで今日に及んだのである。

◇即ち營業者が顧客に要求する價額を新疊一枚四圓とすれば新疊一枚（床一、〇〇より一、二〇、表七〇より八〇、縁、糸、紙二〇、工賃五〇、利益一、三〇―一、四〇）

前項の如く一枚の新疊に付いて一圓三、四十錢の利益です。

◇表替、裏返でも其割合です、之を弟子にさせれば職工々賃不必要に付營業者にとつては莫大なる暴利でした、夫れに今度の吾々の二割賃銀要求は一枚の工賃五十錢の二割（十錢）の値上げで營業者の利益一圓三、四十錢の內より僅に十錢を吾々に配分してもらふだけです、つまり顧客に對してはいさゝかも迷惑は掛けない理です。

◇これが眞相です、それでもなほ且つ吾々職工組合が不當であらうか、どうか市民諸氏の御賢察を乞ふ次第である。

渡邊氏へ
職工　長春生

◇渡邊氏の工賃値上反對は何等理由なき反對です、比較的安い物價を望むることは人間一般の通有性で、これ等は何等反對の理由にはなりません。

◇商人が自己の利益のために萬全の努力を拂ふことは當然でありますが、是が法外の利益獲得を目的とする時、其處に暴利或は詐欺行爲が生ずるのであります、疊商の不完全な弟子を一人前の職工と伍して使用することは其の類に屬するものと考へます。

◇疊商が弟子を養成することは從來傳統的に行はれて居りますが疊職其物に何等修練も經驗もない疊商（所謂素人疊商）が師匠たる絕對に必要とし相當の期間を熟練を要する見習職工を取る事が抑の矛盾ではないでせうか。

◇それも自責の念ある疊商ならまだしもですが、金を儲ける爲に……

蘇る農村の春
待望久しき春耕資金六萬元
營口縣下に普く融通

【營口】營口縣下の農民は昨秋の收穫時に匪賊の被害又は米穀の値下り等の影響を受け全農疲弊困憊の極に陥り目前に春耕差迫りつゝある今日、これが資金に缺乏し何等方法なきを知りたる營口縣公署は省政府に低利農耕資金の融通方を申請せし所去る日省政府より認可の通知あり、資金は中央銀行經由六萬圓と限定せられこれを春耕借款委員會の名を以て借入れ又貸付も同會の名に依りて爲さるゝ事となり、利率其他貸出し方法等具體的立案の上各農家に貸出すことゝなつた

小學校だけで實際社會へ
奉天の新しい傾向

【奉天】上級學校へ、就職へ……奉天春日尋常小學校及び家政女學校の本年度の卒業生の卒業後の希望について聞いて見ると高等科目三十二名中上級學校に入學のもの二十九名、家事手傳ひ十七名、尋常科卒業生は二百十三名でそのうち上級學校に入學するもの六十七名、女子は高等科卒業で上級校に入るもの三十四名、尋常科卒業生で上級校に入るもの五十八名となつてゐる、かくの如く最近滿洲における兒童の向學心は益々向上しつゝあるが、これと共に社會は實務から鍛えあげやうといふ高小卒のものゝ要求し市内各商店、會社、銀行等から續々申込んで來る有樣で大學、專門學校等の卒業生の就職難を他にこれは又向ふ知らずの景氣である、又家政女學校卒業生中就職を希望し一家を支助しやうとしてゐるものもあるが殆ど一家の主婦に代つて手傳ひをなさうといふものである

奉天商議が豫算審議

【奉天】商工都市大奉天の發展助長のため商工會議所では二十四日午後三時から昭和十年度豫算編成の審査議員會を開催するが經常部は五萬三千餘圓、特別會計は八千餘圓を計上し本年五月七日から三日間松江において開催される全日本商工會議所理事聯合會議に大いに奉天の商工都市としての現狀及將來を紹介すると共に約三十日間の豫定を以て各府縣十餘箇所を歴訪し、滿洲商工都市の心臓大奉天を宣傳し對滿貿易業者の誘致策の講演と宣傳のパンフレットを配付する計畫で、特別豫算中にこれを計上してゐるが、會議所の豫算は事變前に比べると約倍額に達してゐる、これは大奉天がいかに商工業方面に加速度的の伸展をなし其の將來性をもつてゐるかをバロメートするものである

清津商議所議員當選

【清津】清津商工會議所議員選擧は二十一日同會議所に於て行はれ開票の結果左記十六氏が當選した

氏名	得票
根石儀一	七〇
國行健輔	三八
四元嘉平次	三六
植松清	三四
安承泰	三三
辛良極	三三
水島計一郎	三二
高木捨吉	二九
中村雄之助	二九
飯澤清	二八
安田綏治	二四
小宮山精一	二三
金昌國	一六
松岡茂藏	一四
佐藤清八	一三
瀬戸茂一郎	九

而して會頭、副會頭の選擧は近く行はれる筈であるが殆ど選擧を用ひず全會一致を以て會頭に四元嘉平次氏、副會頭に國行健輔氏辛良極の三氏が推薦される事に内定して居る

轢き殺して逃走
晝休みに無免許で運轉
二滿人遂に捕はる

【奉天】二十四日午後一時半頃市内奥町四五番地塵芥捨場所の道路上に一滿人が自動車に轢かれ血みどろとなつて即死し自動車は行方不明であるとの屆出により奉天署司法係では先年加茂町における醫大專門部學生を轢き逃げた自動車があり最近自動車事故が頻々としてあるので俄然緊張し三浦司法主任、松尾警部補等が現場に急行檢證をなすと共に轢き逃げ自動車の大搜査に着手したが轢き逃げた自動車は被害者の頭部を轢きそのタイヤの跡が首筋についてゐるのを唯一の證據に搜査の結果その自動車を森町南滿作業所附近に於て發見した、しかるに犯人は既に姿をくらましてゐたゝめ更に八方に手配し嚴探中同所苦力宿舎に潜伏してゐる二滿人を逮捕した、彼は河北省生れ富士町消防隊衛生係無免許運轉手孫瑞吉（二三）及び山東省生れ同衛生係郎目山（二七）と稱し同日午前十一時半頃彼等は晝間の休みを利用して塵芥運搬のトラックを運轉中無陽旅館に赴き歸途前記滿人を轢き殺し何喰はぬ顔をして衛生係作業所附近に潜伏してゐたもので目下嚴重取調中であるが被害者は鄰里の父親から來た手紙により城内大西關客馬車夫葛貴仁（二七）と判明した

泥棒の被害頻々

【奉天】これはまた珍しいオートバイ泥棒……奉天西塔花木洞居住鮮人鄭熙範（二一）は金熙成（二七）と共に二十四日午後七時頃市内浪速通八番地鶴原印刷所前にあつたオートバイを窃取し逃走せんとしたのを同所の店員宇賀勝（二一）が發見し直に追跡し一丁東方に走つた處で取押へんとするや彼等はネヂ廻しを所持して盛んに抵抗を試みたので浪速通派出所から應援を求めて漸く兩名とも逮捕し本署につき出し目下餘罪取調中である

【奉天】廿五日午前三時半頃和橋警晴前を洋車に石油六罐を積載し通行中の怪滿人を同警晴係官が發見し取調べの結果此奴は大西邊門外仁海店居住無職王振山（三〇）と稱し宮島町の滿鐵倉庫から前記石油を窃取しこれを興隆街居住洋車夫の洋車に載せ逃走中と判明した目下餘罪ある見込みで嚴重取調中である

【奉天】城内小西邊門外共立市場金物商尹光恵（[illegible]）方店員于成林（[illegible]）は去る二月末チチハルより來奉し前記尹方店員として雇用されてゐたが二十三日夜主人の不在中を奇貨として金庫にあつた現金百二十圓を窃取し逃走したので犯人嚴探中二十四日午後十一時二十分田舎に逃走すべく奉天驛に現はれた處を奉天署の警官に取押へられ目下取調中である

亂暴な將校

【奉天】亂暴極まる滿洲國將校—二十五日午前一時十分頃市内[illegible]町三十六番地居住滿洲國陸軍步兵中尉佐藤春雄（[illegible]）＝假名＝は春日町五番地カフエー千日で飲酒泥醉し歸宅すべく大タクの自動車を呼び自宅まで歸つたが下車して料金符合貨九十錢、附屬地内五十錢合計一圓四十錢を要求されるや佐藤はこれに不滿を抱き口論を始め遂には無謀にも運轉手磯崎弘吉（[illegible]）君を毆打する始末に手におへず紅梅町派出所に屆出た、之がため同派出所から係官が現場に赴きその料金は當然支拂ふべきものと鐵拳して支拂ふやうに云ひふくめると佐藤は却て喰つてかゝり罵詈雑言を吐き散らすのみか果は所持してゐた拳銃をつきつけて脅迫する態度に出た奉天署では愼重な態度をとり關係者を召喚嚴重取調中である

匪賊出沒し討伐出動
營口農村附近

【營口】二十三日午前八時頃營口農村警官派出所に農村西北方二里小鎭子附近に匪賊（頭目不明）三四十名現るとの確報に接した農村派出所は直にこの旨本署に急報すると同時に騎步兩隊を編成し討伐に出動した　一方急報を受けた倉迫警部補は一隊を引連れ流水頻りなる遼河の危險を冒して河北に渉り河北駐屯守備隊並に警察の一隊等々合して臨時列車を仕立て小鎭子に下車直ちに匪賊出沒の地點へ急擊せしが新立屯に逃亡の賊影を認め追跡又追撃せしが逃足の早い彼等は四散して遂に跡影をくらまして逃走した途中馬六頭馬車二臺賊の遺棄せしを曳いて農村に歸還したが遺棄の馬、馬車は掠奪せしものなる事判明したれば夫々所有者に引渡した

函館大火、出身將兵に衝撃

【錦州】函館の大火は遼西並びに熱河全省の警備についてゐる杉原第〇〇團に多大の衝動を與へてゐるがその中でも承德駐屯の高木部隊は特に同地出身者が多いだけに餘計に各方面の同情を蒐めてゐる錦州駐屯部隊中には桑原部隊の中に同地出身者十名あり、伊田第〇〇〇團長は同地市長、在鄕軍人分會長、要塞司令官、聯隊區司令官に對し早速見舞の電報を打電した

旅順放送

▲稻安政氏長男政雄君は今回大橋將賀氏夫妻の媒妁に依り宮原武馬氏長女みす子孃と婚約成り來る三十日三笠町天理教會に於て式典を擧げる事となつたが當夜午後六時半から千歳俱樂部に於て二男政記君の結婚式をかれ共にこれが披露宴を催すことゝなつた

▲關東州酒造組合では二十四日褒賞授與式終了後濱に於て來賓一同を主賓に組合員一同出席祝賀宴を催し盛會を極めた

▲青木警察署長は廿五日午後六時から各關係者及び在旅新聞記者一同を瓢亭に招じ盛宴を張つた

▲旅順滿鐵社友會では二十七日午後六時から食堂キムラに於て第四回總會をかれ春季懇親會を開催する

▲二十四日目出度卒業式を了つた第一小學校生徒一同は廿五日午前十時白玉山に赴き業を卒へた奉告をかれ感謝の參拜をなした

▲末廣町六ノ二六　下塚馬五郎氏方では九日四女千枝子孃が出生

▲江戸町五ノ三　富山民藏氏方では十八日四女誠子さんが出生

▲大島町一　佐野榮氏方では十四日長女靖子さんが同上

▲松村町二二　阪本利一氏方では十七日次女利津子さんが同上

▲旅順刑務所勤務清水長貫氏實母うた氏は二十三日大連にて長逝したが二十八日旅順自宅で葬儀執行の筈享年五十七

旅順の噂

二十四日擧行された、第十七回清酒品評會に於て優等一等、二等入賞者中旅順は僅かに「金正」廣垣君が二等賞に入選し旅順の名聲を保つた▲昨年は旅順が斷然優勢で大に氣を吐いたものだが本年の成績を見て旅順の地酒が低下したと卽斷する事は大間違ひ夫れ丈け他の釀造法が優秀となつたもので優るとも劣らぬ立派なものである▲關東州に於ける釀造事業は今日では内地の酒と匹敵し寸毫も遜色が無い、然るに舊來の先入性、慣習、親し味の關係上賣買が悪くてもレッテルで人氣のある事は古い歴史があるからである▲氣分で味覺の良否が判斷される酒の如きは釀造業者大に考量したゆまぬ努力を以て將來への榮光を獲得して貰ひ度い▲と同時に關東廳方面でも佛を作つて魂入れずとならず關稅問題の如きは大に助成して釀造業者をして今一層の奮起向上を促して貰ひ度い

螢雪の功
同文商業學校の卒業式

【吉林】吉林同文商業學校の本年卒業式は二十四日午前十一時より同校講堂で盛大に擧行せられた、學びの庭を去る廿四名の卒業生は愈々日滿實業界へ咲き返る事となり懐しの母校を去つて實社會人の一人として雄飛の途に就く事となつた、本年は二十四名の卒業生中數名は日本留學をなす模樣で、既に就職口まで決定して學びの門を立つ青年の前途大いに幸あれと世人の期待神に輝いて居る

瓦房店小學校

永い間學びの道にいそしみし尋卒四十三名高卒十一名、實科九名、本科一名計六十四名は大恩ある先生に敎導にきらばの別れをつげ校に、就職に別れ〳〵となつて巣立する瓦房店小學校第廿七回卒業式は廿五日午前十時より擧行された拭き清められた講堂に輝く學校旗、活花を飾る定刻兒童、父兄來賓着席、一同敬禮、唱歌君が代三唱、寫本校長恭しく勅語奉讀、次に各級代表者尋卒泉附雄高卒中浩鴨、實科加川光子、本科馬場昌子に證書を授與、秋野訓導八年度學年の概要を鮮かに説明後告辭本校長今後は溫かい父母の膝下で教養されたがこれからはタッタ一人であると朋友の選擇規律正しく復習を忘れぬ樣と一人旅の我子に注意する如く前途に幸あれと最後の訓告、次に關東地方事務所長賀茂剛健の慈集を奉ひ先生の恩を忘れてならぬと告辭、佐藤院長來賓を代表して金剛石も磨かずば玉の光りはない人生の行き路を説いて國家に必要な人材となられよと熱情籠めて祝辭を述べて續けとなし、在校生徒代表宮武二郎君の送辭、中浩鴨君の答辭朗讀先生の御恩深甚なる御教訓は將來も忘れない、母校の御恩惠も忘れないと赤誠溢るゝ惜別の辭に對し壇上にある校長感激の餘り涙をホロ〳〵と流す、一同貰ひ泣きハンカチで涙を拭く丸目事務長父兄總代として師の御恩を謝し仰げば尊し後の光唱歌も高らかに一同敬禮盛大なる卒業式午前十一時終了、因に學業優等品行方正身體健康表彰者左の如し　高等科中浩鴨、尋常六年卒業伊藤節子、尋常六年卒業櫻井光江

公主嶺

公主嶺小學校の卒業式は二十四日午前十時半同校の講堂に於て擧行、來賓として〇〇隊原田大尉、仲村警察署長、水口郵便局長、各關所長數十氏にして佐藤校長より卒業證書を授與し校長の訓辭に次ぎ前田地方事務所長と原田大尉の祝辭及訓辭、在校生總代の送辭、卒業生總代の答辭を終り卒業式の唱歌合唱、正午式を了した、今回の卒業生は尋常科五十二名、高等科十三名にして家政女學校生は五名であつた

鷄冠山小學校

二十五日午前十時より卒業式を擧行、安東地方事務所長外父兄多數列席し式に移るや近藤校長の勅語奉讀、訓辭、卒業證書及び賞狀授與次いで來賓父兄の祝辭、高等一年武藤啓一君の在校生の送辭、高等二年李眞玉君の謝辭あり「仰げば尊し」の歌と共に悲喜こもごも至るの感慨の内に午前十一時半閉式した、因に上級學校に進む者尋常科四名、高等科一名、他は受驗準備中　卒業生數　尋常科十八名、高等科六名

錦州日本小學校

錦州日本小學校では二十四日午前十時より第二回卒業式を擧行した、伊田第〇〇〇團長、後藤副領事始め多數の來賓出席あり山田校長の挨拶に次いで「君ケ代」を合唱、卒業證書を授與後山田校長、伊田第〇〇團長、高島副領事の訓話あつて閉式したが本年度の卒業生は十五名であると

女の部屋（124）

林芙美子作　一木弾畫

萠芽（八）

—此方に御厄介になつてゐる中田君が、その、僕のあれでしてね、……

—さうですか、いや、それは……土方君、暫くでした、お變りありませんか？

—ありがたう。貴方は？

—いや、益々元氣です。元氣すぎて困つてゐる位ですよ。今度僕は貴方のお宅の近くに越しましたから、是非遊びに來て下さいませんか？

—さうですか、何方へ？

—山上の一八です。踏切りを渡つて右に上つて行くのです。

—さうですか。

土方は急に興冷めたやうに默りこんだ。

秋山は教授の方に

—何時もお話しする機會もなくて……

と愛想よく笑つた。

—いや、若い人の處には老人は成可く口を出さんやうにしてますよ。

—まあ、大目に見て下さい。

—ハツハヽヽヽ。

—ハツハヽヽヽ。

教授と秋山とは聲を揃へて笑つた。

中田はじつと土方の表情を見てゐたが、嫌で苦々しさうに外方を向いた。彼は此處に引き取られて約十日になる今日迄、秋山が蟲唾が走る程嫌ひで、ろくに口を利いた事もなかつたが、今日の樣子を見てゐる中に、もし足が自由だつたら飛びかゝつてでも行き度い程むかついて來てゐた。

土方は、教授と秋山の方から、青天の霹靂のやうな新事實を聞きとつて、その思ひがけなさに蒼くなつてゐた。

（教授が引越したと云つてゐたのは、では智子の家に引きこしたのか？）

彼は、す—つと前に智子がまだアリアンスに來てゐた頃、家が廣すぎるから誰か適當な人があれば置て貰ひ度いと思つてゐると云つてゐたのを覺えてゐた。

廊下に突然甲高い聲が聞えた。

—いらしてるの？

それに靜かな聲が答へた。

—えゝ、いらしてますわ。

足音がバタバタと追ふやうに響いた。

—何方？

—鈴さん應接室にいらつしやいます。

足音が勢ひこんで馳け寄つた。そして、また裝ひもさかぬ洋子が、頬を眞赤にして飛びこんで來た。だが、中田と土方だけだと思つてゐたのが、秋山は鬼も角、眞淵教授迄ゐたので、案に相違した落膽顔で其處に立ち止つた。

—いらつしやい。

と誰にともなく氣のぬけたやうな挨拶をして、小脇にかゝへてゐた樂譜をマントルピースの上に置いた。

續いて茶を捧げた綾子が入つて來た。

—お嬢樣もお茶召し上りますか？

—姿いゝわ、是からすぐ文學校に行かなきあならないから。

そして土方の方をチラと見た。

—御一緒に參りませう。

—まだ三十分位よろしいわ。姿、失禮して着換へして來ますわ。

洋子は又小鳥のやうに出て行つた。

秋山は「ふん」といふやうに肩を聳やかすと、くるりと踵で廻つて、室内をぐる〳〵歩き始めた。

（此の娘にしては、珍しく今度は長續きのする事だ、）

彼は伊達者らしい苦々しさを土方に對して感じてゐた。世界中の男は女の皆がしはじめる途端に何時でも伊達者の敵になり得るのであつた。

醒めよ非常時！先づ讀書!!
驚異的・良書の定價七割引・內外大奉仕
新本大特價提供
謹告
名著珍籍古本大特賣
古本に限り送料本社負擔
左記各册一円廿錢均一
左記各册八十錢均一
左記各册五十錢均一
東京銀座西二の五
大洋社
振替東京三〇六八七番
大評判！立派な特選大附錄一册十錢均一!!
各種別册大附錄
大好評！現代一流の大雜誌一册十錢均一!!
現代一流大雜誌

防疫陣を脅かす 恐しい病魔跳梁

まだ熄まぬ腦脊髓、天然痘

近く春季種痘開始

傳染病のうちコレラに亞いで恐れられてゐる流行性腦脊髓膜炎が昨今大連市内に續出し防疫陣をおびやかしてゐる、目下疾病院に收容中の患者は

市内大和町二六清田實（五〇）▲但馬町三四店員田中良治（一八）▲信濃町一五三店員小西義孝（二三）▲櫻花臺三八滿鐵社員家族福島てる子（一一）

の四名であるが、傳播力猛烈を極めてゐる、大連署衞生係では極力防疫に努めてゐる、同病は未だ病原體が發見されず從つて豫防方法もなく、罹病すれば死亡か腦脊髓を侵され

て廢人となる最も恐ろしい病氣である、なほ天然痘は依然さして病勢衰へず本月二十日以來日本人新患者十四名、滿人十名の多數を出してゐる、防疫當局では底知れず蔓延してゆく天然痘の魔手にはほとほと手を燒いた形である、近く春季種痘を開始する豫定で準備を進めてゐる、本月二十日から二十六日迄の日本人新患者は左の如し

市内西通一〇〇紙商小幡輝雄（三七）▲秀月臺一七無職川原喜藏（三〇）▲若狹町三石渡二和子（三〇）▲西通九六北村ノブ（三二）▲伊勢町八六金物商濱本福次郎（三七）▲近江町三五寶石商木原虎之輔（三四）▲壹岐町一巡査日置政一（三二）▲伊勢町九森田久夫（二五）▲西通九四三浦甚藏（五〇）▲逢坂町五〇鶴田辨次郎（三八）▲西公園町三五菊地清雄（一八）▲西通八六森下己之助（四六）▲松林町三土木業岡野藤助（三〇）▲久方町七西牟安彥（三九）

なほ今夏は傳染病流行率が相當高められるものと見られ、シーズンを控へて各衞生機關の聯合防疫協議會開催の議が起つてゐる

獨身・妻帶に分れ 實滿混合野球

春風に乘る球音賑か

滿洲球界のシーズン開き戰として……はたまた實滿兩軍の新人紹介戰として球狂待望の本社主催の大連實業團、滿洲俱樂部の混合紅白戰は、恒例の如く愈々來る四月三日午後二時半より滿俱球場に於いて安藤弘、田村道二兩氏審判の下に擧行するが、二十六日午後四時半より本社樓上に於いて前田、安藤實業團監督、福山滿俱マネーヂャー、高橋本社事業部長等集合の上協議の結果本年度は左記の如く獨身者對妻帶者の紅白試合を行ふことに決定した（氏名頭上に〇印ある選手は本シーズンより實滿兩軍に新加入した新人である）

妻帶者チーム（紅組）

▲投手（主將）濱崎眞二（滿俱）岩瀨五郎（實業）山口茂次（滿俱）
▲捕手　片岡秀雄（滿俱）
▲一壘手　松木謙二郎（實業）山下實（滿俱）
▲二壘手　永澤武夫（滿俱）立石榮（實業）
▲三壘手　安藤勝（實業）〇鈴木銀之助（實業）明大出
▲遊撃手　野原五郎（實業）
▲外野手　中川武行（實業）高須兼二（滿俱）櫻井修（滿俱）

獨身者チーム（白組）

▲投手（主將）吉田要（實業）荒木八郎（滿俱）小松義夫（滿俱）因藤正喜（實業）〇中澤正久（滿俱）關西學院出
▲捕手　志摩健二（滿俱）〇山田義次（滿俱）朝鮮光州中學出〇宇佐美一夫（滿俱）橫濱高商出武井正清（實業）鮫島敏明（滿俱）
▲一壘手　毘舍利正男（實業）渡邊實（實業）小池榮一（滿俱）
▲二壘手　玉井良一（實業）上本繁（實業）
▲三壘手　〇本田正二郎（滿俱）名古屋高商出、濱崎忠治（滿俱）
▲遊撃手　〇井上訓平（實業）中央大學出、杉谷彥三郎（滿俱）〇汐崎勇（滿俱）橫濱高商出
▲外野手　橋爪良一（滿俱）藤澤忠男（實業）〇丸山茂夫（滿俱）松山中學出、松尾五郎（實業）柴原勇（滿俱）〇岩崎琢磨（實業）中央大學出、〇市川東（滿俱）橫濱商專五味川大五郎（實業）梅本正次（滿俱）

蒙人を啓發　興安總署次長　依田氏談

滿洲各地を巡閱中であつた興安總署次長依田四郎氏は兩三日前新任挨拶のため來連、目下遼東ホテルに投宿中であるが二十六日午後往訪の記者に語る

昨年十二月十八日就任した蒙古は地域的には興安四分省黑龍江省の三旗、吉林省の一旗、熱河省の十四旗であるが目下それを對象とした政治的機構に移りつゝある今迄蒙古が興味本意で紹介され、世上に誤り傳へられてゐるので自分としては土地の內容民族の實力を正しく世間に認識してもらひたいと思つてゐる、蒙人は未だ幼稚で文化の程度も低いが政治的に重要な地位を持ち、知識階級は自覺してゐる、日本人は少なくともその氣持で接してほしい、今迄蒙人を指導する何ものもなくむしろ反對に衰微を待つ傾向があり、伸びんとしてゐたものがおさへられてゐた形だつたが今後指導如何によつては、幹も葉も花も一緒に出るのではなからうかと思つてゐる【寫眞は依田氏】

慰問と見學旅行

彌生高女生　北支へ昨夜出發

皇軍慰問並に北滿支見學の彌生高女生三十八名は山口氏外三名の教諭に引率され二十六日午後九時發列車で出發したが、約十日間の豫定で一行は奉山線一帶の皇軍を慰問後山海關守備隊兵舍に一泊、ダンス其他の餘興慰問品の寄贈をなし北票、北平、天津を見學し來月四日海路歸連する筈である

圖書帶出の發行制限　大連圖書館で

滿鐵大連圖書館では從來滿鐵社員及び市民一般に對して約一千五百冊餘の圖書帶出券及び特別帶出券を發行して居た爲め、館外に帶出されて居る書籍は二千六百冊に及び、二十日間の返濟期限に返濟せざるものがその中約三分の一で一般館內閱覽者に多大の迷惑を感ぜしめるところがあつた、此の弊を除く爲め其の善後策を考究中の處帶出券の書き替へ期三月末を期して斷然發行制限を行ふことになり帶出券取扱內規が左の如く決定せられた

▲圖書帶出券は所屬長の請求により發行す
▲帶出圖書を期間內に返納し難き場合は手續を更改する事を要す
▲調査研究上特に必要なる場合は一ケ年以內の長期帶出を爲す事を得
▲圖書帶出の督促は必要により所屬長宛に爲すことあるべし
▲圖書帶出券の有效期間は毎年三月三十一日限りとす
▲圖書帶出券所持者にして一ケ年間を經過したる者に對しては必要により入庫許可をなすことあるべし
▲圖書帶出券所持者轉動の場合は新任箇所において手續を更改することを要す
▲圖書帶出券紛失の場合は屆出の日より一ケ月以上を經過するに非ざれば再發行せず
▲本內規は社外各機關にも適用す

「滿蒙」編輯者　滿洲文化協會發行雜誌「滿蒙」の編輯擔任者は從來中溝新一氏であつたが同氏は今回辭したので同協會書記長佐藤四郎氏が新に擔任する事となり兩氏は二十六日市內關係方面を歷訪挨拶する處あつた

ジヤパン・ナイチンゲール　その名も床しき　胸痛む大火に 出演を快諾

隱れた　たかね孃の逸話

日本が有するオペラ歌手の第一人者、アメリカ樂壇の最高歌手、南部たかね女史と滿洲が生んだテナー平間文壽氏の「オペラと民謠の夕」はいよいよ明日に迫り、音樂愛好家連はたかね女史の噂話で持ちきつてゐるが彼女の過去を知る人々より端なくもたかね女史のかくれたる美しき物語が傳へられいやが上にも人氣を煽つてゐる

×……×

その物語りとは……帝國音樂學校聲樂部卒業後、アメリカを訪れたたかね女史は、常に新しき境地を求めて眞摯な研究を續けた結果、異常な飛躍と發展をなして一九二九年には遂にアメリカ中央樂壇にもてはやされる程となり

三十年の五月よりアメリカ、カナダ各地に獨唱會を開くこと五十七回、ラヂオ放送十七回、常に熱狂的な拍手に充たされてゐたのであるが、たかね女史はこの赫々たる名聲に誇らず、獨唱會の寸暇を惜んではひそかに各地の學校、病院、癈兵院、刑務所を訪れ、いためる者、貧しき人々のために心から優しき歌を唱つて慰め、それ等の人々から日本のナイチンゲールと呼ばれて慕はれてゐた

×……×

この美しい彼女の行ひは何時しかアメリカ樂壇に知れ渡り、今では日本のナイチンゲールの名は、アメリカ樂壇に於ける彼女に對した感謝の愛稱と變つてしまつたのである、今回來滿した彼女は滿洲巡演中のたかね女史は函館の大火を知るや罹災同胞のためにじつとしてをられず、いためる人々を慰めるため、滿鐵音樂會、大連音樂協會並びに本社共催の下に平間氏を迎へて義捐音樂會を開催すべく、なほ……した處女史は……

少年は萬々歲

小賣商店界の殷盛が反映し　求人の振當てが心配

滿洲景氣の餘波とはいひながら大連職業紹介所を通じて反映する大連の景氣は、これは又不思議にも大人の失業世界から一躍陰氣くさい世相をふきとばし幾人あつても足りないといふ、特に子供の天下を示してゐる、滿洲景氣の波は大連の小賣商店界の景氣を漸次良好ならしめた、事變前の青息吐息だつた諸商店も九年の春を迎へて大々的飛躍にそなへやうとふところ、使ひ易い給料の安い小僧さん連は幾らあつても足らず、早苗小學校の如きは如何に卒業生を振當てやうかと苦心する程の豪勢である、職業紹介所を通じてくる求人も大半は十五、六歲から二十二三歲迄の所、滿洲熱にうかされてくる內地の失業者には一向に溫かくない大連の景氣だ、子供よ、何處に居る！、働かうとする少年少女の缺乏を訴へる迄り滿洲はまづ子供よりの感を深くする、因みに……

一月求人申込　百一名
求職　八十六名
……

支那を說得する

山本博士　豫想を語る

【マニラ二十五日發國通】滿洲國選手の極東大會參加問題につき支那側說得のため上海に赴く山本忠興博士は愈々來る二十八日マニラを出發一路上海に直航することになつた、上海に赴くことになつた日取りは未定である、支那側の折衝は右比島代表の上海到着を待つて直ちに開始する段取りとなつた、出發を前に山本博士は滿洲國參加實現に充分成算ある面持で……

市內訓導異動

滿洲內各中、小學校の轉任シーズンに直面して關東廳の緩令發表は注目の的となつてゐるが、當社の探聞する所によれば大連市內各小學校の轉出入者は次の如く決定した模樣である

▲南山麓小學校高野文太郎訓導大連下藤校へ……

眞宗婦人會の活動

大連東本願寺眞宗婦人會では函館市大火の義捐金募集のため市內十ケ所の人出の盛んな街頭に立ち道行く人に呼びかけてゐる、廿六日の大連の玄關埠頭待合所は午前中三便の出船、入船で早朝より人で埋まつたが、うすら寒い港の風を背に受けながら待合所入口に立つた同婦人會の人々娘い子供も加つて人の情の集まるうれしい風景を一寸スナツプ（寫眞は街頭の募集）

ダイヤ改正

鮮鐵と合同會議開く

滿鐵々道部が本年十月一日から行ふ滿鐵線全旅客列車の時刻改正は鐵路總局線とは勿論朝鮮鐵道との連絡關係も極めて複雜となるため昨年十月に入ると共に鐵道部案の作成に着手し最近漸く鐵道部案の完成を見た、鮮鐵局側も局案の作成を終つて二十五日滿鐵に對しこれの諒解を求めて來た

而して局案のダイヤによれば主要改正點は現在の特急「ひかり」をスピードアップして更に滿鐵の協力をも要望、同線經由東京新京間の所要時間を現在より下り九時間上り八時間三十分の短縮をなすことゝ、現在の釜山、新義州間の急行を新京まで延長するの二點にあるが、これの實施は滿鐵本線との連絡および安東驛の發着等について多少の困難を伴ふため滿鐵では更に朝鮮側とも打合せの要があり

この際關係各鐵道と一堂に會して根本方針決定の要があるので結局朝鮮の申出もあり四月上旬京城において滿鐵鐵道部、鐵路總局、朝鮮鐵道局、鐵道省の各代表參集の上滿洲關係各連絡列車の新ダイヤ決定の合同會議を開く方針の下に鐵道部旅客係で準備を急いでゐる、なほ滿鐵が定例のダイヤ改正に關し內地および朝鮮側との合同會議を開くのは今回が最初である

函館大火義捐金

函館大火の罹災民の救助については、各方面より續々として同情金があつまり、母國日本の同胞をおもふ情は誠に切なるものあり、本社は各方面と共同主催の下に救恤金を募集に着手したるは社告の通りであるが、二十六日も大連百貨店の協友會より金二十圓也、中央國旗店より金十九圓也を本社に寄託したので、本社はこれを直に市役所總務課に送付した、なほ今回の函館大火救恤金の取扱は整理上「大連市役所總務課」に於て受附することに決定してゐるので、今後は右取扱所に直接持參されたい

『講演と映畫の夕』

本二十七日午後六時半より（午後二時は子供のために映畫を公開）協和會館に於て、在鄕軍人大連海友會主催、在鄕軍人聯合分會、大每大連支局、本社後援の下に講演と映畫の夕が開催されるが、當夜の講演の旅順要港部附東鄕海軍中佐の演題については、特に本日は、軍人の龜鑑として我が光輝ある海軍史を飾りたる廣瀨中佐の悲壯なる最後を遂げたる記念日の三十周年にあたるを以て、從つて演題も「世界海戰史における港口閉塞戰の要諦」に決定したるわけであるが、更に當夜は、この壯擧の閉塞任務に參加し、生き殘りたる當時の三等機關兵松崎隆義氏（目下旅順に在住）も來連して、壯絕なりし當時の實況の回顧談をなすことになつたが、何れも映畫と共に好評を博するものと期待されてゐる

が、會場整理の都合もあるので來場者はなるべく早く入場されたい

交通事故

二十六日午前九時十五分頃市內土佐町取引所橫において大タク運動班運轉手范懷臣（二八）の自動車と土佐町二六森商會ボーイ周運成（一七）の自轉車が正面衝突し周は頭、腰部に打撲傷を負ひ吉野町小柳醫院で手當を加へたが全治十日間の見込み

自轉車々體檢查

沙河口署保安係では來る四月四日より向ふ二十八日までの間同署において自轉車々體檢查を行ふ事になつた

國崎四段來連　滿支各方面で十數年圍碁指導の任に當り令名のあつた四段國崎龍男氏は、昨夏來東京に在つて新聞碁その他に妙手を揮つてゐたところこのほど來連、濱町大連棋院に入つたが、數日休養の後同院において教授を行ふことゝて、好棋家の間に待望されてゐる

訂正　二十七日附夕刊の神田小川兩滿洲體協委員が午前七時四十分着とあるは午後四時三十分着の誤りに付き訂正す

最近滿鐵の旅客收入が豫想外の好成績をあげて一日十萬圓を突破するまでの記錄を出し三月初めに今年度は鐵道收入豫算の一億二千萬圓到達は困難と見られてゐたのがこの收入激增で樂にこれを破らうといふ狀態にまでなつた。

……◇……

この旅客收入增加はもとよりなほさず苦力輸送の激增に原因するもので鐵道部では「苦力大明神樣々だ」と有難がつてゐるが、從來會社最高幹部が一、二等旅客のサービスには躍起となるが三等客をなると問題にせず「滿鐵のお客さんで一番大切なのはお百姓と苦力だ」といふ同部の主張を容易に諒解さすことが出來ず、この「說部教育」にはホトホト困つてゐたのだ。

……◇……

そこで鐵道部では最高々「來年こそは苦力、イヤ三等のお客様のサービス改善に全力を盡すよ」と力んでゐる。

南蠻彩船 (83)

鈴木氏亨 作
布施長春 畫

春日野の奥（六）

楓は、南の方へ南の方へと夢中で歩いてゐた。

山を越え、野を越え、森を、林を、里を、つま折笠に匂やかな華顔を包んで、どこでどう仕度したのか、旅の仕度もかろがろしく、草鞋さへ穿いて、杖にすがつてゐた。

彼女は、南へ歩いて行けば、ひとりでに浪花の町に出られるものと信じてゐた。だから曉方からひたすらに路を急いでゐるのだつた。

「明日になれば、亞禮奈樣に會はして上げよう。それまでの辛抱ぢや」

と云ふ坤齋の慰めの言葉も、彼女の耳には、梢を吹く松風のやうに、徒らな氣休めの、空世辭としか響かなかつた。

――浪花の町にゐると分つたのだもの、これから、自分ひとりで探し出さう――

思ひつめたが最後、彼女は二人が寢しづまつてゐる眞夜中を、むつくり起き出して、旅の支度をしたのであつた。そして、深夜の道を意にも留めず、浪花の町へ春日野の奥を出たのであつた。

だが、最初は足も無かつたが、二里と過ぎ三里と經つうちに、足は火のやうに熱つて來た。そして杖に縋らずには、一歩も進めなくなつてゐた。

それでも、はじめは、

（あゝ、來てよかつた。こんなにいゝ氣持で歩けるなら、あんな春日野の奥などに蟄居てゐないで、一日も早く大阪の町へ出て行けばよかつた。これまでは餘りに氣な日がつゞいた。昨夕決心して飛び出したことは、惡いことではなかつた）

とも思つたのである。

しかし、道が田甫を過ぎ、丘陵を過ぎ、堂塔伽藍の立ち並んでゐる里を過ぎて、險しい峠路にかゝつた頃には、飢渇と疲勞れとで一歩も動けなくなつてゐた。

怖が、麻疹のやうに、小さい心をむしばんで來た。

（やつぱり、坤齋や五右衛門の云ふことをきいて、亞禮奈樣がお出でになるまで、待つて居ればよかつた。なんだつてひとりでやつて來たのだ。……今更帰れはしない。あゝ、どうしたものだらう、もう歩くたび足が針でさゝれる樣だ）

初冬の日は、明けるに遲く、暮るゝに早い。

如何に夜明前から春日野の奥を出たからと云つても、女の足では大和路ははかどりはしない。

楓は、樹の間の暗い陰影を認めて、暮れ近い日足を知つたが、今更、どうすることも出來なかつた。

彼女は、路傍の黄ばんだ枯葉の上に屈んで、細腰を下したまゝ、疲勞と飢餓で、ぐつたりした軀を休めてゐた。

（こんな時、誰れかゐてくれたら、浪路でも幾夜でも、側にゐてくれたら、どんなに心强いだらう――

あゝ、今宵はこゝで、狼の餌食になるのだらうか、想へば心細い。どうしてこんなとになつたらう）

涙が、止め度もなく楓の頰を傳うた。

峠路は、誰一人通るものもない。いま、彼女は、色濃い紫暗色の暗で、包まれて行くのだつた。

婦人公論（四月號）

四月號は「新結婚相談」號、表紙はいつもの堂本印象氏、大物としては先づ「尼僧懺悔」「愛と死より蘇りて」「老病詩人夜雨に仕へて十八年」（平田禿木）小島政二郎氏の春色「源氏物語」「結婚生理問答」（安田徳太郎博士）は前編（結婚前）後編（結婚後）これは「新結婚相談號」としての今月號の特輯として座談會「讀者の相談による新婚相談の會」（出席者鶴見祐輔、片山哲、安田徳太郎、山田わか、三輪田繁子、河崎ナツの諸氏）と共に光つてゐる、第一附錄「愛の學校」更に附錄「月々調べ報告書」、漫畫の頁は菊池寛、サトウハチロー、望月圭介、水谷八重子、草笛美子の諸氏の生活を面白く紹介してある、なほ「私の作つた夏の新簡單服」を懸賞募集してゐる

婦人倶樂部（四月號）

「愛妻家愛夫家の家庭圓滿秘訣座談會」「古ワイシャツ利用の小物裁ち九種の作り方」「百圓の元手で出來る簡易金儲法」「手輕で子供も喜ぶお辨當のおかず十五種」「肺病肋膜炎を自宅で根治した經驗談」「妊娠から分娩まで安產法百問答」「避姙法を誤つて一命を危くした實例」「一流美容師が實行してゐる効果確實な美容秘訣」「女を美しく見せる漢方法の研究會」

講談倶樂部（四月號）

「名臺詞、名場面芝居大畫報」「春の漫畫祭」「未婚競爭」「剣青二人侍」「元祿の津」「白菊金五郎」落語では文樂、芝樂、可樂など、牧逸馬、久米正雄、三上於菟吉、加藤武雄、吉屋信子、菊池寛などの連載物

滿洲日報
三月二十六日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

輝やく修聘特使けさ帝都に歷史的第一步

東京驛頭の熱狂的歡迎

【東京二十六日發國通】滿洲國建國以來帝政實施の今日まで我國が盡した善隣の熱意に對し深甚な謝意を表すべく溥儀皇帝の親書を捧持し去る二十一日新京を出發した訪日修聘使節滿洲國國務總理大臣鄭孝胥、財政部大臣熙洽の兩氏は隨員二十一名を隨へて二十六日春陽麗かな東京に歷史的の第一步を印した

この日晴れの國賓一行を迎へる東京驛頭は出迎への小學、女、中學校等の學生團、男女青年團が手に手に打振る日滿兩國の小國旗に埋もれ警官隊も驛員も整理に汗だくの態であつた、第三到着ホームは早朝來掃き淨められ緋の絨毯が敷かれ、その前には畏き邊りよりの御沙汰によつて出迎への湯淺宮相を始め廣田外相、林式部長官、香坂府知事、牛塚東京市長その他宮中席次第一階以上並びに勅任官一同等が禮服姿に身を正してずらり整列、特派の儀仗兵一ケ中隊、軍樂隊一隊も美々しく居並び列車の到着を待つ程もなく午前九時二十五分五輛連結の國賓列車到着、最後部の一等車から大禮服姿で溫顏に感激の微笑を浮べつゝ靜かに降り立つ鄭、熙兩特使、迎へるもの迎へられるもの双方が步一步步み寄り、黑田接伴員の紹介で歷史的な挨拶が交された、長身の鄭特使の心持前屈みな姿勢が特に親さを感じさせる、熙特使の丸い顏は喜びの笑に溢れてゐる、斯くて一同

兩特使は宮內省差廻しの二臺の儀裝馬車に隨員は同供奉車に夫々分乘して儀仗兵堵列中を凱旋道路から郵船ビルを左へ日比谷交叉點を過ぎて一路帝國ホテルに入つたが この日の帝國ホテルは正門玄關にウエルカムの花文字を散らした大提灯を下げきらびやかに飾り立て丈に餘る日の丸と五色旗の日滿兩國の大國旗が兩國間の固き契を象徵するかの如くしつかりと交叉されて春風にゆるくはためいて、輝く國賓一行を迎へた、一旦帝國ホテルに入つた鄭、熙兩特使以下一行二十三名は長途の旅疲れを休める暇もなく、各々服裝を正して黑田接伴員以下の誘導により再び宮內省差廻しの儀裝馬車に乘りわが天皇、皇后兩陛下に謹んで敬意を表し奉るべく午前十一時帝國ホテルを出で沿道の群衆の歡呼に答へつゝ宮城東車寄に到り着京の挨拶を兼ねて記帳の上退出、それより直に大宮御所、御直宮の秩父宮御殿、閑院元帥宮家に伺候して來朝の挨拶を記帳した後ホテルに歸り午餐を攝つたが午後二時半ホテル出門、齋藤首相以下各國務大臣、牧野內大臣、湯淺宮內大臣、林式部長官等を訪問して來朝の挨拶出迎への御禮等を述べた

ステートメント

兩特使記者團に發表

【東京二十六日發國通】晴れの帝都入りをした鄭、熙兩特使は午前十時三十分帝國ホテルにおいて記者團と會見左のステートメントを發表した

國賓待遇の恩命により本日恙なく貴國帝都に到着いたしますや貴國要路の方々並に東京市民各位の盛大なる御歡迎を受けました事は我々の最も光榮とするところであります、明日は愈々滿洲國特使として、天皇陛下に拜謁の上、國書を捧呈いたす榮譽の日に當り恐懼感激唯々この大任を完うするやう祈念いたしてゐる次第であります

小磯中將訪問

【東京二十六日發國通】折柄在京中の小磯中將は正裝で帝國ホテルを訪れ、宮城へ參內する直前の鄭、熙兩特使と挨拶を交し固いその握手は場所と時とに彩られて劇的シーンを展開した

入京御挨拶

【東京廿六日發國通】帝國ホテル[illegible]に少憩の鄭、熙兩特使は午前十一時威儀を整へ黑田接伴委員の誘導にて先づ宮城に參內し記帳をなし次いで大宮御所、秩父宮、閑院宮伏見宮各宮邸に伺候し入京の御挨拶を申上げて正午ホテルに歸つた

黑木中佐着任

【ハルビン二十五日發國通】駐哈海軍特務機關長兼江防艦隊顧問蒲少佐は今回軍令部附に任ぜられ、後任黑木中佐廿四日着任した なほ江防艦隊顧問には元防備隊附專任將校松木少佐が任命された

勳章御贈進

兩特使以下隨員に

【東京廿六日發國通】長き邊りでは鄭、熙兩特使が康德皇帝の親書を捧呈し、日滿親善の櫻となる使命を果したことを嘉せられ、特に鄭特使には勳一等旭日桐花大綬章を、又熙特使其他隨員にも夫々勳章御贈進あらせられるやに拜聞す

比島共和國政府

明年五月迄に誕生

【ワシントン廿四日發國通】比島獨立法案の署名を終へたル大統領は目下當地にある比島上院議長ケーゾン氏に對して、今日は米國と比島の關係に關して最も記念すべき日である、卽ち本日余の署名は比島共和國の素地の作り始めを意味するものであると語つた、なほ右法案草案者の一人たる米國上院議員ダイヂエグ氏とケーゾン氏はル大統領に對し比島政府は一八九八年ヂューイ提督がマニラ灣入りを行つた時の記念日たる本年五月一日をトして獨立法を受諾するであらうと語つてゐた、從つて明年五月一日迄には比島共和政府の生誕をみる譯だが、同政府は過渡的政府でその後十九年間比島の行政機關として存續される

多難なる今後の政局

倒閣運動は益々猛烈

政友會は分裂の危機

【東京特電二十六日發】議會を乘切つた齋藤內閣は豫定の如くこの際進退を考慮する必要なしとして近く專任文相を補充して陣容を整へるはずであるが、一方において政民兩黨の提携運動は議會後急速に展開するものと豫想され、これに伴ひ政友會の內訌再燃して遂に分裂の危機に至るべく又他の方面の倒閣運動も益々猛烈となるであらうから齋藤內閣は決して樂觀は許さない

面目など顧慮せず

首相は徐に居据り工作

【東京特電廿六日發】齋藤內閣は危ぶまれながらも議會を[illegible]、政府案の成績から見れば總豫算案を始め豫算關係案十三件總て原案成立し、法律案五十件の中四十一件原案可決、七件修正可決、流產に終つたものは、治安維持法と出版法案の二件のみである、治安維持法改正案が兩院協議會の協議未了で葬られたことは政府の面目問題ではあるが假に修正可決されても小山法相は立場に窮するものであるから不成立は却て政府を救つたことになる、もとより衆議院選擧法改正の骨拔きの如き政府の面目蹂躙はされてゐるがその點は既に政治的責任感を超越した內閣であるから二十五日の首相の言明通り平然として徐ろに議會後の政治工作に入るであらう

恒例慰勞會

【東京二十六日發國通】齋藤首相は二十六日帝國議會閉會式を終了した後恒例により當日正午近衞、秋田、松平、植原貴衆兩院正副議長を始め議員、長、田口兩院書記官長以下各書記官並びに政府委員一同を首相官邸に招待し慰勞の午餐會を開き各閣僚も主人側として出席し首相の挨拶に對し議長謝辭を述べ盛會裡に午後一時半散會した

議會閉會式

けさ貴族院において

【東京二十六日發國通】二十一億餘萬圓の尨大豫算と四十八件の政府提出法律案を通過せしめた第六十五議會通常議會の會期は二十五日を以て滿了したので、皇室儀制令の定めにより二十六日午前十一時貴族院に於て閉會式を執り行はれた、當日天皇陛下には親臨遊ばされず、齋藤首相以下各閣僚並びに近衞、秋田、松平、植原兩院正副議長を始め各議員は燕尾服又は禮裝に勳章、本綬を佩用して續々登院し、午前十時五十分振鈴により式場に入り整列する、かくて正十一時齋藤首相は恭しく玉座に向ひ最敬禮の後、橫溝內閣書記官長の捧げる勅語書を拜受し本大臣は勅命を奉じて閉會式の勅語を捧讀するの光榮を有しますと述べ、諸員最敬禮裡に優渥なる勅語を捧讀した、終つて近衞議長は勅語書を拜受し同五分滯りなく式を終り諸員退場した

勅語

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
朕本日ヲ以テ帝國議會ノ閉會ヲ命シ併セテ卿等勵精克ク協贊ノ任ヲ竭セルノ勞ヲ嘉奬ス

國防安定を期し得たは結構

◇…齋藤首相語る

【東京二十六日發國通】議會閉會に際し齋藤首相は語る

明年度の豫算は現下の國際情勢に鑑みて國防費を主とし、之に依つて我國防の安定を期することは何より喜ばしい、その實行に當つては厘毛の徵と雖も充分の注意を加へ最も效果的ならしむる事に留意せねばならぬ、政府提出案は大體において良好なる成績を示し、選擧法中改正法律案その他の重要案件の通過を見た、今や內外極めて多事國力伸張の秋である、九千萬國民は決して矯激なる言動に惑はされる事なく着實穩健協心戮力各々その職分を盡す事が最も肝要である

地方長官會議

【東京二十六日發國通】政府は明年度豫算を始め重要法案も大體議會の協贊を得たので、恒例による地方長官會議を招集し豫算案の實施並びに政府の政策遂行につき訓示並びに指示を行ふこととなつたが、招集期日は大體四月下旬か五月上旬になる筈でこれに次いで警察部長會議も招集される筈である

文相推薦に關し鈴木總裁と交涉

閣僚の入替を行はん

【東京二十六日發國通】波瀾重疊の第六十五議會は兩院共二十五日午後十一時四十分前後で漸く終了を告げた、斯くて政府は辛うじて二度目の通常議會を乘切つた譯であるが、議會中に捲き起された綱紀問題に關聯する派生的事件より中島商相、鳩山文相の兩閣僚を落伍せしめその姿は滿身創痍といふ狀態である、然も政友會を代表する鳩山文相の後任は議會中の故を以て齋藤首相の兼攝となつてゐるので議會終了と共に專任文相の後任補充に直面するのであるが、一方齋藤內閣としての重大使命たる人心安定、選擧法の改正、國防の充實等は大體今議會を以て達成し得たからこの際人心を新ならしめるための挂冠說等あるので、議會後の政局は最も注目される所であるが、政府としては今議會を通過したる豫算並に法律案などにして年度替り當初より實施するもの〻準備を整へ、然る後齋藤首相は興津に園公を訪問して議會の經過並に結果を報告し同時に今後の政局に對する政府の所信を披瀝して老公の諒解を求め愈々居据りの肚を決定せば歸京早々齋藤首相は鈴木政友會總裁を訪問して文相後任に關して推薦方を交涉するものと思はれるが、その際小範圍の閣僚の入れ替へを行ふものではないかと見られてゐる

蘇聯の對滿政策

穩健、急進兩派對立

【ハルビン二十五日發國通】蘇聯の對滿蒙政策の原動力とされてゐる北鐵管理局長ルディ一派と總領事スラウツキー一派は今や蘇聯の對滿蒙極東政策遂行上において急進穩健兩派にはつきり分裂し、內面的に政策問題を中心として抗爭を續けてゐることが暴露した、卽ち急進派ルディ局長一派は從來通り赤色主義の宣傳はもとより積極主義を以て進まざれば多年惡戰苦鬪して築き上げた蘇聯の滿蒙、極東に於ける地盤と足溜りは根柢より總崩れとなり蘇聯の全面的退却を招來し、斯くては太平洋政策遂行に空前の蹉跌を來し蘇聯の人心に多大の衝動を與へ延いては國論沸騰し波瀾を極める由々しき問題を惹起する惧れが多分にある[illegible]旨を強調するに反し、穩健派(スラウツキー總領事一派)は北鐵職員六名を歸國せしめた如きは太平洋政策遂行の大所高所からすれば九牛の一毛に過ぎず滿洲國との友交親善關係の增進は蘇聯にとつて刻下の急務であるのみならず、差當り北鐵の經濟狀態の改善を圖り滿蘇兩國職員の融和協調はやがて滿蒙極東における蘇聯の地盤を確保し小異を捨て〻大同に趨る所以である旨を力說して理論鬪爭を續けてゐるが近く表現される蘇聯の對極東政策の轉換は今や最大の興味と關心とを以て成行き靜觀されてゐる

十河理事一行

支那視察中の滿鐵十河理事經濟調查會、內海、伊藤の兩主查は目下上海に着いてゐるが十河理事は上海より直に東京に行き內海、伊藤兩主查は來月二日歸連の筈

人事

▲貴島貞三氏(奉天衞戍病院長)二十六日午前七時四十分着列車にて來連
▲上林正四郎氏(三等軍醫正)同
▲香村岱二氏(滿鐵地方部農務課長)同日午前九時發はとにて北行
▲若月太郎氏(大連市會副議長)同上
▲奧村喜和雄氏(新京大使館外務事務官)同上
▲佐藤應次郎氏(滿鐵建設局長)同上
▲富永能雄氏(昭和製鋼所重役)二十六日出帆うすりい丸にて內地へ
▲寺島由松氏(滿鐵顧問辯護士)同上
▲三宅福馬氏(前滿洲國々務院法制局長)同上離滿
▲伊藤賢三氏(前關東軍々醫部長)同上
▲山內靜夫氏(電々會社總裁)二十六日入港ばいかる丸にて歸任
▲武井大助氏(海軍艦政本部第二課長)同上來連
▲青柳宗重氏(海軍大佐)同上
▲バイアン男爵(ベルギー實業家)同上
▲村井啓太郎氏(滿洲銀行頭取)二十六日出帆うすりい丸で內地視察へ
▲佐藤建次氏(滿洲銀行支配人)同上歸省

蛇角

議會遂にゴール・イン。
◇
初めは脫兎の如く、中ほど老豚の如く、終りは蛇尾の如く。
◇
でも賞品として、成立法案四十八件也、は一寸意外。
◇
お蔭でヨイ〳〵內閣有頂天、腰を拔かして居据るげな。
◇
政黨は政黨で「ハア、わが黨の大成功々々」と。
◇
ゴマカシ音頭の手振り面白や。
◇
函館大火に白系露人の同情、赤い紹への面當に。
◇
薄れ行く村の灯見たり朝霞。

大岩市收入役語る

新任大連收入役大岩峰吉氏は二十六日初登廳し各方面を歷訪挨拶したが語る

今回小川市長や先輩友人の御推擧を受けて就任した以上、經理に必ずしも明るくないが忠實に職務を果して大過なきを期すつもりですからよろしく御願ひします、餘談ですが私も滿鐵の地方行政に携はり多少の經驗を有つてゐるが大連市としては爲すべき仕事多く、それには先づ財源を充實するのが先決問題ではないでせうか、だからといつてあまり戶別割の增徵をはかるのは考へものでせう

扶桑丸船客

【門司特電二十六日發】二十八日大連入港豫定扶桑丸の主なる船客諸氏

京大教授大井清一、同武居高四郎、辯護士片山義勝、三井物產社員梅澤一二、沖電機社員岩瀨鐵次郎、橫濱帆布社員宮代顯三、信商事社員猪原二佐久、大連製氷社員小島宇吉、會社員石次一、富田義行、深山達藏、去來川信郎、染谷清一、御塚政、小川健三、富田敬(各等滿員)

滿鐵監理官の使命(4)

―權限委任線には及ばず―

葉梨委員 然らば何の機關に依りまして朝鮮總督府は此委任線の監督、若くは監理といふやうなことの業務を爲して居るのでありませうか

吉田鐵道局長 直接監督の衝に當る官吏は鐵道局長と致して居ります、又監督の方法と致しましては、命令書並に契約書の條項に違背することなきや否や、さういふことでありますが現實に每日の日常の業務を一々干涉し又監督するといふことは致しませぬ、最も重要なるものは委託を受けた滿鐵が朝鮮の鐵道を、朝鮮統治の上に最も有効に、恰も朝鮮總督府が經營して居ると同じやうに經營をやつて行くといふことが契約の基礎觀念になつて居りまするから、其事について注意をすることを怠らないやうにする積りで居ります殊に其內容に入りまして最も重要なる問題は運賃問題であらうと思ふのであります、是は產業の開發の關係から行きまして北鮮方面に集散する所の貨物に對する運賃をどうするかといふことが同地方の統治の上に非常に重大なる關係を有ちますので、監督の一番の重點は運賃を如何にするか、其點につきましては從來朝鮮總督府がやつて居りました所の運賃政策を踏襲することを、なほ[illegible]い事を申しますれば大體において現狀を維持して行くといふことになつて居るのでありますが、其の他運轉上の不安其の他のことは勿論の話でありますが建設改良の問題につきましては是は總督府が自らやることになつて居りまして、事實の工事は委託致しまするけれども其の建設材料に要する費用の如きは總督府が皆支出することになつて居ります

葉梨委員 さう致しますると、是は鐵道局長が監督して居るといふのは漠然たる意味に、唯建設改良等の工事を、委託工事であるが財源其他の關係は總督府關係であると言ふが、それは鐵道局長の監督といふことで任が足るものでありますか、此最も重大なる問題は茲に雄基、羅津なる所の築港があるのであります是等の將來の開港に關する經營、港灣事務等の經營、其他重要な問題が此處には多々あらうと思ふが是は監理官を朝鮮總督府に置くか若くは滿鐵監理官が此處の監理まで兼ねるか孰れかにしなければならぬと思ふのであります、然るに滿鐵の定款に依りますれば監理官は所謂滿鐵の社線に於ての監理であります、此方面の所謂委託線に對しての監理は滿洲國の委託線の監理と同樣な意[味]に於きまして單に產業上の全般的狀況から見た場合に於てのみの監理に止まるやうに思ふのでありますが、是はどういふ方法か講じなければいかぬと思ふのでありますけれども、何か拓務當局は之に對して具體案を御有ちでありませうかどうでありませうか

北島政府委員 朝鮮に於きまする鐵道については勅令を以て朝鮮總督府が滿鐵の業務を監督するといふことになつて居ります、只今鐵道局長からも申されました通りに朝鮮總督の監督權の事實上の手足の機關として鐵道局長がその監督を事實にやつて居る譯であります、それでこの朝鮮內における委託經營鐵道の監督につきては大體鐵道局長を基幹とする朝鮮總督の監督で十分でないかと我々只今のところでは考へて居ります、然し將來この滿鐵の朝鮮內における委託經營の仕事が非常に複雜になつて參りまして、滿洲國の作業の方に重大な影響を持つやうな時勢になりますれば或は適當に又考慮をしなければならぬかとも考へて居りますけれども、目下の所では別に特に拓務省から更に此委託鐵道經營の爲に直接監督機關を設けるの必要は只今の所ではまだ考へて居りませぬ

葉梨委員 さう致しますと現在は拓務省の滿鐵監理官の權限は此北鮮鐵道には及ばないのでありますか、どうでありますか

北島政府委員 滿鐵の監理官は是はもう何處に居りまする監理官でも、所謂帳簿書類を檢査し又金庫を調べることも出來まするし、重役會議にも出席しまする、さういふ重役會議にしましても或は帳簿書類檢査にしましても北鮮の經營に關する事項も勿論その中に包含されて居りまするし、監理官としては必要がありますればさういふ方面の監督なり或は檢閱なりをする權限は勿論あるのでございます

葉梨委員 私は尙ほ質問致す事もありますが時間が四時半を過ぎましたから本日はこの程度に止めたいと思ふのでありますが、朝鮮總督府當局からこの滿鐵との委託經營の際における命令書及契約書、これ等を參考書として御提出願へれば結構と思ひます、本日はこれで私の質問を打切ることに致します

米國五大極東政策

滿洲國承認問題その他

【ニューヨーク二十五日發國通】二百萬以上の發行部數を有し世界最大を誇るニューヨークデーリーニユースは二十五日の日曜版紙上の社說において滿洲國承認其他に關する米國の五大極東政策なるものを擧げて政府にその實行を慫慂した

一、滿洲國を承認し日米兩國間に蟠る大なる焦慮の念を一掃す
二、米國の最大顧客たる日本と互惠通商關係を結ぶ
三、比島の獨立
四、海軍條約所定の最大限度迄の建艦を行ふ
五、海軍問題に關し英國と諒解を遂げ不可避とみられる日米戰爭を未來永劫に延期する

生活の虹(83)

菊池寬作　志村立美畫

捕へて見れば(九)

子爵は、老婆に案內されて、二階に通された。

「これが、あの娘の部屋でございます」

と、云つて机の前に置いた、赤いメリンスの座蒲團を子爵にすゝめた。

そこも貧しい部屋だつた。しかし貧しいながらも、そこに、坐臥する人の心がけを語るやうにキチンと清潔に片づけられてゐる。小さい机の上も、質素な本箱も、一糸亂れず片づいてゐる。

壁にかけられてゐる藝妓の寫眞が、眼を打つた。亡き玉香の二十七八の頃の姿だらう。色白く鼻筋通り、氣品のある面影である。

それと並んで、水彩畫がかけられてある。このあたりの郊外の、橋のある風景畫である。

子爵は、お茶を運んで來た老婆に、

「あれは、誰がかいたのですか」

と、云つてきいた。

「あの娘でございます」

「さう。なか〳〵、うまいものですね」

さう云つて立ち上ると、近づいてまだ見ぬ妹のゆたかな天分を、うれしく思ひながら、見つめた。

すると、その左の下に、緣の青草を描いてゐるなかにA.Motokiと書いてあるではないか。

子爵は、それを見た瞬間、異樣な感覺で、身體がふるへ上つた。

「その娘さんは、[illegible]と云ふんぢやないですか」

「はあ。違ひます」

子爵の聲が、はげしかつたので老婆は、オド〳〵して聲をあげた。

「なぜです?」

「妹が、自分の子にすると、私生兒になるから、いやだと申しまして、知合の夫婦の子供にして貰つたのです」

「それぢや、何と云ふ名前になつてゐます?」

「元木でございます」

「名前は?」

「ハア、あの綾子でございます」

「えッ!」

Motokiと云ふローマ字を見たときから、もしやと思つてゐたが今老婆にハツキリ云はれると、子爵は人生の不思議さに驚倒せんとした。

嬉しさでもない、欣びでもないと云つて悲しさでもむろんない、異常な感動で、危く倒れさうになつたのだ。

元木綾子に、あんなに心を惹かれたのは、當然である。しかも、綾子が、自分の結婚申込を、バッキリと斷つたのも、また何と云ふ本能の正しさであらう。

今こそ、綾子をどんなにでも愛してやれるのだ、白日の下で、公然と。

「おゝ綾子よ、わが妹よ、よくぞ立派に生きて來てくれた!何と云ふ可愛い奴だ!」

妹を摑へて見れば、わが愛人であつた。愛人を摑へて見れば、妹であつたとも云へるのだ。

晴れの特使一行を普く銀幕で紹介

四月上旬全滿各都市で公開　滿鐵弘報係で撮影

滿鐵では滿洲國修聘特使鄭國務總理大臣の日本訪問に際し同一行に對する日本國民の熱誠なる歡迎振りおよび特使の行動を詳細に撮影してこれを滿洲國民に紹介する計畫をたてゝゐたが折好く弘報係芥川光藏氏が上京中であるため同氏に命じてPCLおよび大阪朝日の援助を受けこの映畫撮影をなすことに決定、四月十日ごろまでに全部の撮影を終り直に大連その他主要都市で公開することゝなつた、而して松竹等の映畫會社でも本ニュースの撮影を行つて滿洲公開を急いでゐるが芥川氏からは滿鐵本社宛「決して映畫會社に負けないだけのものを作つて見せる」と賴もしい電報を寄せてゐる、なほ滿鐵が撮影した滿洲國の御大典映畫はその後PCLで錄音中のところこの程完成二、三日中に大連に到着することゝなつたが大連において滿文のタイトルを入れ滿人側にも本映畫の公開をなす豫定である

唯感激の人々

鄭首相の晴れの東京入りに　隱れた美談の數々

【東京特電二十六日發】滿洲國修聘特使鄭國務總理の一行は二十六日晴れの入京をしたが、この國賓の入京を心待ちに待つた人々がある

A

日滿議定書調印の圖の製作者洋畫家荒井陸男氏がその一人、鄭總理がモデルとなり故武藤元帥と向ひ合つて調印してゐる瞬間が描かれて居るが昨年十一月同總理を寫生に行つた時、畫伯は總理の人格に心服した、四日間モデルになつて頂いた、三日目のことでした、調印の室の樣子を當日の通りにするやう賴んでおいたのに何も準備がしてありません、忙しい體をやつと暇を作つた總理、此處でカン／＼に怒るかと思へば全くそんなことはなく、人間の出來てることに感心しました―と語つてゐる、畫伯は目下大車輪で油繪の完成を急いで居る

B

早大高等師範部文學部漢學教授牧野謙治郎氏は鄭氏と初めて會つたのは明治二十五六年頃でした、鄭氏はその頃支那公使館の書記官長尾雨山と親しく雨山に伴れられて公使館へついたが、此處は話にふり合ひと烏森の湖月で大いに詩や文學を論じ合つたものです、穩和な人でどこかに堅い處を持つ―そんな風でした

C

また十數年の昔鄭氏が上海に亡命せる頃刎頸の交はりを結んだ故西本省三氏の遺子西本克三君（二）がある、西本氏が逝去したのは昭和三年の早春、鄭氏は昨春詩を寄せて故人を偲び遺子克三君に書籍費一千圓を贈つた、克三君は書は動いて夜は日大に學んでゐるが、鄭總理はその後も度々書を送り激勵し故人に代り遺子の成長をたのしみにしてゐる、去る二月にも書を寄せ面會の日を樂しみにしてゐる旨を傳へて來た克三君は只管面接の日の來るのを待ちあぐんでゐる

雄々しき第一歩

"市立第一中學校"誕生

待望の大連市立第一中學校の開校式は四月一日午前九時聖德街の下藤小學校で盛大に擧行される豫定であるが、未だ校舍が間に合はないため同小學校の一部で一時借屋住居をしなければならない譯、校長以下柔道、劍道の先生に至るまで十二名の先生は旣に殆ど決定發令を待つばかりになつてゐるが、發令は四月一日頃の豫定、二十六日午後下藤小學校の西門に新校長池田京治氏の手によつて「大連市立第一中學校」の看板が掲げられた、本校の嬉しい第一のステップが雄々しくも踏み出された譯である【寫眞は市立中學校の看板】

本社へ寄託義金續々と集まる

麗しき溫情・ロシア人の寄附　函館大火への同情

函館の大火は被害の調査判明と共に、本紙報道の通り、その慘狀は實に言語に絶するものあり、春さはいへど餘寒尚ほ去らず途方にくれてゐる罹災者のために、各方面よりの同情は翕然として集まりつゝある、殊にハルビン方面では外人方面に大なるショックを與へて人類愛に立脚したる國際的同情金は、溯ぐましき感激をも湧き起してゐるが、本日當地在住の星ケ浦ヤマトホテル主人の白系ロシア人イワンダシツキー氏は二十六日午前本社に來訪し先年ハルビン方面における未曾有の水災害に際しては、貴國日本の同情は誠に感激措く能はざるものあり、當時の罹災民は、東洋の文明國日本國民の超國家的の同情に如何に感泣したかは今尚ほ忘れることの出來ない事實として記憶してゐます、然るに今回の函館の慘狀を聞き、取敢ず志しばかりのお金ですが、救恤金の一部にあてゝほしいと思つて來ましたと金五十圓也を差しだして本社に寄託したるが、何と近來の麗しい溫情ある事實として泣かされるではないか

死者千五百五十六名　廿五日判明分

【函館二十六日發國通】今回の大火の犧牲者は時と共に增加、二十五日夜の報告に依れば死者千五百五十六名に達して居るが尚ほ增加の見込である

兩特使の義捐

【東京二十六日發國通】鄭孝胥熙洽兩特使は東京着と共に北海道函館大火災罹災者に對し義捐金として金一封を贈つた

社員會慰問金

函館の火災に對して滿鐵社員會では罹災民に慰問のため二千圓の見舞金を贈ることを決議し廿六日全聯合會に對して見舞金募集の指令を發した

寄附者芳名

函館大火義捐金募集の計畫が發表されるや寄附申込が殺到してゐるが二十六日は左の如く外國人の寄附申込みあり麗しい國際愛に主催者を感激させてゐる

▲三千圓　大連卍字會
▲五十圓　星ケ浦露人イワシダシツキー
▲五圓　大連病院入院患者露人リシチエン

社員の決意高し街頭に大行進

四月一日滿鐵創立記念日に　社員會祝賀の催し

滿鐵社員會では昨年秋の評議員會で滿鐵創立記念日たる四月一日を社員會記念日とし每年祝賀することに決議したが來る四月一日に本年始めての社員會記念日を開催することになつた、當日は會社創立記念祝賀會に先立つて午前九時から本社中央玄關前庭に全社員集合し國旗、社旗、社員會旗の掲揚式を行ふが北條庶務部長の開會の辭により滿鐵ブラスバンド演奏の下に國歌、滿鐵の歌を齊唱し一同三旗に對して萬歲を唱へ散會する、更に會社祝賀會が終つて後約八百の社員は中島幹事長を先頭に社員會旗を立て、市中を行進し大連神社及び忠靈塔に參拜して非常時社員會の決意を固め國運の隆盛を祈ることになつてゐる

彌生見學團

東京二十五日發國通】大連彌生高女見學團一行は二十四日宮城、明治神宮、外苑、靖國神社、赤坂離宮、乃木邸泉岳寺、上野、日比谷、淺草の各公園其他被服廠跡、國會議事堂等を見學二十五日は午前七時淺草雷門發日光に參拜、同日午後八時十二分歸京再び丸屋旅館に投宿した

商業旅行團

【門司二十六日發國通】十二日母國の土を踏んで以來各地で非常な歡待を受け頗る愉快な旅を續けてゐた大連商業旅行團は二十五日大阪、神戸の見學を終へ今朝門司に上陸し名殘りを惜しみつゝ正午門司發母國を後に歸途についた

州内各小學校訓導の異動

二十六日附で發表

州内各小學校訓導の異動に關し旅順關係の分としては二十六日附をもつて大體左の如く行はれる筈である

第一小學校訓導　松井よしえ
第一小學校訓導　山崎ハナ
　　　　　　　　喜田瀧治郎

大連へ
第二小學校訓導　本田宥英
普蘭店小學校へ
大連南山麓小學校訓導　平方久直
同早苗小學校訓導　林原文十
　　　　　　　　中根京子
旅順第二小學校訓導へ
旅順公學堂教諭

水師營公學堂首席教諭へ
同　內田禳
水師營公學堂教諭
水師營公學堂長　荒木義雄
貔子窩民政署視學へ
同水師營公學堂教諭　石井治助
貔子窩公學堂へ
同　中山右三郎
旅順公學堂教諭へ
同　井村實
大連土佐町公學堂へ
大連土佐町公學堂教諭　安藤政吉
　　　　　　　　　　　川畑貢磨

水師營公學堂へ
右の外内地より
旅順第一小學校訓導　後藤大吉
　　　　　　　　　　愛甲久太郎
　　　　　　　　　　杉山春那子
　　　　　　　　　　近藤華子
　　　　　　　　　　大竹正美
　　　　　　　　　　宮崎愛直
旅順第二小學校へ　岩島芝
旅順公學堂へ
旅順第二小學校訓導　吉川金綠
　　　　　　　　　　照井壯助
同第二小學校教員　伊藤勉
右退職の上滿洲國へ　瀧谷虎之助

製藥事業を種に十萬圓を詐欺

元聖愛醫院の醫師の舊惡暴露　伊勢佐木署から飛電

元聖愛醫院の醫師赤谷幸藏（四九）が當時彌生高女の教諭某女と結婚する際、身許保證金を種に詐欺を働いて逃走し橫濱市曙町一丁目で何喰はぬ顏で醫師開業中麻醉劑密輸嫌疑で神奈川縣伊勢佐木警察署の手に逮捕されたことは既報したが其後同署で取調べ進行中のところ赤谷は大連在住當時各方面から約十萬圓に上る巨額の詐欺を働いてゐたといふ驚くべき舊惡が露見し二十五日伊勢佐木警察署から大連署宛に被害調査の依賴があつたので、同署司法係山口警部補は二十六日朝から續々被害者を召喚取調中である

事件の内容は大正十三年ごろ赤谷が大連市雲井町四番地で聖愛醫院を經營することゝなり市内信濃町九〇醫師佐志駿次郎氏（四〇）を補佐人、大分縣人高橋重木（六七）を事務長として開業した、その直後赤谷は高橋と共謀し既に許可期限が時效にかかつた製藥事業を種にして各方面から出資を募つたがその主なる者は

市内播磨町一一五森角雄氏五萬五千圓▲市内信濃町九〇佐志駿次郎氏一萬圓▲能登町一產婆田代モト氏一萬圓▲東鄕町一九河田巳之助氏一萬圓▲常盤町五花本愛之助氏五千圓▲越後町八岩本主計氏五千圓▲旅順鯖江町竹中延太郎氏五千圓

右の如く約十萬圓に上る出資を掻き集めたが一向にそれらしき事業を始めぬのに出資者が不審を抱き所轄沙河口署に問合せたところその製藥事業は既に時效にかゝり消滅してゐる事實が暴露するに至つた、よつて出資者は赤谷醫院長及び高橋事務長に對しその不都合を責めてゐるうち大正十五年六月頃先づ高橋が姿を晦まし續いて赤谷も行方不明となり、多くの出資者は泣き寢入りになつてゐたものである

營口へ船出

遼河の結氷も漸く解氷し本年度營口港入港の第一船として二十五日午後六時卅分牛家屯埠頭に松浦汽船惠康丸（一三〇〇噸）同十一時第一埠頭に大汽遼河丸（一二六六噸）の兩船が着埠したが惠康丸は石炭を遼河丸は特產を滿載一兩日中に出帆の筈

信濃町の小火

二十五日午後六時三十五分頃市内信濃町二五金子岩雄方より出火、附近の人が駈けつけて消火に努めた結果大事に至らず簞笥を一部分燒いたのみで鎭火した、損害約二十圓、原因については同家々人が留守の際に發火したので不審な火として大連署で取調べ中

武井少將來連

艦政本部第二課長武井大助少將は青柳大佐、齋藤中佐帶同二十六日入港ばいかる丸で來連したが船中語る

明年度豫算前の休暇を利用して出掛けて來た約半ケ月位でハルビン迄行つて來たいと思つてゐる別に重大な仕事がある譯ではない視察に來たのだ＝寫眞（右より青柳大佐、武井少將、齋藤中佐）

オペラと民謠の夕

廿八日協和會館

名聲をアメリカ樂壇に謳はれた南部たかれ女史と滿洲の生んだテノール歌手平間文壽氏との「オペラと民謠の夕」は二十八日午後七時半から協和會館で開かれるが、日本における第一流のオペラ歌手の肉聲に接することゝて前景氣頗る沸き立ち、殊に收益は函館大火義捐金に充當するといふ美擧だけに當日の盛況がいまから豫想されてゐる、なほ會費一圓で、當夜のプログラムは次ぎの如くである

プログラム

ピアノ伴奏　古莊百合

第一部

一、ソプラノ獨唱　南部たかれ
A「愛と唄に」（歌劇トスカより）プッチニー曲 B「此の心こそ」（レオノラ姫の戀の歌）ヴェルデイ曲

二、テノール獨唱　平間文壽
A「秘かに頰を傳ふ淚」（歌劇エリズイル・ダモーレより）ドニゼッティ曲 B「夢の歌」（マシノより）マスネー曲

三、ソプラノ　南部たかれ
A「ミネトンカの湖畔」リニランス曲 B「朝の窓」ブラソヒー曲

四、テノール獨唱　平間文壽
A「ニーナの死」ペルゴレージ曲 B「想ひ」トスティ曲 C「サンタルチア」ナポリ民謠—休憩

第二部

一、テノール獨唱　平間文壽
A「馬賣り」山田耕作曲 B「青い小鳥」同 C「からたちの花」同 D「枯葉」同

二、ソプラノ獨唱　南部たかれ
A「叱られて」弘田龍太郎曲 B「キンニヤモンニヤ」山田耕作曲 C「夕空晴れて」スコットランド民謠 D「アメリカの鳩ポッポ」南部たかれ曲

三、テノール獨唱　平間文壽
A「大島節」民謠 B「花の唄」伊藤祐司曲 C「向ふ橫町」本居長世曲

四、ソプラノ獨唱　南部たかれ
A「船頭唄」伊藤祐司曲 B「奴さん」南部たかれ曲 C「思ひ出」平間文壽曲—休憩—

第三部

一、ソプラノ獨唱　南部たかれ（歌劇扮裝に依つて演出）
A「或る晴れた日」（歌劇お蝶夫人より）プッチニー曲 B「お、吾子よ吾子よ」（同）同

二、テノール獨唱　平間文壽
A「フエデリコの歎き」（歌劇アルルの女より）テレアー曲 B「さらば愛の家」（歌劇お蝶夫人より）プッチニー曲

三、二重唱ソプラノ南部たかれ、テノール平間文壽、歌劇カヴァレリアルスチカーナ（マスカニー曲）—終り—

軍人會館に滿蒙室

滿鐵百萬圓寄附

廿五日開院總裁宮殿下の台臨を仰ぎ華々しく開館式を擧げた東京九段牛ケ淵の軍人會館建設には滿鐵から百萬圓を寄附してこれの完成を助け關係筋から非常な感謝を受けてゐるが滿鐵ではこれと同時に同會館内に滿蒙室を設けあらゆる資料を陳列して滿蒙紹介を行ふことになつてをり、二十五日の會館の開館日に大體の陳列を終り更に油繪その他の出品を行つて今夏までに完成することになつてゐる

自動車營業中止

鐵路總局が本年一月十五日から營業を開始してゐたハルビン、同江間の自動車營業は同路線の一部をなしてゐる松花江が解氷を始めたため去る十八日を最後として營業を中止することゝし本年冬の結氷をまつて再び營業を再開する事となつた

運動界のうごき

◇…神田數一、小川增雄兩氏（滿洲國體協上海派遣員）は二十六日午前七時四十分着列車で着連したが兩氏は二十七日發［illegible］で上海に赴く筈

◇…滿鐵に就職決定した中澤投手（關西學院出）市川投手（橫濱商業專門出）宇佐美捕手・橫［illegible］高商出）本田投手（名古屋高商出）の四野球選手は二十八日入港の扶桑丸で着連の筈

◇…大連新聞社の極東オリムピック大會滿洲國參加問題講演會は二十六日午後七時から敷島町青年會館で開催

天氣予報

北西の風晴一時曇　二十七日

各地溫度（廿六日）

	午前五時	午前十一時
大連	零度	二度
旅順	零下一度	二度
營口	同二度	二度
奉天	同四度	二度
新京	同八度	零下三度
新義州	同二度	四度

今日の小洋相場（十一時半）

金百圓につき百十九圓三十錢

海事思想普及　講演と映畫の夕

三月廿七日　協和會館に於て

（午後六時半）『一般』

一、演題　世界海戰史に於ける港口閉塞戰の要諦
　　旅順要港部附　東鄕海軍中佐

一、映畫　滿洲國皇帝御卽位、海の生命線、日本晴れの大觀艦式、御稜威の光

來場歡迎

附記＝三月廿八日は大正小學校で同上

主催　在鄕軍人大連海友會
後援　大連聯合會　大每大連支局　滿洲日報社

新講談

丹下左膳 (57)

林不忘作 小田富彌畫

發願奇特帳（六）

石川左近將監殿家臣、脩田なにがし、煙に卷かれたやうに、すつかり感心して歸つてゆくと、主水正はその壺をしまひ出したが、取り出す時の、あの、いかにも名品を扱ふやうな、注意深い態度と打つて變つて。

この仕舞ひ方の亂暴さは、何うだ！

こけ猿の壺を引つ摑まへて、ぶつけるやうにすがりを被せる。そいつを、まるで裏店の夫婦喧嘩に細君の髮をつかむやうに、グシヤッと摑んで、ぽうんと箱へ抛り込む。

グル〳〵つと轉がしながら風呂敷に包んで――さて、主水正、またぽんぽんと手を鳴らした。

出て來たのは、脩田を送り出して玄關から歸つてきた小姓だ。

「壺を見せたら、驚いて歸りましたね。當藩は大層な金持ちになつたと思つてるんだから、笑はせますれ。こんな貧的な藩はないのに」

「コレ〳〵、餘計なことを申すな。しかし、この壺はよく出來てるなア」

「じつさい、こけ猿にそつくりで御座いますね。よくもかう似せられたものですね」

「こいつを見せると、みな恐れ入つて引き下がるから不思議だ。かうやつて、こけ猿は柳生の手に返つたと宣傳しておいて、その間に一刻も早く眞物を見つけ出さねばならぬ」

「何ごとも宣傳の世の中ですからね」

「下らぬ事を申さずに、この壺をその床の間へ飾つておけ。客の眼につくやうにナ。まだ來ない大名もあるから、今日は一時に殺到するかも知れん」

小姓の手で、にせ猿の壺は、うやうやしく床の間の中央に安置された。とりどりの噂ありたるこけ猿は、斯くのごとく、正に、確に當柳生家に藏り申し候。したがつて當方は、日光などお茶の子サイ〳〵の大富家に御座候。今後そのおつもりにて御交際下されたく候……なんかと、さながら、さう大書して貼り出したやうに、その床の間のにせ猿が見えるのでした。

「今この脩田の持つて來た刀の包みを、向うへもつて行け」

小姓が、その長いやつを抱へて鑑定方と記録係の控へてゐる、あの廊の奧の離室へ運んでゆく。

ところへ。

別の取次ぎが顔を出して、

「御家老へ申し上げます。一石飛驒守樣のお使ひがお見えになりまして御座ります」

「おゝ、壺を飾つたところで丁度宜かつた。こちらへ」

一石飛驒守の使ひといふのは、まる〳〵と肥つた男だつた。這入つてくるとすぐ、床の間の壺を見て、ひどく驚いた樣子だつたが、持つて來た何やら大きな贈りものをさし出して、口上を述べはじめた。

「エ、この度び、柳生對馬守さまにおかせられては、二十年目に只一度めぐり來る光榮のお役、權現樣御造營奉行にお當りになりましたる段、慶賀至極、恐悦このことに存じ奉りまする、云々」

「どう仕りまして」

「夫れ戰國の世においては、物の具とつて君の馬前に討死なし、もつて君恩に報い奉る途もござりまするなれど、うんぬん――」

「この治國平天下の時代には」主水正が引き取つた。「せめては日光樣のお役に相立ち、累代の御恩の萬分の一にもむくいたいと、御主君一石飛彈守どのは、何とかして日光御造營奉行に任じられますやうにと、日夜神佛に御祈願……」

「ハイ、その通りで」

「水垢離までお取りなされて――」

「おや、よく御存じで」

「それが柳生へ落ちて誠に殘念だから、せめてはお疊奉行かお作事目附にでも……」

主水正、大きな欠伸をした。

蒲田作品 婦系圖 オールトーキー 中央館上映

泉鏡花つくるところの「婦系圖」は明治、大正、昭和を通じて子女の紅涙をしぼつた一代の傑作であるが、陶山密脚色、野村芳亭監督で作り出された蒲田映畫「婦系圖」はピンからキリまで全く芳亭の趣味にかためられ、鏡花の味は殆どうかがふことが出來ない

青年ドイツ文學者早瀬主税は恩師酒井俊藏に隱して藝妓お蔦を落籍し同棲生活を送つてゐたが酒井の娘妙子との縁談斡旋を依賴して來た河野家の家令坂田のために恩師の耳に入り、心ならずもお蔦と別れて故郷靜岡に歸らねばならなかつた、お蔦は早瀬と別れた後姉藝妓小芳と妙子（實は小芳と酒井の間に生れた娘）の情に勵まされ、何時か早瀬と會ひ得る日を信じて待つてゐたが、終に病の床に就き、臨終の日まで早瀬に近づくことが出來なかつた

メカホンを執つた芳亭監督は原作の持つ好さを全然無視して唯單なる新派悲劇に作り上げてゐる、主要人物たる早瀬、お蔦、妙子の動かし方は勿論、音響に於ても全く從來の芳亭作品と何等變る處がなく、興行價値を狙つて、泣け泣けとつき込んで行くことに全力をあげてゐるやうだ

俳優は……岡の早瀬、絹代のお蔦、この二人がかもし出す味は「沈丁花」の場合と少しも變りがない、目立つのは下加茂から應援の志賀靖郎の酒井俊藏、トーキー役者として打つてつけ聲調に幸ひされて光つてゐる、大塚君代の妙子は無邪氣に、吉川滿子の小芳は無難

この映畫は松竹ファンを確然と二分してインテリを除いた婦女子の涙は充分にしぼるであらう

或る日曜日の午後

鬼才スチヴン・ロバーツが描く若き日の思ひ出、美はしい夢の抒情篇で主演はゲリイ・クーパー、フランセス・フラア、フエイ・レイの競演、パラマウント日本版（二十六日より常盤座に上映）

滿洲日報
朝夕刊共十二頁
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社 滿洲日報社

聯關問題を解決し 滿洲國承認へ徐行
北支繁榮策として 黃郛氏近く中央に提議

【東京特電二十五日發】黃郛氏は四月初め南京にて汪精衞、蔣介石氏等と會見し、北支情勢を報告すると共に日支關係の調整のため懸案解決に一歩を進める提議を爲す筈であるが、その案の要旨は北支那の平和と繁榮を期するため對日懸案の解決を三段に分ち、第一には先づ非武裝地帶內の治安と經濟問題につき交渉をなし、次に滿洲事變後における滿洲國との關聯問題、卽ち郵便、通關、交通等について便法を講じ、然る後滿洲國承認問題に移るさいふ順序を取るものだと

早川部隊凱旋
將士の奮鬪に感謝

【奉天特電二十六日發】一昨年八月來滿以來快足隊の驍名を馳せ山海關の戰ひに熱河の作戰に川原挺身隊さともに武威を輝かして早川部隊長は、部下の東北三陸地方の大震災の報にも何等動搖をみせることなく日本のため武勳を樹て神速隊として活躍を謳はれたが、今や數々の偉業を殘して二十六日午後一時二十五分着當地に凱旋した早川部隊長は下車するや直に出迎への同胞に戰事中における後援と今また凱旋に對してかくも盛大な出迎へを受けることは感謝に堪へないと挨拶を述べ、驛貴賓室に入り記者團に語る

皆さんには色々お世話になりました、北票で部下の郷里岩手縣大震災の報に接したのだつた、しかし行動を起して間もないときだつたので士氣に影響あることを心配して初めの頃は知らさずにゐたのだつたが、後部下がそのことを知つても何等動搖することなく却つて私を捨て、皇國に殉ずる精神をさかんに非常に勇敢に働いてくれた、古北口の戰ひなど最も激戰だつた、その間戰友の死傷するもの多數を出したことは實に殘念に堪へない次第であるが、一般に事變を理解して強い國家的觀念の下に働いたこと、國民全部の熱烈な後援、特に後續部隊の出征に對しては縣知事等驛頭に出て一々兵士に握手しその奮鬪を勵まされたと聞いてゐるが、かうしたことが如何に將兵の力となつたかを痛感した、震災で一家全滅した兵士もゐるが、これら部下は私事を顧みず國家のため身を捧げてくれたことに對しては感激措く能はざるところである、今凱旋して災害の跡岩手に歸り不幸な將兵の身を思へば氣の毒に堪へない

と言々熱し來る言葉で語り部隊は直に忠靈塔に參拜、早川隊長は衞戍病院に部下の將兵を見舞つた、

宮崎部隊凱旋

【奉天二十六日發國通】熱河に於て皇軍の武威を輝かした第〇〇團は既報の如く內地へ晴れの凱旋をなす事になつたが同團宮崎部隊〇〇〇名は本日午前十時四十四分着奉山列車で在奉官民の熱誠なる歡迎を受け着奉したが、同部隊は少憩の後午後八時五十分發軍用列車で新京經由母國凱旋の途に就く筈なほ早川部隊も本日午後一時五十四分着奉二十七日午前零時新京經由內地へ向ふ豫定である

南昌軍事會議を開き 共匪討伐大評定
近く五路掃匪副司令を召集
業を煮やす蔣介石

【南京二十五日發國通】蔣介石は第五次掃匪開始以來既に半年に達せんさするに全般的に見て共產軍勢力增大の形勢にあるに鑑みこの際大軍を以て包圍的に徹底的討伐し三ヶ月を期して江西、福建の掃匪を完成するに決定し四月初旬南昌に東、西、南、北、中の五路掃匪副司令を召集し軍事會議を開くことゝなつた

官紀頽廢に關して 政府に嚴重戒告
衆議院の決算委員會

【東京特電二十五日發】衆議院の決算委員會は昭和七年度決算の承認に際し近來官僚政治の復興による官紀頽廢の事實著るしきを認め二十三日の本會議に委員長をして左の點を特に高調力說せ…

議會後の政局
內閣の補強工作は多難

【東京二十五日發國通】政府では一、二の重要法案は無事議會を通過したが、米穀移入調節法の衆議院通過に當り臨時議會を召集し出來秋に對する對策を樹てるさ附帶決議を爲したが、右は一面齋藤內閣は當分居据わり、米穀對策を樹立せよと政民兩黨より信任案を出された譯で、政府首腦部は貴族院一部の反政府的空氣は兎も角として衆議院が信任した以上、議會後も當分居据りを決意し、議會後は…

島村部隊凱旋

治維法案握潰し
兩院協議會において

貴族院本會議

選擧法改正 協議會案を可決
十二時卅九分漸やく散會

滿洲在住邦人に 母國法の追及
奉天の商標侵害事件

兩中將待命

若杉一等書記官

羽田鐵道部長

大連中央市場 更生豫算

妥協內容

議會風景

鏡泊湖を見る (六)
北湖頭附近

社説 第六十五議會の特異點

第六十五議會は二十五日夜にかけて議事を終り、二十六日閉會式を行ひ、勅語を賜はつた。政府提出案四十八件あつて、四十六件を可決し、審議未了のものは治安維持法改正案、出版物納附法案の二件のみ。成績先づ良好といふ可きである。但しその法案は必要已むを得ざるもののみで、自然に出來上つたものだ。特に此内閣の努力の結果と認むべきは、通商擁護法案の外には見當らぬ。米穀案の如き選擧法中改正案の如きは、重要案であるが内容は充實したものでない。故に不充分ながら已むを得ずとして可決されたに過ぎない。而して何といつても此議會の大事業は二十一億四千二百萬圓に上る總豫算並に追加豫算を可決し、莫大の赤字公債を是認し、非常時豫算の特色を明示したことである。

◇

議會中に目立つたのは大臣個人に對する攻撃が頗る猛烈で、爲めに二大臣を退職せしめたことであるが、その爲めに内閣の崩壊を導かなかつた事は政界の特異點であつた。以上の本議會の特色はすべて非常時なるが故に見る現象であるが、此れに基く議場の狀況に頗る注意すべきものがある。之れ亦此議會の特色として味ふ可きものだ。それは大臣個人の行爲に關する糾彈の際に稍脱線を見たのみで、その他の場合は總じて眞面目に國事審議が運ばれたことである。

◇

議員の質問も態度も眞面目であり、大臣の答辯も眞面目であつた。議員の態度が、以前に屢々見られたやうな、ふざけた態度や賣名的態度も少なく、多數を恃みて無理を通すといふ不快な現象も少なかつた。大臣の態度も議員を翻弄するとか詭辯を弄するとかいふこともなく、双方共に極めて眞率に國事を議する態度を執つてゐた。これは我議會の爲めに頗る喜ぶ可き現象である。從來屢々議場肅清が唱へられて行はれなかつたが、今次議會が稍其の形を示すに至つたのである。

◇

その原因は、國民多數が議會の不眞面目を悦ばず、その罪は議員素質の低劣並に政黨の横暴にありとして、議員並に政黨の反省を求むる空氣が頗る濃厚になつて來たからである。從來は議會萬能の空氣が一般民心中にあり、議會の爲す所は無理でも仕方がない、それでよろしいのだといふ狀況だつたが近時の民心は必ずしもさうでない。故に議會の決議でも無理は出來ず、政黨も多數を恃みて無理を議場に通すことが出來なくなつた。政黨が無力になつては個人も政黨の力に頼ることが出來ない。隨つて、政黨も議員も眞面目に國事審議に努力するより外に歩む可き途がない。かくて政黨も個人も之れによりて人氣回復を計らればならない情勢に迫られたのである。政府でも多數政黨に擁立さるゝものではないから與黨を組んで無理押しする必要はなく、自然に正眞な國策を親[illegible]切に說明するより外に途がないのだ。

◇

以上は皆、多數黨が内閣を組織せず、政黨に超然たる内閣の存在あるが故に實現された現象である。果して然らば所謂憲政常道に反する政局が、この結果を齎したものであつて、我が憲政史上の頗る注目すべき現象たるを失はぬ。我が憲政の發達に志すもの丶好資料と爲すべきものであると考へる。尚此の議會に於ては、滿洲問題が可なり深刻に質問されたことが注意すべきだ。從來腫れ物に觸るやうに取扱はれたのが、可なり突き込んで取扱ふやうになつたのは議會が眞實に反省した事を示す。又その滿洲現狀に對する認識の深くなつたことをも示すのだ。而して此の質問と、それに對する政府の答辯とが、一般國民の滿洲に關する知識を深むるに與つて力あつたことをも否定し得ない。

特殊事業の認許 滿洲棉花會社法
宮脇中佐情報處長就任決定
國務院會議々決

【新京特電二十六日發】滿洲國々務院第四次會議は二十六日午後二時より開會左の五項を議決した

一、勳位及び勳章に關する件
二、陸地測量法中改正の件
三、滿洲棉花股份有限公司法
四、航政局官制中改正の件
五、大同二年度第二準備金支出の件

なほ川崎外交部宣化司長の兼任であつた國務院情報處長の選任も決定したが後任には關東軍司令部附宮脇中佐が退役して近く同處長に任命を見るはずである

宮脇中佐退役

【新京特電二十六日發】關東軍司令部第四課新聞班宮脇中佐は今回いよ／＼退役して滿洲國々務院情報處長に就任、近く正式發令をみる筈であるが

同中佐は上海事變突發するや第〇〇團とともに新聞班として出動、事變の終結と同時に内地に凱旋、關東軍司令部が奉天より新京に移駐、第四課の擴充整備に當り選拔されて昭和七年十二月十九日着任、爾來一年四ケ月その間全滿に亘る治安工作にまた熱河討伐に偉功を樹て殊に滿洲國大典の新聞統制に當つて非凡なる手腕をふるつて名聲を博した、同氏は外國語學校に委託生として英語を專習、更に英國へ留學、歸朝後は陸軍省新聞班員として勤務、今日まで八年間わが國陸軍部内における新聞班の權威であつただけ氏の情報處長は最適任者として各方面に非常な期待がかけられてゐる

出廻不振の結果 鐵路總局は收入減
創業一周年の業績

【奉天特電二十六日發】鐵路總局創業一周年昭和八年度營業收入は見積りの五千五百萬圓に達せず四千八百萬圓程度とみられるが二月末累計營業收支決算をみれば次の如く收入四千五百八十萬五千圓支出三千五十七萬九千圓で差引純收入千五百二十二萬六千圓に達した

(單位千圓)

項目	金額
鐵道收入	四二、四一三
同 支出	二七、八四七
水運	一、一一九
同 支出	八六八
附屬事業收入	四五九
同 支出	九二九
利息收入	一九九
同 支出	七四五
雜收入	一、六一四
同 支出	一八九
合計收入	四五、八〇五
同 支出	三〇、五七九

右によつて純收入千五百二十二萬六千圓をあげてゐることは創業匆々としては好成績といふべくたゞ營業見積收入に達し得なかつたことは豫想外の北滿特產物出廻不振に重大原因があるべくなほ將來においても特產出廻對策に良案が實施されない以上圖線收入は重大な打撃を受けるので從つて目下北滿特產生產狀の詳細なる調査が進められてゐる、一方特產の市場價値については海外向不振の原因が世界的不況に起因し惹いて大豆代用品の普及を來すにおいては滿洲大豆の將來は大いに憂慮されるのでその對策の考究が進められる傍ら市場價値大なる產業獎勵に努力されるものとみられてゐる

天圖線の今後

【奉天特電二十六日發】天圖線輕便鐵道の廣軌改修工事も終り去る二十二日龍井村で關係代表者參列の上開通式が行はれたが來る四月一日滿洲國より滿鐵に引繼ぎ鐵路總局において正式營業を行ふこととなつた、鐵路の正式營業開始は北鮮と滿洲の聯絡を密にする外淸津の內地聯絡港としての意義を一段と加へることゝなり產業軍事に一大貢獻を爲すものであり一方目下內地で協議中の內地、朝鮮、滿洲の連絡運送規定實施の曉は朝鮮北鮮經由滿洲との連絡經路も開拓されることゝなり天圖線利用の旅行者をも增すものとみられてゐる

滿鐵收入 豫想外の好成績
廿五日現在 總額一億二千萬圓

本年度における滿鐵々道收入は二月末ごろまでは豫定の一億二千萬圓到達を危ぶまれてゐたが三月中旬以後豫想外の好成績をあげ二十五日現在で既に總額一億二千九百餘萬圓となり今後六日間に一日平均三十五萬圓の收入をあげることはさして困難でないため最少限に見積るも一億二千一百萬圓を超過することは可能となり鐵道部經理課では俄然凱歌を奏することゝなつた、然して以上の收入好況を招來した原因は慶報旅客收入は未曾有の好況を持續したことおよび北鐵南部線の貨物が比較的順調に出廻り石炭の好況が今日まで持續したことにあるが二十五日現在收入累計を左に擧ぐれば(單位圓)

項目	金額
旅客	一八、三八一、二三九
貨物	九五、〇二六、六三九
倉庫	四〇、一二六
諸口	五、五九三、五六一
總計	一一九、〇四一、五六五

田代兼任警務部長

【奉天特電二十六日發】在滿警備機關の統一をはかりその機能を充分發揮せしめるため今回大使館に設けられた警務部の部長として新任した田代憲兵司令官は二十六日午後一時半管下各機關の初巡視を兼ね來奉した、驛頭には蜂谷總領事、土肥原特務機關長、三谷警務廳長、立川警察署長を始め日滿官民多數の出迎へを受け驛貴賓室で少憩、挨拶を受けた後直に巡視に向つた

船質改善助成施設 打切り延長運動
日本船主協會等協議

船質改善助成施設は當初の目的を達して三月一杯をもつて打切りとなることになつたが、日本船主協會では目下その延長問題に對し慎重なる研究をなし造船聯合會並びに船質改善協會と協同にて四月上旬助成施設延長に對する特別委員會を開催しその延長方を遞信局に運動せんとしてゐるが、そも／＼助成施設なるものは新造船一噸に對し古船二噸を解體することが條件とされ既に新造船三十一隻十九萬九千餘噸に對し解體船九十四隻三十九萬九千餘噸に上り加ふるに外國船の輸入を制限或は禁止せるため解體見合せ船が頓に減少し優秀船の增加の一面船價は騰貴し海運市況の好轉に伴ひ造船料の騰貴は噸當り二百圓乃至三百圓を要するやうになつたので噸當り四十圓の助成金では改善施設による造船は引合はない狀態に立到つたので日本船主協會としては今後の運動方向を新造船對解體船を一對一の割合になし八萬噸の造船を行ふ目的で助成金を噸當り四十圓となし三ケ年の延長を希望してゐるのであるが、造船料の昂騰と船價の騰貴の財政逼迫を主因としてこれが運動の實現化は困難と見られ優秀船舶の激增並びに日本、紐育間航路よりの外國船の驅逐等素晴らしい功績を遺して助成施設は終幕するものと見られる

滿鐵四社員 靖國神社合祀
殉職十五名も詮議中

身を以て鐵路を守り滿洲事變に際して貴い殉職を遂げた滿鐵社員は既に十一名が靖國神社に合祀されてゐるが今回更に左の四名が合祀されることになつた旨二十六日滿鐵本社總務部に通知があつた、なほこの他の殉職社員十五名に對しても目下當局で合祀方考慮中で近く實現を見る模樣である

秋木莊驛長 (故)柳田佐市
(理由)昭和六年十二月十八日約百名の匪賊驛舍襲撃に遭ひ驛員を指揮し交戰の結果殉職す

本溪湖保線區線路長 (故)林公一
(理由)昭和七年八月二十一日先驅列車に乘務中大連泰石橋子間において匪賊と交戰殉職す

十家堡驛助役 (故)東野善作
同 驛々務方 (故)佐田儀助
(理由)兩名は昭和七年十一月五日同驛において匪賊の包圍襲撃に遭ひ交戰殉職す

兩將軍新京へ

【ハルビン二十六日發國通】北滿視察中の陸軍省技術本部長緒方大將は二十六日朝飛行機で、又獨立〇團長佐藤中將は幕僚三名と共に二十六日午前九時三十分發列車でそれ／＼新京へ向つた

大連汽船關係質疑
北鮮航路割込み (1)

三月十日衆議院委員會における滿鐵の國鐵委任經營並びに大連汽船に關連せる質問應答

葉梨委員 滿鐵の滿洲國有鐵道委託經營に當りましては、建設改良費等に對しまして多額の出資をなして居る次第であります、それは公債、社債其他昨年の議會に於きまして增資案が可決せられましたのも、主として滿洲國有鐵道の建設改良に投資せられて居ることは、是は周知の事實であります、それ程多額の金を國も亦之に投資して居るといふやうな狀態でありまする以上は、是の御契約の內容を差支ない限り御發表願ふことは當然のことであらうと思ふのであります

例へば上納金の問題、此上納金は相當額あるものであると吾々は風說に諒承して居るのでありますが、併し其上納金が如何なる風に行方がなつて居るか、何處に上納されて居るかといふやうな點は、これは重大な點でありまして、將來財政計畫にまで影響を及ぼす重大な點であります。此の點に對しましても充分に御協議の上に、正確な御答辯を希望致します。次に私は北鮮の航路に關しまして二、三伺つて置きたいのであります、北鮮航路に對しまする當局の御方針は如何なる方針になつて居りませうか、目下の方針を先づ最初に伺つて置きたいと思ひます

林政府委員 御承知の通り北鮮と裏日本とを結びますことは最も緊要の施設であるといふことに着目致しまして、總督府は從來この方面の航路の連絡には不充分ながらも力を致して參つて居るのであります、なほ更に實際の情勢から鑑みまして、北鮮と阪神並に東京方面との航路の連絡といふことにつきましても、財政の許す範圍におきまして出來得るだけの施設を努めて參つた次第でありますが、御承知の通り最近數年來非常な財政難の爲めに、各方面の施設に緊縮節約を加へました爲めに、既定の補助金も減額を致しまして又新規の施設につきましてはこれが實現を見得ないやうな狀態にありますことは、洵に遺憾に存じて居ります次第でありますが、現在やつて居ります北鮮と裏日本との連絡の航路は

第一は淸津と敦賀を結ぶ航路であります、此線は淸津、城津、元山へ寄りまして敦賀に參る線であります、尚か是は宮津にも寄港することになつて居つたかと思ひますが、斯ういふ「コース」を往復致して居るのであります

もう一つの線は伏木、浦鹽線、裏日本と浦鹽とを結び航路のありましたのを、それを朝鮮に延長致しまして、淸津並に雄基に寄港せしむることに致して居るのであります

第三は、北海道と新潟との航路を淸津、雄基方面に結んで居ります

此三樣の航路に依りまして裏日本と北鮮との連絡を圖つて居るのでございます、是が總督府の現在の命令航路でありますが其外最近の北鮮方面の狀況の變化に依りまして自由、不定期の航路を致しまして、各社が淸津及び雄基方面と裏日本との連絡に從事致して居るやうであります、是等の情勢に應じまして適當なる對策を立てたいといふ計畫は總督府に於ても有つて居るのでありますが、不幸にして未だ實現するに至らないやうな事情であります、現在に於[illegible]て居りますものは以上の三線であります、其外に先程申しました阪神並に東京方面と連絡致します航路補助を別に命令致して居るやうな次第であります

葉梨委員 北鮮の航路に關しましては北鮮の鐵道が既に滿鐵に委託經營になつて居りまする以上此方面の航路に關しましても滿鐵の傍系會社である所の大連汽船をして是が經營を爲さしむるといふことも亦一つの考慮を爲すべき肝要なる問題と思ふのでありますが、大連汽船に對しまする關係は如何になつて居りませうか、是は拓務當局から伺ひたいと思ひます

堤政府委員 滿鐵が北鮮鐵道の委託經營をやつて居る以上は其滿鐵のレールの延長として滿鐵の傍系會社である所の大連汽船會社が此連絡をやりたいといふ、其航路の許可の申請を致して居りますがまだ之れに對しましては何れにも決定致して居りませぬ

葉梨委員 私共は此大連汽船會社の從來の使命が、滿鐵の傍系會社としまして滿鐵が鐵道による所の陸上運輸をなし、これと連絡しまして海上連絡の衝に當る斯ういふ使命の下に大連汽船なるものが滿鐵の傍系會社として今日まで發達して來たものと諒解して居るのであります、然らばこの北鮮の鐵道が、陸軍が滿鐵に委託されたものである以上、これは當然傍系會社の大連汽船會社が海上連絡の衝に當るといふのが至當なことではないか、斯樣に思ふのでありますが目下許可申請中のものであるといふ御話でありますから、或は許可、認可の事項に關係するから御答辯が難かしいと仰しやるかも知れませぬが、併しながら大連汽船は單なる一營利會社とは違ふ、例へば島谷汽船とか或は其他の近海郵船の如きものとは違ふのでありますから、之に對しましては拓務當局としましては他の會社と違つて御考へになるべき性質のものであらうと思ふ、率直に自分は斯く思ふのでございますが、此の拓務當局の御意見を伺へれば幸に結構と思ふのであります

堤政府委員 是は二樣に觀察する必要があると思ふのであります、大連汽船會社は他の汽船會社と比較を致しますと資本も豐富であります、且又國家的使命を帶びた滿鐵の傍系會社でありますから國家の爲には利益といふ點のみを考へないで、斯樣々々の施設をして貰ひたいと言へば之に又應ずる譯であります、隨つて一般國民の交通連絡といふ點から是は重視すべきであるといふことは葉梨議員の御述べになりました通りであります、併しながら又此の尨大なる資本を以て之をやりますと、今日まで營業を營んで居た者に對して非常な打撃を與へるといふことにもなるのでありますから、如何なる點にその調和を保つてさうして一般の國民の利便になるかといふことを考慮しなければならぬと思ふのであります

關東廳の地方費豫算

昭和九年度關東廳地方費收入支出豫算は二十六日公布されたが大要次の如くである

收入の部 (單位千圓)

項目	金額
經常部	四、〇三五
臨時部	二、二七一
計	六、三〇六

支出の部

項目	金額
經常部	三、一九五
臨時部	三、一一〇
計	六、三〇五

之を前年度豫算額に比すれば經常部において五萬六千圓の增加を見たが、臨時部においては百三十三萬圓を減少し差引百二十七萬四千圓の減少となつた、右は租稅收入九萬七千圓、事業部及び財產收入二萬九千圓の增加が見込まれるも一方雜收入七萬一千圓、拂下代に於て一萬圓、國庫補助金八十萬圓、寄附金四十五萬一千圓、前年度剩餘金繰入六萬七千圓、計百四十萬圓の減少を豫定されるがためである、又支出においては昨年度豫算に比するに經常部において一萬二千圓の增加に對し、臨時部において百八萬七千圓の減少を示し差引一百二十七萬四千圓となる、因に新規事項增加額の內主なるものは次の如くである(單位千圓)

項目	金額
一、小學校公學堂及盲啞學校學級增加	三二
一、松林青年訓練所新設	五
一、日本語獎勵費	三
一、公學堂普通學堂第三種教員講習會設置	三
一、衞生試驗事務擴張	一四
一、消防施設充實	五
一、電氣水道事業擴張	五九
一、調査費の增(業態調査その他)	三七
一、營繕土木(皆增)	八五〇
一、補助費	一、五九〇
一、國際產業觀光博覽會出品費	五
一、其他雜件	七

大觀小觀

日米新善のメッセージ交換が傳はつて支那で心配してゐる、大きく見ると、日米親善の確立は支那の幸福になるのだが、それが解らないと見ゆる▲試みに日米開戰があつたとせよ、第一番に側杖食ふのは支那ではないか▲畢竟支那の人が心配するといふのは、米支親善を唱へて、それを物質價格に變換せんとしてゐる人が、それが出來なくなるからだ▲北平市外淸華學校は米國の北支事件賠償金で立つてゐる▲その卒業生が日本に留學するといふので珍しがられてゐる▲この學校には、早くから日本語が教授されてゐる程であるから、日本に留學生を送るのも當然であらう▲米國では賠償金の大體を握つてゐるが、その使途や學校の經營は支那人に一任してある▲敢てこまく／＼しいところに干渉しないのがその特色で、實際上、金を活かして働かせる所以でないかと思はれる。

八相 (五十行以内すらさは中傷 投書歡迎)

不當要求に非ず　大連疊職工組合

◇櫻花臺渡邊安太郎氏の言を聞くに右の渡邊氏の如き人は實際の吾々職工の内容と云ふものを知らない人です。

◇今度の問題は營業者組合より昭和六年二月に工賃の一割五分の値下げを斷行せられ、其翌年即ち昭和七年三月二十四日營業者組合は全請負額の二割を値上げした、其際「營業者が値上するなれば吾々は前年値下したのであるから工賃値上をして貰ひたい」と要求したが、營業者組合は之を素氣なく拒絶した、故に吾々は涙を呑んで今日に及んだのである。

◇即ち營業者が顧客に要求する價格は新疊一枚四圓とすれば新疊一枚(床一、〇〇より一、二〇、表七〇より八〇、縁、糸、紙二〇、工賃五〇、利益一、三〇—一、四〇)

前項の如く一枚の新疊に付いて一圓三、四十錢の利益です。

◇表替、裏返でも其割合です、之を弟子にさせれば職工々賃不必要に付營業者にとつては莫大なる暴利でした、夫れに今度の吾々の二割賃銀要求は一枚の工賃五十錢の二割(十錢)の値上げで營業者の利益一圓三、四十錢の内より僅に十錢を吾々に配分してもらふだけです、つまり顧客に對してはいさゝかも迷惑は掛けない理です。

◇これが眞相です、それでもなほ且つ吾々職工組合が不當であらうか、どうか市民諸氏の御賢察を乞ふ次第である。

渡邊氏へ　疊職工 長春生

◇渡邊氏の工賃値上反對は何等理由なき反對です、比較的安い物價を需むることは人間一般の通有性で、これ等は何等反對の理由にはなりません。

◇商人が自己の利益のために萬全の努力を拂ふことは當然でありますが、是が法外の利益獲得を目的とする時、其處に暴利或は詐欺行爲が生ずるのであります疊商の不完全な弟子を一人前の職工と僞して使用することは其の類に屬するものと考へます。

◇疊商が弟子を養成することは從來傳統的に行はれて居りますがい疊職(所謂素人疊職)が師匠を絶對に必要とし相當の期間と熟練を要する見習職工を取る事が抑の矛盾ではないでせうか。

◇それも自責の念ある疊商ならまだしもですが、金を儲ける爲には手段も方法も選ばずとして疊無き四五の疊商が不合理なる弟子を多きは五、六人と、而も夫等は三、五ケ月の見習を經たる不完全な弟子を我等職工と僞して不合理なる工賃を丸儲けせんとする等不正疊商の不都合なる手段によつて私共の職業に生活に多大なあたへる事を糺彈せずにはゐられませうか。

◇是れが今回の値上要求の本旨であります、私共の一ケ月の收入は凡そ五百圓内外よりありません、此金額で家賃其他法外に高い大連で生計し家族を扶養して塵まみれになつて働かねばならない私等の悽慘なる勞働及び生活狀態を良く見極めて下さい。

◇貴方も私等も共に日本人、此の生活の安定と向上を望む事に變りはない筈、徒に理由なき反對は止して頂き度い。

市況(廿六日)

株式 内地安に當市保合 [illegible]

特產 大豆續落 賣物多く [illegible]

錢鈔 材料薄で鈔票保合 [illegible]

奥地市況 [illegible]

商品 [illegible]

市場電報 東京株式(長期) 東京株式(短期) 大阪株式(長期) 大阪株式(短期) 大阪期米 神戸期米 東京期米 大阪綿糸 [illegible]

家庭

愛國機三臺分を三日間で呑む
生命は平均十三年も縮まる
内地大連で意味もなく消える〝酒代〟

正月の元日から三日までに四斗樽が四千本、一本五十五圓さすると金額にして二十二萬圓、先の愛國號の製作費に換算すると約三臺に相當します、ちよつとどうかと思はせる、かうした問題ががさうさせて居ます、神田には千二百餘軒、□□山には九百軒本郷には七百□十軒のカフエーが學生の唯一の客として誘惑の手をひろげて居ます、然し酒を斷然止めるといふことは難事中の難事です、これは各人の自覺によるより方法はないとですこんな話があります、石川縣羽咋郡河合谷村（戸數二百九十八戸）は窮乏のドン底から更生して大正十五年四月一日から全村擧つて禁酒を斷行しました、その五ケ年間の酒代四萬五千圓を以つて堂々たる小學校舍を新築することが出來た相です、その上に個々の經濟状態は潤澤となり五ケ年間に家屋を新築したものが三十二戸、改築をしたものが十八戸、六ケ年を經過した昭和七年三月末に村民の貯金總額は四萬八千三百二十七圓となりました、税金滯納者は皆無、風紀衛生狀態も極めて良好になつて居ます。尚專門家の調査によると酒の爲め病氣に罹る率は二倍、治療にかゝる日數も二倍、生命は平均十三年縮み死亡率は一割二分禁酒者に比べて多いと云はれて居ます。

どうかと思ふデス

内地からの花の便りがぼつ〳〵聞かれる季節になると滿洲でも花見のプランがサラリーマンの日程にやがて上せられる、花には酒、酒には女が、さて

世は

非常時、考へて見るとうか〳〵と酒も呑んで居られなくなると云ふもの、一體日本では今一年にどの位ゐの酒が譯もなく消えて無くつてしまふだらうか？内務省で調べたところによると内地だけで一年の總消費額十五億圓、これを一日にすると約四百萬圓、非常時日本の空を護る愛國號は一臺約八萬圓位ゐで出來るのだから一日の酒代で愛國機が五十臺出來るといふわけ。さて大連ではどの位の酒が呑まれて居るかと云ふと今年の

微弱

なもの、その禁酒會は逸早く考へて何んとかせねばならぬと考へたのが日本國民禁酒同盟大連には明治四十年に創立された大連禁酒會がありますが現在會員はたつた百名餘に過ぎず、勢ひとしては甚だ微弱なもの、その禁酒會をリードされて居る大連基督青年會總幹事稻葉好延氏は次の樣にお話しをなさいました。

東京では學生街が卽ち酒の街と化して青年の時から酒を飲まなければ一人前でないやうに環境

今年の流行

◇…靴 先は稍細型に、大體のデザインは相變らずスポーティなもの、パンプ（つまさきの部分）はいく分長く止め具なしがはやつて居ります
◇…ハンドバッグ 洋裝には金具つきの皮製品がまだ流行の中心、無地一色で、折底やマチのないもの、大きさは巾三寸、長さ七、八寸、細長い奇拔な形がよろこばれて居るやうです

〝手近〟な〝生活〟〝改善〟
合理的押入れ構成法

私達の生活の惱みは最小限の設備と器具を使つて、最大限の能率をあげるやうに心掛ければなりません。主婦の工夫と考察ひとつで狹い部屋も廣く使へたり、細いものゝ整理の仕方によつて仕事の時間と勞力を節約することが出來るものです、例へば押入れの使ひ方などでも雜物の整理や空間の利用などに趣味をもつて工夫してみると豫想以上の好結果が得られます、次に示す圖は押入に對する考察の一例です

◇…普通の押入は六尺の高さを上下二段に分けてゐますが、夜具類は上段に置いた方が朝夕の出し入れが樂です、行李やトランクは自然下段になりますがA圖のイロハニの空間を利用するために、B圖に示すやうに抽斗を入れ込みます

◇…C圖はその抽斗ですが抽斗の中を、また下着類、靴下、ハンカチ等と區分して置きますと、よく整理されて豫想以上に澤山はいります、更に抽斗に名票を貼つて置くと家人の持物を分類するのに好都合です、轉宅しても大抵の押入には這入るやうにす法を考へて置くと不經濟にはなりません

◇…抽斗の上板は重い行李をのせてもさがらぬやうに分厚くして置くことゝ、抽斗と抽斗の間のさゝへをしつかりして置くことが大切です、また抽斗の引手は金具をつけずに指の入るやうに穴をあけて置く方が便利です、費用は一個五圓位のものです。（彌生高女今西ツネノ先生）

モダン・ボール・ルーム ダンス教授時間

○女子 午前九時＝午後三時
○男子＝午後三時＝午後十時
春期初心者募集致します
○場所 大黑町廿七（電氣遊園裏）
M・A・T・D サトウ舞研 佐藤和子

春・美味求眞
これから旬に向ふ 滿洲の河魚と海魚（三）
S・M生

海魚は支那人間の諺に先偏後雁といふが、全くその通りである、これは偏口魚先づ至り、雁魚これに次ぐの義で、偏口魚とは背青く腹白く、稜扁くして薄く、水中を遊行す、さあつてひらめのことであり、雁魚とは一名を覇魚ともいつていい、さはらを指したものである。

……◇……

朝鮮や滿洲の沿海に産するひらめはていうぜんびらめといつて、かれいとをごつちやにしてゐるやうであるが、一、二の例外を除けて、ひらめは眼が右の片面に寄つてゐて、口が割合に大形であるのに反してかれいは眼が左の片面に寄つてゐて口は少く、概れ小形である、鮮滿産にはしまがれい、ほしがれい、いしがれい、まこがれいなどの別があるが、前のていいんひらめに比べれば、煮付にしても刺身にしても幾らか旨いやうで、七、八寸のところをフライにしたものはちよつと食べられる

むやうだ、とは少々酷いかも知れないが、我が東北産のものと同樣に大味で、正直なところ餘り旨くない、多くの人はひらめとかれいとをごつちやにしてゐるやうであるが、

……◇……

さはらにはひら、さはら、いなさ、さはら、いなさなどの別種もあるが、いづれも煮付か照燒と相場が極つてゐるやうである、しかし自分が元山の漁業組にゐた時分に、餘り仰山に取れるので始末に困つて、煉瓦を燒くやうな大形のテンピを作り、その中に入れて蒸燒にして見たことがあつたが、誰に食はしてもこれは素晴といふ評判であつた、テンピを用意の家庭で試みられたらよからうと思ふ、但し火加減が肝腎なことである、時をおいては旨くない、さはらのやうな深海に棲む魚が、二十尋內の淺海へ寄つて來るのは、暖流——全□□□□□から潮海灣にかけては黃海暖流——の膨脹期に入つた證據で、やがて八十八夜前後（五月初旬）ともなれば、たひ、ひら、ぐち、いしもち、かながしら、えび、めばるなどいふ大方の鱗族は、次から次へと旬に向ふのである。

……◇……

內地ではたひは魚の代名詞見たいに持囃されてゐるが、朝鮮人や支那人は肉粗にして味短、とあつて餘り賞美しない、瀨戶內海のたひの味を知つたもの、口には、鮮滿産は大分落ちる、たひにはまだひ、くろだひ、きだひ一名はなだひなどいろいろあるが、そのいづれを用ひるにしても、いよいよ料理に取掛る前には、よく水洗ひをすることを必ずしも忘れてはならない、但し刺身に作るには、大根を輪切にしたもので好く鱗をこそげ取ることが肝腎で、さうすれば身がくづれない、水洗ひが濟んだら、水一升に鹽三匙の割に立鹽を作つて、そのうちに水洗ひをしたたひの身を、凡そ二十分くらゐ漬けて取付ら、三十分ばかり置いてきれいに水氣を拭き取る、それから三枚におろすのが定法で、料理に取掛るには是非共これは大切で、さもなければ身がくづれて折角の苦心も形なしになるおそれがある、

……◇……

序に一つ、うしほ吸物の仕立を御紹介する——たひのかしらを適宜に切り、鹽を少しふりかけ、十五分か二十分くらゐ置いた後、水で洗ひ、鍋に湯をよくたぎらして先づ昆布を敷き、暫く立つて前のかしらを入れ、好く煮たところで昆布と泡とを取り去り、これに酒極少量と醬油五、六滴をおとし、適當に味をつける、さうして木の芽なり針生薑なりをあしらつて出すこのうしほ吸物には何も入れぬのが本式であるが、家庭ではめうが竹なり春菊なり、場合によつてゝ生菜を入れても惡くはない。

いひらは關東の人には餘り知られてゐない魚で、關西でも左して賞美するといふほどではないが、朝鮮人や支那人の間には上魚として珍重せられ、殊に揚子江などではほんの一週間か十日くらゐの間海から入つて來るところを捕へて市に上すので値も相當に高い、小骨が多い難はあるけれども、脂も可成增つてゐて、決して不味い方ではなく、煮付、鹽燒にしても惡くはないが、空揚の程度に煎り付けたのが一番いゝやうである（未完）

大連 JQAK　三月二十七日

▲午前六時卅分 ラヂオ體操第二
▲午前七時 ラヂオ體操第一、各地溫度通報
▲午前十一時 相場（錢鈔、特產株式、各地相場、公設市場値段）
▲正午 時報
▲午後零時五分 相場（錢鈔、特產、株式、各地相場）ニュース
▲午後三時三十分 相場（錢鈔、特產、株式、各地相場）ニュース
▲午後六時 ニュース、職業紹介事項
▲午後六時三十分（東京より）講演「聯盟脫退一週年」松岡洋右
▲午後七時（大阪より）「詩の朗讀」三木露風詩集より（一）海と（二）推移（三）春（四）月と蛛蛛と（五）祭、朗讀荻野綾子、伴奏大阪放送交響樂團、作曲、指揮菅原明朗
▲午後七時三十分 管絃樂（新交響樂團練習所より中繼）交響曲「變ホ長調」（モーツアルト作曲）第一樂章アダヂオ及アレグロ、第二樂章アンダンテ、第三樂章メヌエット、第四樂章アレグロ、日本放送交響樂團、指揮ニコライ・シフエルブラット
▲午後八時 長唄「雛鶴三番叟」唄松永和風、唄松永和十郎、唄松永和五郎、三、線杵屋五三郎三、線杵屋勝東次、三、線松永和桃次、笛梅屋竹次、小鼓梅屋勘兵衛、小鼓梅屋勝吉、小鼓梅屋福佐久、大鼓梅屋正兵衛、太鼓梅屋金太郎
▲午後八時三十分 時報、ニュース、氣象通報

日本棋院秋季大手合戰譜（第十五回）
先相先番 初段 鈴木憲章
二段 宮下秀洋

—【7】—

●二二一ワ 五 ○一二二テ 四
●二二三カ 五 ○一二四チ 六
●二五ヨ 七 ○一二六ヘ 三
●一二七ホ 三 ○一二八ヘ 五
●一二九ヘ 四 ○一三〇レ 九
●一三一ル 七 ○一三二ワ 七
●一三三タ 九 ○一三四タ 八
●一三五ヨ 八 ○一三六ワ 九
●一三七ヨ 九 ○一三八リ 二
●一三九チ 二 ○一四〇ソ 十
黑百二十五は次に（レ七）とツ

對局者のことば
所要時間累計（白五時五十一分　黑三時十五分）（制限時間各六時間）

白 百二十六、百二十八はキカシキアタル手をネラつて斷くコスミました
黑 百三十一は、いくらか（ヌ九）のキリをネラひつゝ、左方の黑のおさまり工合に調子をつけたのですが——
白 黑から百三十一とアホられ次いで百三十三、百三十五とこゝを封鎖されてはどうも白が惡いのでせう
黑 しかし白も地がありますからナカ〳〵油斷はできません

戰の跡

◇黑百二十一以下百二十五まで必然の運びであらう
◇白百二十六のキカシは宜しい後に百三十八と出た時には百二十六があるといくらか味がある
◇黑百三十一とケイマに打ち、次いで百三十三、百三十五とオサヘた手はきびしかつた、さすがに若い人達は氣合がいゝ
◇白百三十六はやむを得ないのであらうが黑百三十七と粘がしたのは、つらい所である
◇白百四十までの結果黑は目的を達したわけで、白はかなりウスクなつて來た、棋はいよ〳〵最後の勝負どころらしい、黑果して如何に白のウスミを突くか—

本社特選 新棋戰（其五）

平手 先六段△寺田梅吉
六段▲平野信助
【圖は四二銀迄の局面】
寺田氏持駒角歩歩歩

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	桂		金		王		桂	香	一
	飛				銀	金			二
步		步	步	步	步		步	步	三
					步	銀			四
						桂			五
		步		步	步	銀	飛		六
步	步		步			步		步	七
		金		金					八
香	桂	銀	玉						九

平野氏持駒步

△三三步　▲同柱
△同桂成　▲同銀上
△四五桂　▲一八馬
△三三桂不成　▲同金
△三九飛　▲一七馬
累計五十六手

土居八段講評 寺田君は愚圖々々してゐられないので、三三步と打ち込み極力攻勢を執つた此の時平野君は、敵は兵力が薄いから防ぎ切つて指し切り模樣にする方針の下に同桂以下馬を利用して飛車を壓迫したのは安全な手段である。

萩原七段解說 寺田氏の三三步は、敵に三五步打の順を與へては指し切りとなるので、三三步と攻勢を持續したのである、平野氏の同桂は、二三金で三二角、五二玉、二一角成、同金、三二步と成られて面白くないので同桂と取つたのである、寺田氏の四五桂は、敵陣を亂す意味で、此處で攻擊をゆるめては駒損となり、指し切りで問題にならない、平野氏の一八馬は、二四銀と指す順もあるが先手を取る意味で一八馬と引いたのである、次の一七馬は敵飛を攻めて詰め込まんとするのである

射れたのも判らず 無我夢中の猛格闘

二人組兇賊を斃した鞍山の兩巡査 病院で回想して語る

傷ついた兩警官 (上)大順成糸房(下)向つて左中村巡査、同右安田巡査

【鞍山】過日の鐵西附屬地滿人豪商方における二人組拳銃強盜逮捕に當り、勇猛果敢—亂射する賊彈に身には重傷を負ひながらも挺身賊に組みつき必死の大格闘により遂に賊二名を其の場に射殺して店主以下十數名の生命を救ひ且は強奪されんとした現金二千餘圓と六百餘圓の物品を無事奪還して見事わが警察官の職責を全うした鞍山警察署の兩巡査、原籍鳥取縣西伯郡中濱町小篠津當時同署西六番町派出所詰督巡査安田靜夫(三四)並に同靜岡縣引佐郡氣賀町本署司法係巡査中村務(二七)の兩氏は當夜の激戰に於てともに左上膊部から後肩へと賊彈の貫通銃創を受けたが、幸ひ急所を外れ一命を取止めたので爾來滿鐵病院の一室に兩雄枕を並べて心靜かに名譽の負傷を療養中であるが、面會を危みながらも記者は二十五日その病床を訪れたところ根が元氣の剛の者だ、聊か安心した記者が恐る〳〵當時の實問を發すると兩雄は寢ながらも拳を握りさゝか歪め身の重傷をも打忘れて左の如く交々激戰當夜の模樣を語つた

安田 さうです二十日午後六時半頃でした、密行に出てゐた董巡捕が市場附近で二名組の怪しい奴を發見したので尾行したところ吳服と錢莊をやつてゐる當内の豪商大順成方に入込んだがてつきり強盜に相違ないとの報告だ、スワさいふので私は同僚富士森君に本署との連絡を頼み董を道案内に巡捕二名を伴つて早速現場に乘り込み裏表に巡捕を自分は裏戸口に張り込んで内部の物音に注意しつゝ拳銃を携へて今か〳〵と賊等が出て來るのを待つてゐた、室内は靜寂ですさては愈々やつてゐるな、それにしてもこちらは一人賊は二人だらうからヘマをやれば取逃がすが早く應援隊が來てくれゝば――とその時です、直ぐ鼻先の扉が開いた同時に二、三人の人影が出て來た、こゝだとすぐ第一彈を見舞はうとしたところ私は店員、後だ〳〵といふのでしまつたと思ひ銃先を向け直したがその隙もあらせず店員二名の直後から狙ひを定めてゐた賊が一瞬早くもパンと私の肩先を射拔いた――と間髮を入れず私も第一彈を報いて先づ先頭の賊一人を斃したのでした、こゝまではつきり記憶してゐるが後はまるで夢中でしたね、その證據には中村君はこの時早くも私のそばに來て合圖をしたといふがそれも覺えてゐず、次の瞬間には既に中村君は屋内に飛び込んでも一人の賊と組打ちしてゐるんだ、これはと思つて自分もすぐ飛び込んで上になり下になり格闘してゐた中村君に應援したのですが何しろ左の腕が役に立たぬのでね(と口惜しさうに中村氏へ)

中村 さう僕が安田さんに來たよと手を上げて合圖した瞬間だ、中から出て來たので相手(店員)の腰を探らうと手をやつた時だボン〳〵と射ち合つたので直ぐ僕は内部へ飛び込んで今一人の賊に組みつき先づ拳銃を叩き落し格闘を始めたが死物狂ひとは云へ却々賊も強くそれに僕の拳銃を奪ふとかゝつてくるのでこれを取らせまいと苦心し一生懸命で上になり下になり二間ばかりも土間をゴロ〳〵轉げ廻つた、こんなところを何時射たれたのかそれも氣付かぬ格闘中やられたのに違ひないが當の相手ではなく恐らく初め安田さんに一發喰つた賊が逃げ出しぎはに放つたのではないかと思つてゐる(安田氏僕もさうではないかと思つてゐる)何しろこちも頑強な奴で安田さんが一號モーゼルで前額部を數回イヤといふ程打叩くとドク〳〵血が流出してゐたが一向にひるまず益々猛り狂ふといふ有樣だ、それで早く足を射つて〳〵と安田さんに頼むのだがどうしたのか一向射つてくれぬ後で聞けばもう射盡して裝塡彈がないといふわけであんなにもどかしかつたことはない

安田 射て〳〵といふから射つてやつたのだが……とするが左手が効かぬので足でやつたりしたがとても駄目だ糞殴り殺してやれと思つて毆りにかゝつたが何しろ猛烈な格闘なのでうつかりすると中村君の頭を毆りさうだしその内賊が拳銃を拾ひさうになつたもんだから僕も上から賊に抱きついたのだがこの時左手を無理したものだからヒビが入つてゐた上膊骨がグッと音をたてゝ折れてしまつた、さうしてゐる中に富士森君が馳せつけて小鼻の急所を射貫いたもんだから到頭奴參り上つた

中村 後で話すと可成り長い格闘の樣だが實はほんの十二、三分間のことで帳場の電話で本署と連絡してゐた富士森君などが直ぐ駈けつけてくれたのだつたがそんなわけで安田さんも僕も手負になつて戰つてゐたといふので自分が後れたので應援の君に負傷させて濟まなかつたと泣いてくれてゐたが全く一寸の間だつたから連絡員としてはどうすることも出來なかつただらう

かくて安田巡査と相打ちした最初の賊は同巡査に同樣左肩を射たれたが安心して兩巡査が他の賊にかゝつてゐた際隙を見て脫兎の如く裏口から逃走横手の塀を乘り越えんとしたが便所内に見張つてゐた巡捕に見事橫腹を貫通され塀下に落ち卽死してゐた、なほ中村巡査は幸ひ骨にかゝつてゐないので快癒も早いらしいが安田巡査は骨折してゐるため全治も長引くらしい又病室には署員を初め在鄉軍人分會その他からの手厚い見舞が寄せられてゐるが二十五日午前中鞍中四年生某君は本紙の報道で知つたからとて兩巡査の奮闘を感謝し平癒を祈る意味の書面を添へ林檎一籠を贈り姓名も告げず立去つた由で兩巡査を感泣させてゐた

兇賊の身元 高橋氏射殺犯人

兇暴な匪賊團の一味

【鞍山】別項の如く鞍山署員二人にまでも重傷を負はせ淺春の鐵都を驚かせた鐵西附屬地北六番町滿人吳服商大順成事蕭郁文方の強盜犯人の身元及び連類系統等については兩名とも射殺されたので調査に手間がとれたがその後同署司法係において鋭意調査中のところ二十五日漸く判明した 卽ちそれによると右は本籍海城縣騰鰲堡當時住所不定賊名常江好事劉春芳(二六)及び本籍遼陽縣第八區左象溝賊名五洋事左某文(不詳)の兩名で彼等は昨年五月二十四日八卦溝平康里に登樓中の昭和製鋼所弓張嶺採礦所守衛高橋勝利及同桐澤澤次郎を人質として拉去逃げ後れた高橋氏を二十六日朝旭山南方大孤山運行線附近の電柱に縛りつけて射殺し又越えて六月十九日鐵西遼鞍農商聯合會長高如九氏方を六人組にて襲擊したる等昨春來附屬地を專門に荒し廻つてゐた狂暴なる匪賊團の一味にて何れも嘗ては大匪首海寬或は三勝の副頭目格の配下として巾をきかしてゐたもので附屬地警戒網の突破を誇にしてゐたる由高如九襲擊當時鞍山署に逮捕された副頭目滿天飛の自供に依る記錄で判明したが 今回も恐らく附屬地何程の事あらんと大膽にも派出所近くの滿商を襲つたものらしいが惡運の盡きて遂に勇敢なる鞍山署員の活動により射殺さるゝに至つたものである

ヌクテと大格闘

通行中の三人に咬みつく 凱歌は遂に人間へ

【清津】清津と羅南間の康德驛附近に廿三日夕刻一頭の大豺狼(ヌクテ)現れ折柄同所を通行中の黃姓女(五〇)といふお婆さんに咬み付きて重傷を負はせ更にその附近の尹正俊(五〇)といふ男が自宅から用事の爲め一歩戶外に踏み出したその足に咬み付き血だらけの口を大きく開き恰も耕作から歸つて來た同村の金有協(三〇)といふ男に飛び掛つて咬み付きヌクテと同人とが格闘中、畑にあつてこれを眺めた兄の金有萬が駈付け弟と格闘中の大ヌクテを棍棒にて滅多打ちに撲り付け遂に兇惡のヌクテを撲殺した

西河大尉出發

【鳳凰城】板津〇隊西河修吉大尉は今回津步兵第三十三聯隊へ榮轉、二十四日午後八時發列車で板津〇隊長初め日滿官民多數の萬歲の聲に送られて凱旋の途についた、同大尉は昭和三年連山關守備隊に着任、滿洲事變勃發當初より赫々たる武勳を輝かし殊に昭和六年十二月二十五日夜七百餘の鄧鐵梅匪鳳凰城襲擊の際の如き當地守備隊長の同大尉(當時中尉)は僅々二十四名の軍兵を以て大敵に多大の損害を與へこれを擊退勇名をとゞろかせた、その外各地に轉戰或は地方の治安維持にその功績頗る大にして市民一同は感謝と惜別の情に堪へずとなし自治會よりは記念品を贈呈した

傷病兵宛の金品を着服して酒食に費消

不埒な篤志看護員捕る

【新京】新京城内西四馬路に潛伏中であつた東京生れ元錦州衛戍病院篤志看護一號勤務清水清(三五)は城内憲兵分隊に逮捕され目下取調中だが巧に姿を晦した彼が新京で逮捕されるに至つたのは、錦州憲兵隊の手配からで、青年の彼は皇軍傷病兵の痛ましい光景に感激し、去年三月から篤志看護班を希望して勤務中、氣の毒な傷病兵の家族や親族友人等が陣中見舞として送金した小爲替十七通金額合計八十五圓を横領酒色に費消したのみでなく衣類その他の小包までも宛名の傷病兵に渡さず着服、その發覺を恐れて逃走してゐたものであるが何ほ餘罪ある見込みで引續き嚴重なる取調べを受けてゐる

死を前に控へ 進軍の號令

日下少校、佐田少尉の遺骨哀しく凱旋す

【吉林】去る一月二十八日匪賊數一千名の虎林縣城襲擊に際し勇敢にも少數を以て大軍と戰ひ身を挺して虎林縣城を兵匪の難より救つた吉林軍日系軍官、日下少校、佐田少尉の戰功卽ち當時の激戰狀況に關しては一部既報の如くであるが二十二日午後九時兩英雄の遺骨と共に來吉した石方中尉の談に依れば

二十八日の拂曉四時頃一千名の匪賊は虎林縣城を完全に包圍し其の一部は既に城內を占據して良民の掠奪、暴行に苦しむ悲鳴が明方の暗を破つて聞えて來た 此の物音に夢路を破られた兩英雄はすわ一大事と屋內の點燈を消燈し銃を片手に敵彈雨あられの如く降り來る中を僅か十數名の部下を指揮して敵陣に躍り込んだ少數をあなどつた匪團は間斷無く銃彈をあびせ兩英雄の働きは全く人間わざを離れた肉彈の如くであつた鬼神の如く劍銃を自由に續く限りの奮闘をした兩英雄も隙間なく飛來する敵彈のために身には數十箇所も貫通銃創を受け遂に力盡き刀折れて其の場に斃れた、併し斃れても微かに聞える進軍の號令、軍の士氣に拍車をかけて居た事は僞らぬ我が日本男子の大和魂として賞揚すべきである、約五時間に亘る激戰に依つて敵は遂に擊退したが救護班に助けられた兩英雄は虫の如き息の中に天皇陛下、日本帝國、滿洲國等の萬歲を唱へつゝ惜しくも滿洲帝國の樂土建設の柱石となつて土を血で固め二十六歲を一期に勇ましき最後を遂げた、絕命に際し日下少校は次の如き遺言を殘した妻には子供なき爲財產は自由に委す、百圓を公主嶺の叔父に殘つた五十圓は日系軍官に寄贈する、概略以上の如く我が日本男子の模範となつて哀れ虎林縣城の露と消えた

日下少校、佐田少尉兩英雄の遺骨は二十二日午後九時着列車にて戰友に守られ凱旋したので滿洲國警備司令部では吉興將軍主催となり二十四日午後三時より顧問處に於て盛大なる慰靈祭が擧行せられた折しも降り來る粉雪は櫻の花の散る如く武士の最後を偲ばせて立ち上る線香の煙と共に一入哀愁を閉めたこの日日滿要人各關係者大多數列席し贈られた花環も兩英雄を偲ぶ蓮華草の花に包んだ如く吉興將軍佐藤中將、上野少將各閣下の弔文朗讀は淚にしめりて兩英雄の快活な生前が思ひ出された居並ぶ人々の袖をぬらしつゝ哀愁漲る中に盛大嚴肅裡に同四時頃終了した

母を喜ばしたい一念に 娘を氣づかふばかりに

彼女はこうして滿洲に來たが 母の眞情で再び溫かい懷ろへ

【奉天】下關市生れ辻山幸子(一九)假名=は老いた母と二人暮しで幸子は此生みの母を何とかして樂に暮される樣にと念じてゐたが若い女の身で而も不景氣な內地ではとても樂に暮させて行けるだけの收入ある職がないので景氣のよい滿洲に行つて一働きして來やうとまだ見ぬ滿洲に憧れ渡滿したのは昭和七年の四月であつた 最初滿洲に來た時は會社の事務員でもしやうと考へ母親もそれに思つて愛娘を只一人旅立たせたのであるが、來て見ればスッカリあてが外れ敎養のない女の身で事務員などとても思ひもよらぬことだとあきらめた幸子は只心さへしつかりして働けば何の仕事をしても同じことだと遂に紅燈の下で媚を賣る女給となつて仕舞つた そして幸子は母親を喜ばせたいばかりに

私は會社の事務員として働くやうになりました、最初は給料は少ないので充分な仕送りは出來ませんがこれから一生懸命働く考へですどうぞ御安心下さい

と爲替を入れて送つたのであるが幸子よりの手紙を受取つた母親は狂氣のやうに喜んだのもつかの間愛娘は各所のカフエーを轉々としてゐることを聞いた母親は吃驚仰天して是非歸るやうに警察の手で說論して下さいと奉天署に說論願ひを出した しかし今直ぐと云つても旅費もなく歸ることも出來ないのでせめて旅費でも作つて歸りますと母親をなだめて幸子は旅費を得るため奉天から熱河に入り阜新その他のカフエーで女給をしてゐたが別にこれはと思ふ程の收入もないので身の安全なうちにと再び奉天に戾り彌生町の某カフエーで一生懸命働いてゐた 母親も自分の娘が女給をしてゐることを聞き居ても立つても居られず何とかして旅費を作つて送つてやらうといふ子を思ふ親心から血のにぢむやうな旅費五十圓を廿四日電報爲替で送金して來たので幸子も俄に蘇つたやうに歡喜し早速奉天を立ちますとの打電をなさせ二十五日午後二時四十分の安奉線列車で思ひ出多い奉天を後にしてなつかしい母親の許に歸つて行つた

今夏の安城バス 乘客增さん

遊覽バスをも運轉

【安東】鐵路總局の安東城子疃間バスは營業開始後日なほ淺く一般滿人にその特長が徹底しないので料金の安い民間バスに押されて乘客は未だ多くないが民間バスのうち交通自動車は三月二十二日で營業期間滿了したので運轉を停止し殘りの周道汽車公司は四月十日で振融汽車公司は五月二十五日でそれ〴〵營業特許期間が滿了しそれ以後の營業繼續は認可しないことになつてゐるから五月末以後は城安線は完全なる總局バスの獨占路線となるので乘客が激增するものと豫想されてゐる

安東大連間鐵道距離(蘇家屯乘替)は六四一粁二で城安線に依る安東大連間(金福鐵路を含む)は三四九粁一であるが所要時間は鐵道は本線經由十二時三十分、安奉線に連絡すれば十三時三十分乃至十四時間五十分なるに對し城安バスに依れば金福線を含んで大連まで十四時三十五分で行ける時間においては大差はない、しかし料金は安東大連間二等賃金十八圓より安く約十五圓四十錢であるので今後直通客も增加するであらうと觀られてゐる

なほ安東自動車事務所ではこの夏三道浪頭や大孤山あたりまで遊覽バスを運轉し釣やピクニックの客を運ばうと計畫してゐる

西第二次凱旋部隊 竹村部隊出發

【錦州】承德を中心として降化、六溝一帶の警備についてゐた竹村部隊の主力は西第二次凱旋部隊の先發として二十四日午後十一時四十分錦州着、車中小憩の後二十五日午前二時撫順の奉山路を奉天に向け出發した、輸送指揮官杉山少佐は出迎への記者に語る

夜中にも拘らずお出迎へ感謝に堪へない、本部隊は熱河聖戰以來ズウッと戰鬪に參加し河北作戰には灤東で進擊した、灤東の激戰は本部隊が主力となつて行はれたがその灤東を占領した時丁度停戰協定となつたので引き返した、この間百五十名內外の死傷者を出したがいま凱旋に當り感慨無量である、今回も二名の病兵を承德成病院に殘して來た、併し兵一般は凱旋の欣びに緊張して頗る元氣旺盛である

なほ右部隊は奉天において中村新〇團長を迎へ二十五日夜同地を出發、一路凱旋の途についた

伊田部隊長

【錦州】錦州伊田部隊長は澤村高級副官同帶同し二十五日午後一時十分發列車で山海關に至り同地を始めとして新警備區域內の初巡視を行ふと

根本中佐過錦

【錦州】北支那駐屯軍司令部より陸軍省新聞班長に榮轉した根本中佐は二十三日午後三時五分錦驛發列車で通過、赴任した

死兒遺棄 運搬を斷られ

【旅順】無智な慣習とは云へこれは又無慘な母親もあつたものである=旅順管內山頭會山虎屯居住王富貴の妻王宋氏は昨年十月分娩した長男長壽(二)を抱き去る十七日里方である大連管內西山會西北句子に赴き滯在中長壽がどうやら病氣らしいので急遽馬車を雇ひ歸宅の途中黑石礁附近で死亡してしまつたところが馬夫は死體を抱へて乘車する事は嫌だといひ出したので王宋氏はその死體を附近の山林中に遺棄し何喰はぬ顏して歸宅してゐたことが發覺、遂に檢擧の上二十四日法院へ送られた

教育資金を普く募集

【旅順】元關東廳警務課長兼警察官練習所長として令名のあつた故內田傳藏氏は曾て旅順警察署長として生來の資性溫厚內外の信望よく因緣淺からざるものがあつたが客年四月岡山縣學務部長在職中遂に長逝した、然るに令閨は五人の幼兒を擁し前途の艱難想像するに餘りあるので今回青木署長音頭となり遺兒教育資金募集の企を爲し廣く部內は勿論地方知友の情に俟たんことを希望する事となつたに同意の向は本署警務係に於て扱ひたる由

鹽務打合會議

營口鹽務署にては鹽務事務打合のため各鹽場長並私局長等を召集して協議し二十四日會議終了して各任地に歸つた

遼陽片々

▲大連星野劍道教士が所用の爲二十四日朝來遼したので同日午後五時から滿鐵道場において警察部員及び警察署員の有志と稽古をなし同夜北行した

▲滿鐵日語學校では二十六日午前十時から卒業式を擧行する

各地

皇帝に祝意表しに三蒙古王來る

滿洲國獨立に最大の關心　來連、文化設備見學か

【錦州特電二十六日發】察哈爾及び錫林郭爾代表三名は盛島林西特務機關長介添で滿洲國皇帝に祝賀の意を表するため赴京の途二十五日午後八時四分着列車で秋山、桑原兩部隊長、馮縣長始め日滿兩國官民多數の出迎へを受けて來錦し蛾内職務會に一泊の後二十六日午前十一時四十五分發列車で出發した、盛島特務機關長は語る

代表三名とも蒙古王で滿洲國外であるが清朝三百年來の恩義に感じて溥儀執政の登極を心から喜び祝賀の意を表するため遥々やつて來た譯である、この間何等政治的の意味はない、しかし彼等は滿洲國の獨立に非常な關心をもち王道樂土を衷心から慕つてゐる、注目すべきは最近外蒙が殆んど獨立の狀態であり、新疆には赤露の魔手が動き西藏には英國の勢力が延びて來た、そうした邊境の情勢に刺戟され昨年八月來自治運動を起し、南京政府に代表を送り種々折衝して來たが昨今はそればかりで滿足せず獨立運動にまで漕ぎつけて來たことである、同地方の將來を背負つて起つといふやうな中堅インテリ階級にはかうした運動が熱心に叫ばれてゐる、時勢とはいへ蒙古を認識せんとするものゝ見逃してはならない問題であらう、蒙古人は概して漢民族に好意をもたないが滿洲旗人や日本人には相當親しみをもつてゐる、殊に日本人には敬意を表してゐる模樣である、成吉思汗の血がまだ脈々と流れてゐて慓悍な性質がちよつと日本人に似てゐるところがある、そうした性質が一脈相通ずるところがあるからである、一行は新京に祝意を表した後場合によつては大連に赴き文化施設を見學する豫定である

故障は出ようが支那を說得する

山本博士　豫想を語る

【マニラ二十五日發國通】滿洲國選手の極東大會參加問題につき支那側說得のため上海に赴く山本忠興博士は愈々來る二十八日マニラを出發一路上海に直航することに決定した、一方比島側からも體育協會執行委員のブエナン・アミノ博士及びアルセニオ・ルズ氏が代表として上海に赴くことになつたが出發の日取りは未定である、支那側との折衝は右比島代表の上海到着を待つて直に開始する段取りである、出發を前に山本博士は滿洲國參加實現に充分成算ある面持ちで左の如く語つた

余は本日日本體育協會宛に滿洲國の參加實現に確信ある旨を打電した、上海會議では恐らく支那側から種々の故障が出るだらうが、余は飽くまで滿洲國の全種目參加を强調する積りだ必ず支那側を納得させて當方の主張を貫徹させて御覽に入れる尚都合によつては日支比三國體協の連名で滿洲國の參加は何等政治的な意味を持つものではない旨を明かにした聲明書を出す事になるかもしれぬ

飯塚少將　慰靈祭　二十八日擧行

【ハルビン特電二十六日發】依蘭縣下に於て名譽の戰死を遂げた飯塚少將、北川少佐以下四十七勇士の遺骨は二十六日午後三時橫山部隊に保護されハルビンの原隊に着した、二十八日午後同所に於て慰靈祭を行ふ

國務院新廳舍

康德二年十二月竣工の豫定である國務院新廳舍は總延坪一萬八千平方米、兩翼三階、中央四階建、中央最高部の高さ四十二米、鐵筋コンクリート、カーテンオール造りで近代色に滿洲色を加味した莊嚴にして瀟洒な建物である、工費二百萬圓を以て今春解氷を待つて早々着手される筈（寫眞は出來上つた模型）

眞宗婦人會の活動

大連東本願寺眞宗婦人會では函館市大火の義捐金募集のため市內十ケ所の人出の盛んな街頭に立ち道行く人に呼びかけてゐる二十六日の大連の玄關埠頭待合所は午前中三艘の出船、入船で早朝より人で埋まつたが、うすら寒い港の風を背に受けながら待合所入口に立つた同婦人會の人々幼い子供も加つて人の情の集まるうれしい風景を一寸スナップ（寫眞は街頭の募集）

防疫陣を脅かす恐しい病魔跳梁

まだ熄まぬ腦脊髓、天然痘　近く春季種痘開始

傳染病のうちコレラに亞いで恐れられてゐる流行性腦脊髓膜炎が昨今大連市內に續出し防疫陣をおびやかしてゐる、目下療病院に收容中の患者は

市內大和町二六清田實（五〇）▲但馬町三四店員田中良治（一八）▲信濃町一五三店員小西義孝（二三）▲櫻花臺三八滿鐵社員家族嶋島てる子（一一）

の四名であるが、傳播力猛烈を極め大連署衞生係では極力防疫に努めてゐる、同病は未だ病原體が發見されず從つて豫防方法もなく、罹病すれば死亡か腦脊髓を犯されて廢人となる最も恐ろしい病氣である、なほ天然痘は依然として猖勢衰へず本月二十日以來日本人新患者十四名、滿人十名の多數を出してゐる、防疫當局では底知れず蔓延してゆく天然痘の魔手にはほと／＼手を燒いた形である、近く春季種痘を開始する豫定で準備を進めてゐる、本月二十日から二十六日迄の日本人新患者は左の如し

市內西通一〇〇紙商小幡輝雄（三七）▲秀月臺一七無職川原喜藏（三〇）▲若狹町三石渡二和子（三〇）▲西通九六北村ノブ（三三）▲伊勢町八六金物商瀧木福次郎（三七）▲近江町三五寶石商木原虎之輔（三四）▲壹岐町一巡査日置政一（三二）▲伊勢町九森田久夫（二五）▲西通九四三浦喜藏（五〇）▲逢坂町五〇鶴田辨次郎（三八）▲西公園町三五菊地清雄（二八）▲西通八六森下己之助（四六）▲松林町三土木業岡野藤助（三〇）▲久方町七西牟安彥（三九）

なほ今夏は傳染病流行率は相當高められるものと見られ、シーズンを控へて各衞生機關の聯合防疫協議會開催の議が起つてゐる

寛城子の露罹災民寄附

【新京特電廿六日發】寛城子避難民協會ハルビン分會長レオニード・シマコフ、同秘書ミハイロ・シバオフの兩氏は廿六日午後二時寛城子憲兵分駐所に山本分駐所長を訪問し、函館大火の罹災民救濟資金の一部に是非受納されるやう手續方を執つて戴きたいと金二百圓及び領事宛に左の熱意溢れる同情の書面を屆けるところあつた

大日本皇帝陛下並に陛下の赤子と共に今般函館市民の罹災に對し滿腔の同情を表明す

寛城子避難民協會ハルビン分會
日本帝國領事閣下

收入の全部を函館罹災民へ

【ハルビン二十六日發國通】白系露人を中心とするロシア人及び外國人指導委員會並びに「ロシアの家」その他の機關は來る四月七日よりの復活祭を契機として講演、活動寫眞、舞踊會、ハルビンの男女名優を網羅する演劇を催し右收入はロシアの子供より日本の子供への名義で函館罹災民に贈ることゝなつた

函館大火の外人罹災者

【東京二十六日發國通】二十六日佐上北海道長官より外務省に到着せる報告によれば今回の函館大火災による在住外國人の罹災者左の如し

ソウエートロシア人　五名
白系ロシア人　九名
英國人　一名
ドイツ人　二名
中華民國人　七十名
但し死傷者なし

南滿商科學院募生

詳細規則書は敷島町同學院へ

民族主義團體策動

【營口二十六日發國通】當地某機關への情報に依れば東邊道一帶より吉林山間地帶及び間島露滿國境附近に散在する朝鮮民族主義團體は事變以來根據地を失ひ三々五々點々としてゐたが上海、東邊道の中國共產黨と連繫なり種々策動を續けてゐると

巷に花壇を設け清麗春の裝ひ

旅順　市街の綠化計畫

旅順の綠化本年の試みとして關東廳土木課では步道の綠化を圖ることゝなり、旅順市高崎町角から關東廳前を經て明治町に至る約一キロ間の兩側五間幅の步道中央に幅五尺、長さ五尺、乃至十五尺見當の花壇を點々と作り徒步者の目を樂しませるはずで、近々工事に着手遲くも五月初旬までには完成させる意氣込みでゐるが

×……×

同花壇の周圍は高さ一尺程の「コノテガシワ」幼の樹を以つて圍ひ、その中には「オヒヤウモモ」「レンゲウ」「ライラック」「モクゲ」「ニハザクラ」「マユミ」「マンシウアンズ」「ニシキギ」「ミヅアヤメ」「ユスラウメ」等滿洲特有の花を植え込むことゝなつてゐるなほ同課ではこの成績を見て更に來年は旅順市內主要道路の步道をこの例にならひ綠化することゝである

×……×

また同課では先年菊花栽培を中止した經費の一部分を以つて旅順市內の空地を利用して增植を圖つた「マンシウアンズ」は二十萬本に達し、その移植も可能となつたのでこれ等を大連、旅順始め各地の公共團體に分配移植せしめて州內の綠化を圖ることゝなり、目下分配先の選擇中であるが今年の花時までには各地で花見客に嘸の裝ひをこらして御目見得するとにならう更に旅順市內の各所の空地を利用して本年は百二十萬本位の種を蒔くことゝなつてゐる

部屋も貸別莊もみな契約濟み

好況の星ケ浦ヤマトホテル

また大連には雪が降るといふ季節であるのに星ケ浦のヤマトホテルの貸別莊は既に夏のお客さんで豫約滿員となつてこれからの申込に應じられないといふ破天荒な景氣の好いニュースがある、そしてその豫約申込は過半數が南北在住の歐米人で、今夏それらの避暑客が大連に落す金も相當莫大な額に上らうといふので星ケ浦ヤマトホテル小幕副支配人は鼻高々であるが、同ホテルではこの好況は今後のサービス充實によつて充分繼續出來るといふので十年度には是非ホテルの擴張をしてほしいと旅館事務所に豫算を申出た程で、滿鐵としても儲かる仕事であり收入も鰻上りに上昇してゐるのでおそらくこの要求も實現するのではないかと見られてゐる

現在ヤマトホテルの星ケ浦の貸別莊は四十七軒そのうち十七軒は長期契約者で殘る三十四軒が夏の浴客に提供せられるのであるが、昨年末のクリスマスが過ぎたころからポツ／＼と豫約の申込みがあり、現在では全部が六、七、八、九の四ケ月豫約滿員といふ盛況でホテルの各室の豫約申込も現在では七月十五日から八月廿日まで滿員で、唯斷り切れない事情の臨時客のため三室を豫約外に取つてゐるが、勿論これは今後も絶對に長期豫約が出來ないことになつてゐる

中橋德五郎翁　二十五日逝去

【東京二十五日發國通】元內務大臣政友會長老中橋德五郎翁は一昨年五月來動脈硬化症の爲め麴町中六番町の自邸で加療中の處、二十一日夜病狀惡化し二十五日午後四時遂に逝去した、享年七十四

廿九日葬儀

【東京特電二十六日發】政友會の長老中橋德五郎氏の葬儀は二十九日午後一時青山齋場で鈴木總裁が葬儀委員長、南逓相と堀大阪商船社長が副委員長で行はれる、中橋氏が大阪商船社長としての功勞はいふまでもないが政界に入つてからは床次氏と政友會總裁候補をもつて目ぜられ黨內に勢力を築いたが晩年健康を損つてから振はなくなつた、原內閣の文相として勝れた手腕をふるひ高等教育機關を一時に增設したことは今もなほ語草の的となつてゐる、恰も議會最後の日に逝去して多年の政敵永井拓相の雄辯で追悼演說したことはせめてものことであつた（寫眞は中橋翁）

滿鐵旅客列車のダイヤ改正

鮮鐵と合同會議開く

滿鐵々道部が本年十月一日から行ふ滿鐵線全旅客列車の時刻改正は鐵路總局線とは勿論朝鮮鐵道との連絡關係も極めて複雜となるため昨年十月に入ると共に鐵道部案の作成に着手し最近漸く鐵道部案の完成を見た、鮮鐵局側も局案の作成を終つて二十五日滿鐵に對しこれの諒解を求めて來た

而して局案のダイヤによれば主要改正點は現在の特急「ひかり」をスピードアップして更に滿鐵の協力をも要望、同線經由東京新京間の所要時間を現在より下り九時間上り八時間三十分の短縮をなすことゝ、現在の釜山新義州間の急行を新京まで延長するの二點にあるが、これの實施は滿鐵本線との連絡および安東驛の發着等について多少の困難を伴ふため滿鐵では更に朝鮮側とも打合せの要があり

この際關係各鐵道と一堂に會して根本方針決定の要があるので結局朝鮮の申出もあり四月上旬京城において滿鐵鐵道部、鐵路總局、朝鮮鐵道局、鐵道省の各代表參集のうへ滿洲關係各連絡列車の新ダイヤ決定の合同會議を開く方針の下に鐵道部旅客係で準備を急いでゐる、なほ滿鐵が定例のダイヤ改正に關し內地および朝鮮側との合同會議を開くのは今回が最初であるが日滿交通關係がます／＼密接となつた今日本會議は今後毎年定期開催をなすことになる筈である

視察斡旋委員會

【新京特電二十六日發】旅行シーズンを控へて內地方面から視察の爲め來滿する向が豫想外に多からうとて、それら視察者に對し明確なる滿洲事情の紹介をなす爲に日滿各種機關を網羅してこれが實行を圓滑有効ならしめる目的のもとに生れた滿洲視察斡旋委員會の準備委員會は、二十六日午後四時よりヤマトホテルにおいて開催出席者は在京日滿各機關を網羅し慎重協議の結果

その實務は滿洲事情案內所をこれに當らしめることにし各機關を以て組織した滿洲視察斡旋委員會これを指導することゝなり委員長には丁交通部大臣、副委員長には河本滿鐵新京駐在理事及阪谷國務院總務廳次長が就任した

鐵道部々屋割

滿鐵々道部では二十六日一部部屋割の變更をなし二十六日から現事故係室は元の事故係室に移轉し、現事故係室は囑託將校室に囑託將校室は工務課建築係室に

最近滿鐵の旅客收入が豫想外の好成績をあげて一日十萬圓を突破するまでの記錄を出し三月初めに今年度は鐵道收入豫算の一億二千萬圓到達は困難と見られてゐたのがこの收入激增で樂にこれを破らうといふ狀態にまでなつた。

……◇……

この旅客收入增加はとりもなほさず苦力輸送の激增に原因するもので鐵道部では「苦力大明神樣々だ」と有難がつてゐるが、從來會社最高幹部が一、二等旅客のサービスには躍起となるが三等客となると問題視せず「滿鐵のお客さんで一番大切なのはお百姓と苦力だ」といふ同部の主張を容易に諒解さすことが出來ずこの「幹部教育」にはホト／＼困つてゐたものだ。

……◇……

そこで鐵道部では鼻高々「來年こそは苦力、イヤ三等のお客樣のサービス改善に全力を盡すよ」と力んでゐる。

南蠻彩船 (83)

鈴木氏亨作　布施長春畫

春日野の奥（六）

楓は、南の方へ南の方へと夢中で歩いてゐた。

山を越え、野を越え、森を、林を、里を、つま折笠に匂やかな華顔を包んで、どこでどう仕度したのか、旅の仕度もかろがろしく、草鞋さへ穿いて、杖にすがってゐた。

彼女は、南へ歩いて行けば、ひとりでに浪花の町に出られるものと信じてゐた。だから曉方からひたすらに路を急いでゐるのだった。

「明日になれば、亞禮奈様に會はして上げよう。それまでの辛抱ぢや」

と云ふ坤齋の慰めの言葉も、彼女の耳には、梢を吹く松風のやうに、徒らな氣休めの、空世辭としか響かなかった。

——浪花の町にゐると分ったのだもの、これから、自分ひとりで探し出さう——

思ひつめたが最後、彼女は二人が寢しづまってゐる眞夜中を、むっくり起き出して、旅の支度をしたのであった。そして、深夜の道を意にも留めず、浪花の町へ春日野の奥を出たのであった。

だが、最初は足も輕かったが、二里と過ぎ三里と經つうちに、足は火のやうに熱って來た。そして杖に縋らずには、一歩も進めなくなってゐた。

それでも、はじめは、

（あゝ、來てよかった。こんなにいゝ氣持で歩けるなら、あんな春日野の奥などに蟄居でゐないで、一日も早く大阪の町へ出て行けばよかった。これまでは餘りに賦な日がつゞいた。昨夕決心して飛び出したことは、惡いことではなかった）

とも思ったのである。

しかし、道が田甫を過ぎ、丘陵を過ぎ、堂塔伽藍の立ち並んでゐる里を過ぎて、險しい峠路にかゝった頃には、飢渇と疲勞れとで一歩も動けなくなってゐた。

悔が、麻疹のやうに、小さい心をむしばんで來た。

（やっぱり、坤齋や五右衛門の云ふことをきいて、亞禮奈様がお出でになるまで、待って居ればよかった。なんだってひとりでやって來たのだ。……今更歸れはしない。あゝ、どうしたものだらう、もう歩くたび足が針でさゝれる様だ）

初冬の日は、明けるに遅く、暮るゝに早い。

如何に夜明前から春日野の奥を出たからと云っても、女の足では大和路ははかどりはしない。

楓は、樹の間の暗い陰影を認めて、暮れ近い日足を知ったが、今更、どうすることも出來なかった。

彼女は、路傍の黄ばんだ枯葉の上に屈んで、細腰を下したまゝ、疲勞と飢餓で、ぐったりした軀を休めてゐた。

（こんな時、誰れかゐてくれたら、淋路でも幾夜でも、側にゐてくれたら、どんなに心強いだらう——あゝ、今宵はこゝで、狼の餌食になるのだらうか、想へば心細い。どうしてこんなとになったらう）

涙が、止め度もなく楓の頬を傳うた。

峠路は、誰一人通るものもない。

いま、彼女は、色濃い紫暗色の暗で、包まれて行くのだった。

婦人公論（四月號）

四月號は「新結婚相談」號、表紙はいつもの堂本印象氏、大物としては先づ「尼僧懺悔」「愛と死より蘇りて」「一老詩人夜雨に仕へて十八年」（平田禿木）小島政二郎氏の「春色「源氏物語」」「結婚生理問答」（安田徳太郎博士）は前篇（結婚前）後編（結婚後）これは「新結婚相談號」としての今月號の特輯として座談會「讀者の相談する新婚相談の會」（出席者鶴見祐輔、片山哲、安田徳太郎、山田わか、三輪田繁子、河崎ナツの諸氏）と共に光ってゐる、第一附錄「愛の學校」更に附錄「月並調を報告上告漫畫」では麥池寛、サトウハチロー、室月圭介、水谷八重子、草笛美子の諸氏の生活を面白く紹介してある、なほ「私の作った夏の新簡單服」を懸賞募集してゐる

婦人倶樂部（四月號）

「愛妻家愛夫家の家庭圓滿秘訣座談會」「古ワイシャツ利用の小物義務九種の作り方」「百圓の元手で出來る簡易金融法」「手輕で子供もよぶお辨當のおかず十五種」「肺病肋膜炎を自宅で根治した經驗談」「妊娠から分娩まで安産法百問答」「避妊法を誤って一命を危くした實例」「一流美容師が實行してゐる効果確實な美容秘訣」「女を美しく見せる化粧方法の研究會」

講談倶樂部（四月號）

「名樂詞、名場面芝居大畫報」「春の漫畫祭」「求婚競爭」「剣吉二人侍」「元祿ㇾ萍」「日蔭金五郎」落語では「ゝ樂、ゝ樂、可樂など、牧逸馬、久米正雄、三上於菟吉、加藤武雄、吉屋信子、菊池寛などの連載物